

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

(平成27年度)

平成28年 11月

名古屋市観光文化交流局

目 次

1. 観光統計について	1
(1) 調査の目的と全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	4
2. 調査の集計結果	6
2-1 観光客の現状	6
(1) 調査の概要	6
(2) 調査結果	8
2-2 宿泊施設調査	30
(1) 調査の概要	30
(2) 宿泊施設の現状	31
(3) 宿泊客数	33
2-3 全国から見た名古屋の観光に関する評価	43
(1) 調査の概要	43
(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等	44
(3) 名古屋に対する評価	55
(4) 観光振興について	67
3. 資料編	72
(1) 主要観光施設への入込動向	72
(2) 名古屋のまちの印象	76
(3) 名古屋の観光について	81

巻末 調査票

注1：本文中で用いたブルーボネット、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

◆調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成8年3月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が5万人以上かつ、市外の観光入込客数が2割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間5万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成27年度）

1. 観光統計について

（1）調査の目的と全国観光統計基準の採用

①調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

②全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成17年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成27年度については、全国観光統計基準に適合する84地点の観光入込客数を把握した。

（2）入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成27年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約6,844万人であり、平成26年度と比較して約142万人増加（対前年度比率102.1%）した。

主な増加の要因としては、平成26年9月にリニューアル開館した「久屋大通庭園フラリエ」、イケメンゴリラの人気や飲食物販施設を新規開業した「東山動植物園」が人気を博したこと及びデータから理由は推察できないが「熱田神宮」の入込客数が増加したことなどが考えられる。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(26) 21,478,478	(26) 22,625,801	(26) 22,361,685	(26) 23,556,367
	産業観光	(6) 2,199,456	(6) 2,155,078	(6) 2,175,112	(6) 2,274,288
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,470,269	(16) 11,502,060	(16) 11,412,265	(16) 12,059,196
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(16) 7,873,300	(17) 6,610,033	(16) 8,502,057	(16) 8,021,482
	イベント	(22) 11,492,527	(21) 22,268,244	(20) 22,564,723	(20) 22,525,264
計		(86) 54,514,030	(86) 65,161,216	(84) 67,015,842	(84) 68,436,597

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 27 年度の観光入込客実人数は 4,331 万人であり、平成 26 年度と比較して 366 万人増加（対前年度比率 109.2%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
観光入込客延べ人数（人）	54,514,030	65,161,216	67,015,842	68,436,597
平均訪問観光地点数	1.56	1.82	1.69	1.58
観光入込客実人数（万人）	3,494 万人	3,580 万人	3,965 万人	4,331 万人

③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	34.2%	65.8%
観光入込客実人数	4,331 万人	1,481 万人	2,850 万人

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
延べ宿泊客数（人）	6,950,791	7,509,115	7,523,002	8,453,709
宿泊客実人数（人）	5,796,736	5,979,400	5,855,719	6,529,101
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.20	1.26	1.28	1.29

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、宿泊施設に宿泊する入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

なお、居住地別宿泊客実人数については、平成 25 年度までは宿泊客の現状調査の回答により推計していたが、平成 26 年度から宿泊客の現状調査を実施しないものとしたため、観光客の現状調査の回答により推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	0.8%	99.2%
宿泊客実人数	653 万人	5 万人	648 万人

⑥居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 27 年度の名古屋市内客は 1,481 万人であり、平成 26 年度と比較して 628 万人減少したものの、平成 25 年度との比較では 31 万人増加している。また、名古屋市外客は 2,850 万人であり、前年度と比較して 994 万人増加した。

また、平成 27 年度の宿泊客実人数は 653 万人であり、前年度と比較して 67 万人増加した。一方、平成 27 年度の日帰り客実人数は 3,678 万人であり、前年度と比較して 299 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
観光入込客実人数	計	3,494 万人	3,580 万人	3,965 万人	4,331 万人
	名古屋市内客	1,150 万人	1,450 万人	2,109 万人	1,481 万人
	名古屋市外客	2,344 万人	2,130 万人	1,856 万人	2,850 万人
宿泊客実人数	計	580 万人	598 万人	586 万人	653 万人
	名古屋市内客	48 万人	41 万人	14 万人	5 万人
	名古屋市外客	532 万人	557 万人	572 万人	648 万人
日帰り客実人数	計	2,914 万人	2,982 万人	3,379 万人	3,678 万人
	名古屋市内客	1,102 万人	1,409 万人	2,095 万人	1,476 万人
	名古屋市外客	1,812 万人	1,573 万人	1,284 万人	2,202 万人

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 27 年度の名古屋市内の観光総消費額は 3,800 億円であり、前年度と比較して 596 億円増加している。

宿泊客の総消費額は 1,720 億円であり、前年度と比較して 171 億円増加している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、前年度と比較して、名古屋市内は 265 億円減少、名古屋市外は 690 億円増加している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 26 年度	平成 27 年度
宿泊客実人数		586 万人	653 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	2,095 万人	1,476 万人
	名古屋市外客	1,284 万人	2,202 万人
宿泊客一人あたり消費額		26,422 円	26,353 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	3,527 円	3,215 円
	名古屋市外客	7,134 円	7,292 円
宿泊客総消費額		1,549 億円	1,720 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	739 億円	474 億円
	名古屋市外客	916 億円	1,606 億円
名古屋市内観光総消費額		3,204 億円	3,800 億円

②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

前年度に比べ、食事費は 167 億円、土産費は 363 億円、宿泊費は 72 億円、それぞれ増加し、交通費は 15 億円、入場料は 48 億円、その他消費額が 57 億円、それぞれ減少している。

総消費額は前年度と比較して、596 億円増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 26 年度	平成 27 年度
食事費消費額	929 億円	1,096 億円
交通費消費額	453 億円	438 億円
土産費消費額	537 億円	900 億円
宿泊費消費額	512 億円	584 億円
入場料消費額	411 億円	363 億円
その他消費額	362 億円	419 億円
総消費額	3,204 億円	3,800 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	7,000 円	1,168 円	2,120 円
交通費	1,888 円	442 円	1,134 円
土産費	5,453 円	750 円	1,966 円
宿泊費	8,948 円		
入場料	1,330 円	405 円	983 円
その他	1,734 円	450 円	1,089 円
合計	26,353 円	3,215 円	7,292 円

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費総消費額	457 億円	172 億円	467 億円	1,096 億円
交通費総消費額	123 億円	65 億円	250 億円	438 億円
土産費総消費額	356 億円	111 億円	433 億円	900 億円
宿泊費総消費額	584 億円			584 億円
入場料総消費額	87 億円	60 億円	216 億円	363 億円
その他総消費額	113 億円	66 億円	240 億円	419 億円
観光総消費額	1,720 億円	474 億円	1,606 億円	3,800 億円

2. 調査の集計結果

2-1 観光客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

②調査日時等

- 観光施設（名古屋城、東山動植物園、熱田神宮、名古屋市科学館、名古屋港水族館、ノリタケの森）調査

- ・秋期調査：平成27年 11月 4日（水）9：30～16：30 天候：快晴
11月 7日（土）9：30～16：30 天候：曇
11月 8日（日）9：30～16：30 天候：雨

※名古屋市科学館は 11月 14日（土）9：30～16：30 天候：雨一時曇

同上、東山動植物園は 11月 15日（日）9：30～16：30 天候：曇一時雨後晴

熱田神宮は 11月 22日（日）9：30～16：30 天候：曇

- ・春期調査：平成28年 3月 2日（水）9：30～16：30 天候：晴
3月 5日（土）9：30～16：30 天候：曇後一時晴
3月 6日（日）9：30～16：30 天候：曇一時雨

※名古屋市科学館は 3月 12日（土）9：30～16：30 天候：快晴

3月 13日（日）9：30～16：30 天候：曇

③調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、10歳以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

④調査場所及び調査サンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

観光地点名称	秋期調査（11月）			春期調査（3月）			合計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	101	101	101	101	100	101	605
東山動植物園	104	104	100	103	103	102	616
熱田神宮	102	100	101	104	104	101	612
名古屋市科学館	104	103	102	106	102	101	618
名古屋港水族館	100	111	100	102	101	101	615
ノリタケの森	101	100	100	101	102	101	605
全 体	612	619	604	617	612	607	3,671

（注）大分類「学ぶ（見る・体験する）」・中分類「文化・歴史」として「名古屋城」、「東山動植物園」、「熱田神宮」、「名古屋市科学館」、「名古屋港水族館」、同・中分類「産業観光」として「ノリタケの森」に協力していただいた。

(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

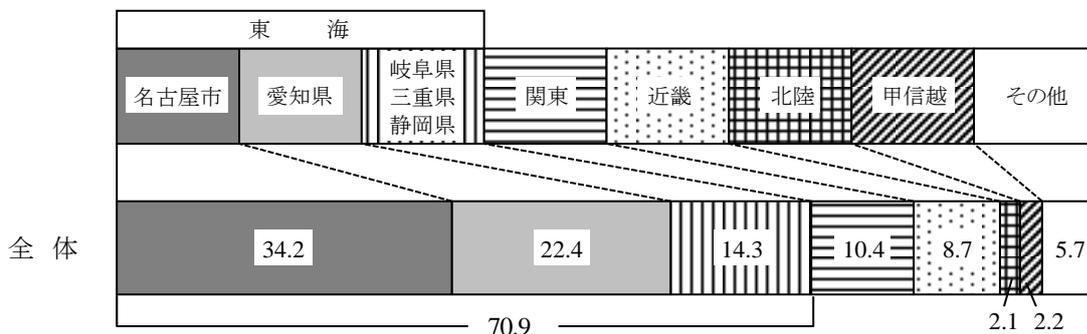
観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」が 34.2%と最も多く、「愛知県（名古屋市を除く）」、「岐阜県・三重県・静岡県」を合計した「東海」が 70.9%を占め、「関東」、「近畿」など「東海以外」の地域からの入込客は全体で 29.1%である。

観光地点別にみると、「東山動植物園」の入込客では「名古屋市」居住者の構成比が 6 割と高く、「東海」居住が 9 割以上を占めている。このほか「名古屋市科学館」、「名古屋港水族館」の入込客では 8 割程が「東海」居住となっている。一方、「名古屋城」では「関東」をはじめ「東海以外」の地域が過半数を占め、「ノリタケの森」、「熱田神宮」でも 4 割程が「東海以外」居住と、広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地構成（観光地点別）

(単位：%)

観光地点	東海	名古屋市	愛知県 (名古屋市を除く)	岐阜県・三重県・静岡県	関東	近畿	北陸	甲信越	その他	合計
名古屋城	48.0	24.3	13.6	10.1	22.5	11.2	3.1	3.8	11.4	100.0
東山動植物園	92.5	59.5	24.7	8.3	3.1	1.9	0.2	1.3	1.0	100.0
熱田神宮	63.4	31.7	21.4	10.3	16.0	8.3	1.6	2.5	8.2	100.0
名古屋市科学館	80.8	32.3	30.9	17.6	4.4	6.5	3.1	1.5	3.7	100.0
名古屋港水族館	78.1	25.3	28.3	24.5	3.1	10.6	2.8	1.3	4.1	100.0
ノリタケの森	61.3	31.4	15.0	14.9	13.9	13.9	2.0	2.6	6.3	100.0
全 体	70.9	34.2	22.4	14.3	10.4	8.7	2.1	2.2	5.7	100.0



注：愛知県は名古屋市を除く

- 東 海—名古屋市・愛知県・岐阜県・三重県・静岡県
- 関 東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県
- 近 畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
- 北 陸—福井県・石川県・富山県
- 甲信越—新潟県・長野県・山梨県

図 2-1-1 入込客の居住地構成

b. 性・年齢構成

男性が40.6%、女性が59.4%と、女性の方が男性より多くなっている。

男女ともに「30～39歳」が最も多く、次いで「20～29歳」となっているものの、その割合の差はほとんどない。

全体の観光地点別にみると、「名古屋港水族館」では「20～29歳」の割合が特に高く、20～30歳代で6割以上を占め、60歳以上の割合は1割に満たない、高齢者が少ないのは入場料金割引制度がないことも影響しているのではないかと推察される。一方、「ノリタケの森」では「60～69歳」が最も多く、50～60歳代で半数近くを占めている。また、「名古屋城」では、年齢は比較的分散している。

性別としては、「東山動植物園」と「ノリタケの森」で、女性の割合が特に高くなっている。

表 2-1-2 入込客の地点別性・年齢構成

(単位：%)

性別	観光地点	年 齢							合計
		10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
全体	名古屋城	8.9	16.1	17.0	15.2	10.7	15.9	16.2	100.0
	東山動植物園	8.6	11.7	19.8	11.0	9.3	19.8	19.8	100.0
	熱田神宮	2.8	16.3	20.6	17.5	20.4	14.9	7.5	100.0
	名古屋市科学館	14.6	20.0	17.5	20.1	13.3	10.8	3.7	100.0
	名古屋港水族館	13.5	37.6	24.2	9.6	7.3	5.2	2.6	100.0
	ノリタケの森	2.1	10.1	14.2	14.7	23.0	24.5	11.4	100.0
	合計	8.4	18.7	18.9	14.7	14.0	15.1	10.2	100.0
男性	名古屋城	12.4	19.2	8.4	14.4	10.0	18.4	17.2	41.3
	東山動植物園	8.0	10.4	22.1	11.3	7.1	17.5	23.6	34.4
	熱田神宮	3.3	15.6	22.2	19.6	18.2	13.5	7.6	44.9
	名古屋市科学館	13.6	17.4	15.5	24.0	12.8	12.4	4.3	41.7
	名古屋港水族館	12.1	37.5	27.5	8.6	6.1	5.0	3.2	45.5
	ノリタケの森	2.3	7.4	17.7	13.5	19.1	23.3	16.7	35.5
	合計	8.8	18.7	19.1	15.4	12.1	14.5	11.4	40.6
女性	名古屋城	6.5	13.8	23.1	15.7	11.3	14.1	15.5	58.7
	東山動植物園	8.9	12.4	18.6	10.9	10.4	21.0	17.8	65.6
	熱田神宮	2.4	16.9	19.3	15.7	22.3	16.0	7.4	55.1
	名古屋市科学館	15.3	22.0	18.9	17.2	13.6	9.7	3.3	58.3
	名古屋港水族館	14.6	37.6	21.5	10.4	8.4	5.4	2.1	54.5
	ノリタケの森	2.1	11.5	12.3	15.4	25.1	25.1	8.5	64.5
	合計	8.2	18.6	18.8	14.2	15.2	15.6	9.4	59.4

注：男性・女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は、「観光施設の見学」が多く、これをはじめとする「観光・娯楽」目的者の割合は合わせて88.2%を占めている。

時系列にみても、「観光・娯楽」の割合は8割台で推移している。

観光地点別にみると、「名古屋城」では「イベント」、「ノリタケの森」では「ショッピング」目的者も比較的多くなっている。

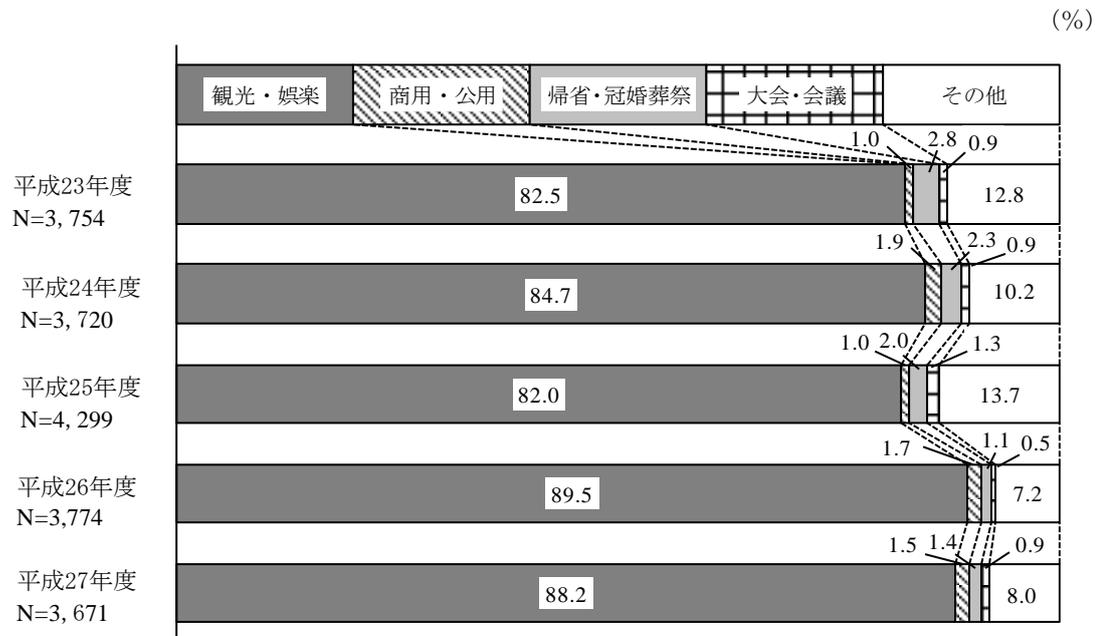


図 2-1-2 入込客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

(単位：%)

旅行目的 観光地点	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
名古屋城	53.0	0.5	6.0	23.0	4.0	2.3	2.6	1.7	0.8	6.1	100.0
東山動植物園	82.9	1.0	3.2	8.0	0.8	1.3	0.0	0.2	0.0	2.6	100.0
熱田神宮	57.3	2.1	4.6	6.7	1.3	0.8	2.5	1.8	2.3	20.6	100.0
名古屋市科学館	71.1	4.7	2.4	12.3	1.6	0.3	0.6	1.0	1.0	5.0	100.0
名古屋港水族館	81.5	3.6	2.0	3.7	0.7	2.3	0.7	2.1	1.0	2.4	100.0
ノリタケの森	49.1	12.9	4.1	5.8	8.9	2.6	2.5	2.0	0.5	11.6	100.0
全 体	66.0	4.1	3.7	9.9	2.9	1.6	1.5	1.4	0.9	8.0	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した方（全体の 89.5%）が名古屋を選んだきっかけは、「前に来たことがあり良かったから」の割合が最も高く、リピーターも多いといえる。

観光地点別にみると、「東山動植物園」、「名古屋港水族館」の入込客では、「前に来たことがあり良かったから」の割合が特に高く、ファンの形成が出来ているようである。

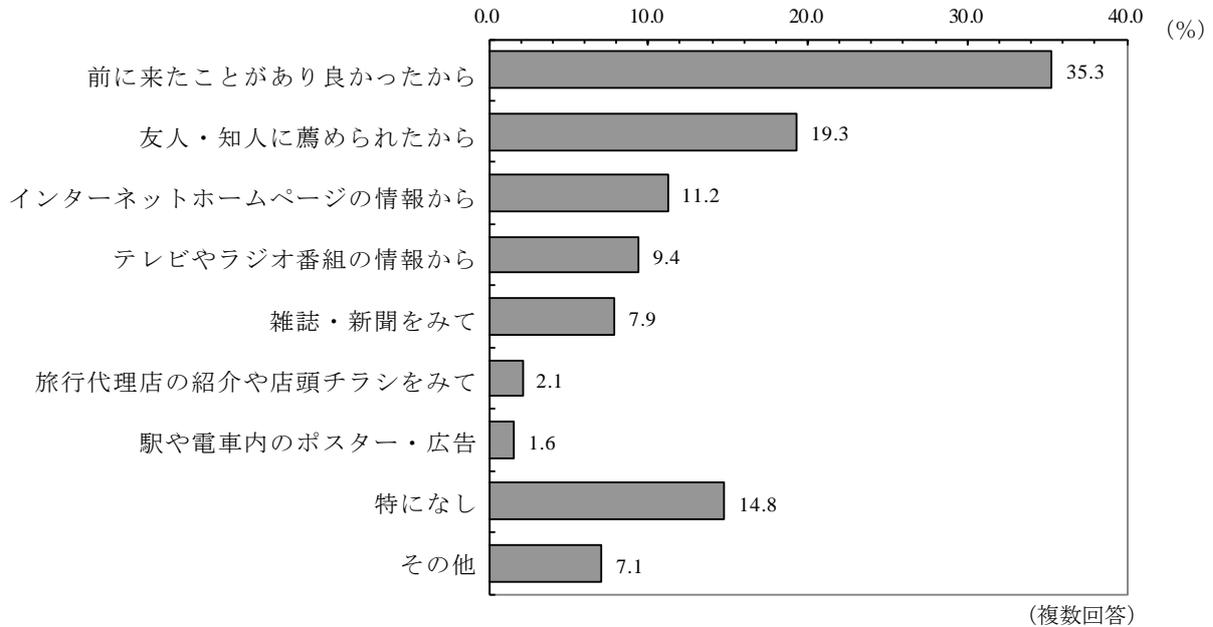


図 2-1-3 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

(単位：%)

観光地点	きっかけ	前に来たことがあり良かったから	友人・知人に薦められたから	インターネットホームページの情報から	テレビやラジオ番組の情報から	雑誌・新聞をみて	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて	駅や電車内のポスター・広告	特になし	その他	合計
名古屋城		28.9	17.3	13.4	7.8	10.8	1.5	1.3	15.1	11.9	108.0
東山動植物園		57.6	19.5	3.2	19.9	6.0	0.0	0.5	8.0	5.5	120.2
熱田神宮		20.0	12.1	11.9	2.5	7.2	2.2	0.7	34.3	11.2	102.1
名古屋市科学館		25.7	22.2	14.4	17.0	9.8	1.1	4.2	8.9	4.9	108.2
名古屋港水族館		41.8	17.9	12.0	3.5	6.6	0.7	1.9	19.2	2.6	106.2
ノリタケの森		32.7	25.7	13.5	3.2	6.7	8.1	0.6	6.9	7.7	105.1
全体		35.3	19.3	11.2	9.4	7.9	2.1	1.6	14.8	7.1	108.7

(複数回答)

c. 観光施設への遊覧状況

観光施設への立ち寄り状況を見ると、一人あたりの平均訪問施設数は1.58施設である。

観光地点相互で見ると、「名古屋城」へも立ち寄る割合は高く、特に「熱田神宮」、「ノリタケの森」の入込客で高く、「熱田神宮」へも立ち寄る割合は、「名古屋城」、「ノリタケの森」の入込客で高くなっている。

全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースがみられる。

平均訪問施設数は、観光バス利用（15.7%）が多い「ノリタケの森」の入込客で他の観光地点に比べ多く、一方、「東山動植物園」の入込客で少なくなっている。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況（観光地点別）

（単位：％）

訪問施設 観光地点	名古屋城	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	名古屋テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ボストン美術館
名古屋城		3.5	4.8	4.8	6.1	10.7	0.7	3.0	1.3	5.0	1.0	0.0	0.5
東山動植物園	5.8	0.5	0.5	1.1	1.0	1.6	0.2		7.1	0.6	0.8	0.0	0.0
熱田神宮	17.8	1.6	3.1	4.4	2.1		2.0	0.7	0.2	6.2	0.5	0.8	0.3
名古屋市科学館	7.9	1.3	0.6	2.4	1.8	2.3	0.2	1.9	1.0	0.6	5.3	0.8	0.3
名古屋港水族館	8.9	1.1	1.1	1.0	0.5	2.9	0.5	3.1	0.7	1.8	0.3	0.3	0.7
ノリタケの森	15.0	10.4		6.0	6.1	11.7	0.8	0.5	0.0	3.1	0.0	1.5	0.7

訪問施設 観光地点	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	久屋大通庭園フラリエ (旧ランの館)	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエア などの高層建築物	リニア・鉄道館	その他	平均訪問施設数
名古屋城	3.3	0.5	0.0	0.5	1.5	0.5	0.2	0.3	1.5	1.2	13.4	1.64
東山動植物園	1.1	0.5	0.3	0.2	1.6	0.2	0.0	0.3	0.3	0.8	4.4	1.29
熱田神宮	2.6	0.5	0.0	0.0	2.3	1.0	0.0	0.2	3.3	1.3	17.6	1.69
名古屋市科学館		1.3	0.3	0.0	3.1	1.3	0.2	0.0	2.4	2.1	10.8	1.48
名古屋港水族館	2.6	0.5	0.0	0.2		14.1	3.9	0.0	2.6	2.4	5.5	1.55
ノリタケの森	2.6	0.0	0.2	0.2	2.0	0.3	0.0	0.5	6.1	1.8	12.1	1.82

（複数回答）

※一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数（a）とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定数（b）の合計を調査サンプル数（a）で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.58 = \{3,671 (a) + 2,114 (b)\} \div 3,671 (a)$$

d. 旅行形態

全体では、「友人・知人」が33.5%で、「幼児・小学生連れ」や「夫婦」など「家族連れ」が合計で44.9%、「ひとり」が17.7%となっている。

観光地点別にみると、「友人・知人」の割合は「名古屋港水族館」、「ノリタケの森」の入込客で4割前後と高く、「家族連れ」の割合は、「東山動植物園」の入込客では6割弱、「名古屋港水族館」、「名古屋市科学館」の入込客では半数弱を占める。一方、「熱田神宮」の入込客では「ひとり」の割合も比較的高くなっている。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	旅行形態	ひとり	友人・知人	家族連れ			団体		その他	合計
				幼児・小学生連れ	夫婦	その他	一般	学生		
名古屋城		23.3	32.7	3.5	14.7	20.0	5.3	0.0	0.5	100.0
東山動植物園		13.6	28.4	27.6	17.4	12.2	0.8	0.0	0.0	100.0
熱田神宮		36.7	21.1	7.7	18.6	12.7	2.5	0.0	0.7	100.0
名古屋市科学館		15.5	35.1	22.0	7.1	18.0	1.6	0.0	0.7	100.0
名古屋港水族館		4.4	44.9	25.2	4.9	18.0	2.6	0.0	0.0	100.0
ノリタケの森		12.4	39.0	7.4	18.5	14.1	8.1	0.0	0.5	100.0
全 体		17.7	33.5	15.6	13.5	15.8	3.5	0.0	0.4	100.0

パッケージ旅行の割合は、全体では5.1%である。

観光地点別にみると、「ノリタケの森」や広域的に集客している「名古屋城」の入込客では1割程となっている。

地域別にみると、パッケージ旅行を利用する割合が高いのは、「その他」、「関東」、「近畿」の順となっており、遠方からの入込客ほどパッケージ旅行を利用する割合が高い傾向がみられる。

また、宿泊客は「パッケージ旅行」を1割以上が利用している。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域・宿泊別）

（単位：％）

観光地点・地域・宿泊		旅行形態	パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合計
観光地点	名古屋城		8.1	91.9	100.0
	東山動植物園		1.6	98.4	100.0
	熱田神宮		6.9	93.1	100.0
	名古屋市科学館		1.5	98.5	100.0
	名古屋港水族館		1.5	98.5	100.0
	ノリタケの森		11.6	88.4	100.0
地域	東海		1.2	98.8	100.0
	名古屋市		0.4	99.6	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）		0.6	99.4	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県		4.0	96.0	100.0
	関東		15.9	84.1	100.0
	近畿		13.4	86.6	100.0
	北陸		2.6	97.4	100.0
	甲信越		10.1	89.9	100.0
	その他		20.9	79.1	100.0
宿泊	宿泊客		14.3	85.7	100.0
	日帰り客		2.7	97.3	100.0
全体			5.1	94.9	100.0

③旅行費用

a. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000円未満」(35.4%)と「1,000～3,000円未満」(33.0%)が多く、合わせて7割程を占めている。一方、「交通費はかからない」が22.9%となっている。市内交通費の平均額は1,056円であり、前年度(1,134円)から78円の減額となっている。

観光地点別にみると、前述の観光施設への遊覧状況で平均訪問施設数が少なかった東山動植物園では、平均額は相対的に低額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外」では「1,000～3,000円未満」(50.1%)の割合が最も多く、特に「名古屋市外からの宿泊客」の平均額は1,899円と高額になっている。一方、「名古屋市」居住者では「1,000円未満」(44.3%)のほか「交通費はかからない」(40.8%)の割合も多く、平均額は447円と低額である。

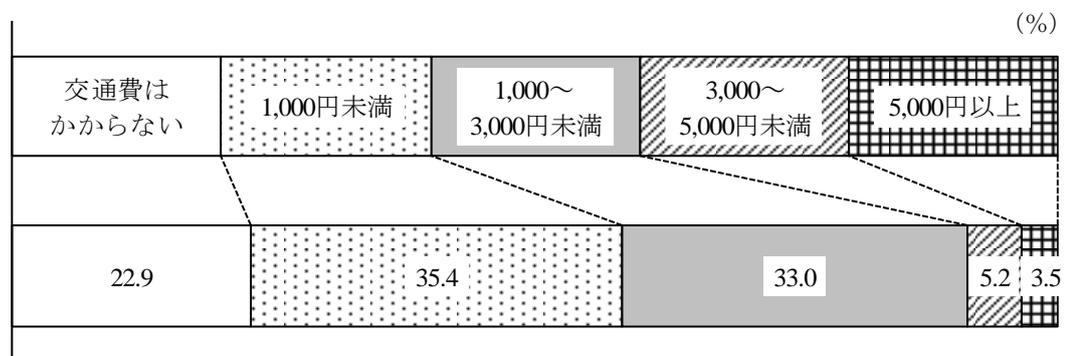


図 2-1-4 入込客の市内交通費

表 2-1-8 入込客の市内交通費 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

地点・地域×宿泊		市内交通費					合計	平均額 (円)
		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上		
観光地点	名古屋城	20.1	35.0	33.5	7.7	3.7	100.0	1,169
	東山動植物園	34.1	39.6	24.2	1.3	0.8	100.0	642
	熱田神宮	27.8	34.5	31.0	3.8	2.9	100.0	933
	名古屋市科学館	14.3	42.9	35.8	4.7	2.3	100.0	983
	名古屋港水族館	10.4	28.3	47.6	8.8	4.9	100.0	1,362
	ノリタケの森	30.8	31.5	25.9	5.3	6.5	100.0	1,255
地域×宿泊	名古屋市	40.8	44.3	13.8	0.4	0.7	100.0	447
	宿泊客	10.0	20.0	60.0	10.0	0.0	100.0	1,112
	日帰り客	41.0	44.6	13.4	0.3	0.7	100.0	442
	名古屋市外	13.6	30.6	43.1	7.8	4.9	100.0	1,373
	宿泊客	9.4	21.1	50.1	11.0	8.4	100.0	1,899
	日帰り客	15.5	35.0	39.8	6.3	3.4	100.0	1,134
全体		22.9	35.4	33.0	5.2	3.5	100.0	1,056

b. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する」という回答が全体では55.6%と過半数を占め、支出額としては、「2,000～5,000円未満」(21.6%)が最も多い。土産代の平均額は2,284円であり、前年度(1,320円)と比較すると964円の増額となっている。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は、「ノリタケの森」の入込客で7割弱、「名古屋城」、「名古屋港水族館」の入込客で6割前後と高くなっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外」では「土産を購入する」割合が7割程を占め、特に「名古屋市外からの宿泊客」では「土産を購入する」割合が9割程で、平均額は5,510円と高額である。

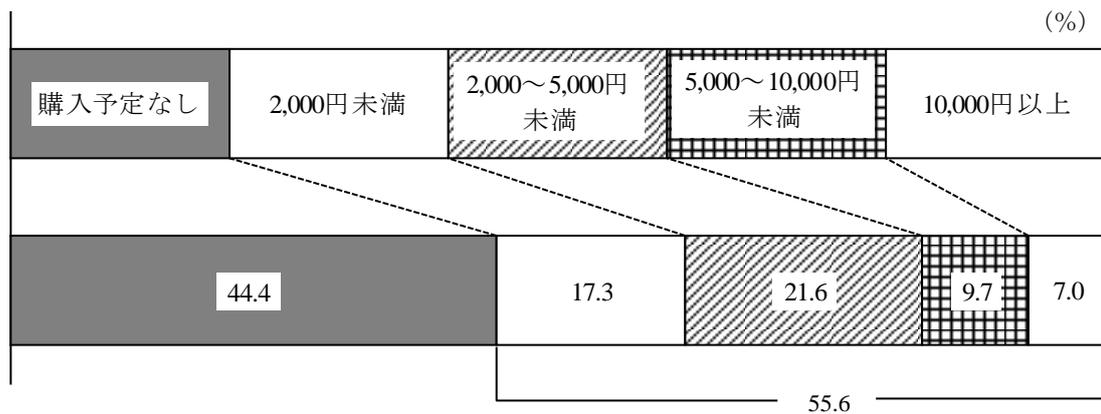


図 2-1-5 入込客の市内での土産代

表 2-1-9 入込客の市内での土産代 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

地点・地域×宿泊		土産代					合計	平均額 (円)
		購入予定なし	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上		
観光地点	名古屋城	36.7	15.9	21.9	14.4	11.1	100.0	3,009
	東山動植物園	50.8	27.8	17.0	2.9	1.5	100.0	981
	熱田神宮	46.8	14.4	22.6	10.5	5.7	100.0	2,046
	名古屋市科学館	55.4	16.2	18.5	6.3	3.6	100.0	1,373
	名古屋港水族館	42.9	22.8	22.8	8.1	3.4	100.0	1,642
	ノリタケの森	33.3	6.5	26.7	16.3	17.2	100.0	4,716
地域×宿泊	名古屋市	67.1	19.8	9.3	2.3	1.5	100.0	753
	宿泊客	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0	100.0	1,150
	日帰り客	67.4	19.6	9.2	2.3	1.5	100.0	750
	名古屋市外	32.6	16.0	27.9	13.6	9.9	100.0	3,080
	宿泊客	12.9	9.4	32.4	23.9	21.4	100.0	5,510
日帰り客	41.6	19.1	25.8	8.8	4.7	100.0	1,966	
全体		44.4	17.3	21.6	9.7	7.0	100.0	2,284

c. 市内での食事代

市内での食事に係る支出をみると、全体では「500～2,000円未満」が最も多く4割を占める。次いで「2,000～5,000円未満」が26.5%となっている。食事代の平均額は2,812円であり、前年度（2,299円）と比較すると513円の増額となっている。

地域・宿泊別にみると、滞在時間の長い「名古屋市外からの宿泊客」では「10,000～30,000円未満」が最も多く、平均額も7,070円と高額である。一方、「名古屋市の日帰り客」では「2,000円未満」の割合が8割を占めている。

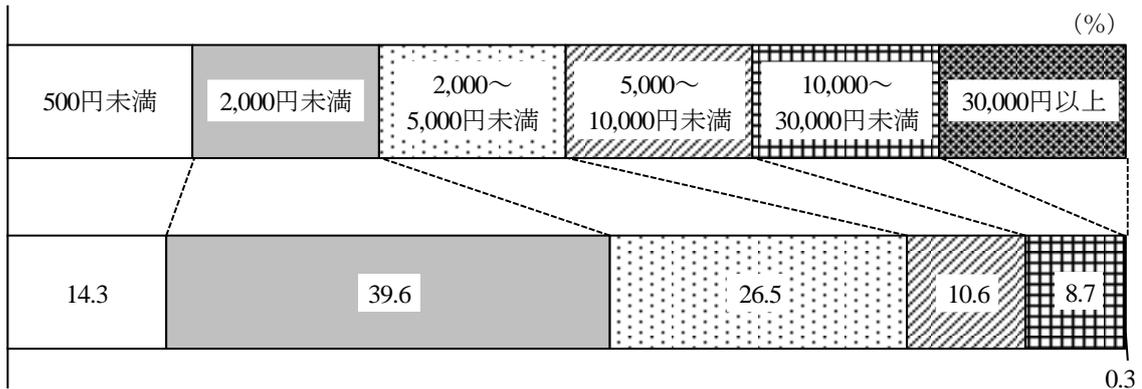


図 2-1-6 入込客の市内での食事代

表 2-1-10 入込客の市内での食事代（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

市内食事代		市内食事代						合計	平均額 (円)
		500円未満	500～ 2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 30,000円 未満	30,000円 以上		
地点	名古屋城	14.9	30.9	25.5	14.5	13.2	1.0	100.0	3,680
	東山動植物園	19.1	58.0	16.4	2.6	3.7	0.2	100.0	1,656
	熱田神宮	17.8	36.8	22.1	12.1	10.9	0.3	100.0	3,024
	名古屋市科学館	14.2	42.1	28.5	8.6	6.3	0.3	100.0	2,490
	名古屋港水族館	9.8	39.7	33.9	12.2	4.4	0.0	100.0	2,349
	ノリタケの森	10.0	29.6	32.5	13.5	14.2	0.2	100.0	3,719
地域× 宿泊	名古屋市	24.8	54.5	16.7	3.3	0.7	0.0	100.0	1,173
	宿泊客	0.0	60.0	30.0	10.0	0.0	0.0	100.0	1,750
	日帰り客	25.0	54.5	16.6	3.2	0.7	0.0	100.0	1,168
	名古屋市外	8.8	31.8	31.6	14.4	12.9	0.5	100.0	3,668
	宿泊客	3.3	6.9	26.2	27.9	34.4	1.3	100.0	7,070
	日帰り客	11.3	43.1	34.1	8.2	3.2	0.1	100.0	2,120
全体		14.3	39.6	26.5	10.6	8.7	0.3	100.0	2,812

d. 市内での宿泊代

「名古屋市内の宿泊施設に宿泊する」と回答した割合は15.8%であり、1泊あたりの宿泊代は、「5,000～15,000円未満」の割合が多い。

なお、名古屋市内の宿泊施設に宿泊する方の1泊あたりの宿泊代の平均額は8,948円であり、前年度（8,743円）と比較すると205円の増額となっている。

「名古屋市外からの宿泊客」では、「5,000～15,000円未満」の割合が6割を占め、「5,000円未満」、「15,000円以上」の割合は、ともに1割強となっている。

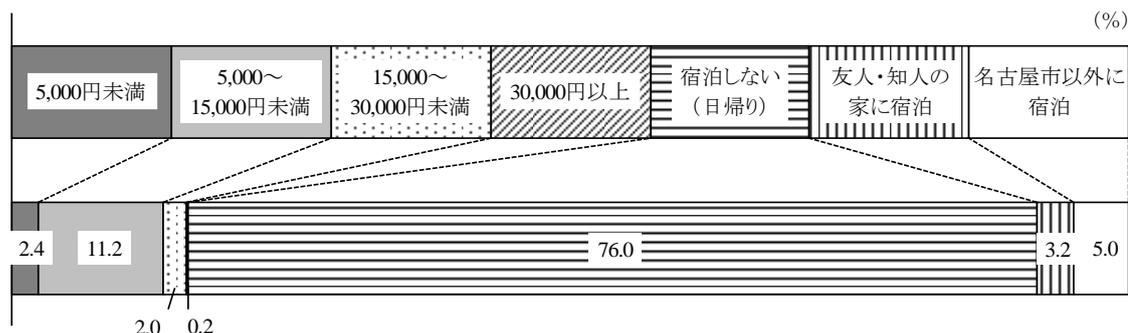


図 2-1-7 入込客の宿泊代

表 2-1-11 入込客の宿泊代（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

地点・地域×宿泊		市内宿泊代							合計	平均額 (円)
		5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	宿泊しない(日帰り)	友人・知人の家に宿泊	名古屋市外に宿泊		
観 光 地 点	名古屋城	6.3	22.4	3.3	0.5	56.4	2.4	8.7	100.0	8,623
	東山動植物園	0.8	3.8	0.3	0.0	92.0	2.0	1.1	100.0	8,197
	熱田神宮	3.3	14.6	1.7	0.0	70.1	3.6	6.7	100.0	8,384
	名古屋市科学館	2.8	5.8	1.9	0.0	84.5	3.4	1.6	100.0	7,995
	名古屋港水族館	1.1	7.7	0.3	0.2	83.3	3.6	3.8	100.0	7,526
	ノリタケの森	0.3	14.0	4.8	0.5	67.4	4.3	8.7	100.0	11,476
地 域 × 宿 泊	名古屋市	0.2	0.2	0.0	0.0	99.1	0.5	0.0	100.0	3,875
	宿泊客	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	100.0	3,875
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	—
	名古屋市外	3.6	17.2	3.1	0.3	63.4	4.7	7.7	100.0	8,984
宿泊客	12.5	59.5	10.8	1.0	0.0	16.2	0.0	100.0	8,984	
日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	89.1	0.0	10.9	100.0	—	
全 体		2.4	11.2	2.0	0.2	76.0	3.2	5.0	100.0	8,948

注：平均額は「宿泊しない」「友人・知人の家に宿泊」「名古屋市外に宿泊」のデータを含まず算出

e. 市内での入場料

「名古屋市内で観光施設等の入場料を支払う」という回答が全体では63.2%であり、その金額としては「1,000円未満」と「1,000～3,000円未満」の割合がともに3割程度と多い。入場料の平均額は860円であり、前年度（1,026円）と比較すると166円の減額となっている。入場が有料の施設でも2割前後が、今回の観光では「入場料はかからない」と回答しており、年間パスポートが周知され、その利用者が増えているとも考えられる。

観光地点別にみると、入場料が必要な「名古屋城」、「東山動植物園」では「1,000円未満」、「名古屋市科学館」、「名古屋港水族館」では「1,000～3,000円未満」の割合が、それぞれ最も高い。

地域別にみると、「名古屋市」居住者では、「入場料はかからない」、「入場料を支払う」がほぼ半数ずつとなっている。

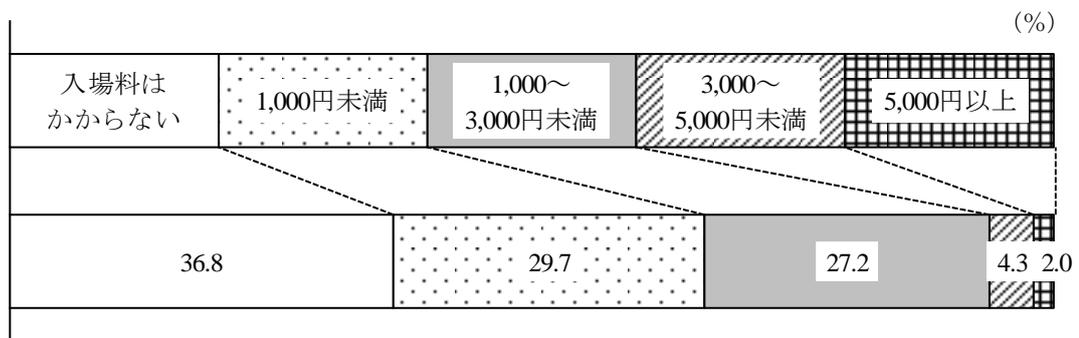


図 2-1-8 入込客の市内での入場料

表 2-1-12 入込客の市内での入場料（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

入場料		入場料はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	合計	平均額(円)
地点・地域×宿泊	名古屋城	20.2	56.3	20.3	1.7	1.5	100.0	725
	東山動植物園	27.3	62.8	8.6	1.1	0.2	100.0	423
	熱田神宮	76.7	10.1	10.6	1.6	1.0	100.0	339
	名古屋市科学館	18.9	33.2	39.5	6.8	1.6	100.0	1,117
	名古屋港水族館	15.8	2.0	66.1	10.7	5.4	100.0	1,978
	ノリタケの森	62.5	13.7	18.1	3.6	2.1	100.0	568
地域×宿泊	名古屋市	50.7	33.7	14.5	0.8	0.3	100.0	409
	宿泊客	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	100.0	860
	日帰り客	51.2	33.6	14.1	0.8	0.3	100.0	405
	名古屋市外	29.6	27.6	33.9	6.1	2.8	100.0	1,094
	宿泊客	21.6	29.1	34.6	9.6	5.1	100.0	1,336
日帰り客	33.2	27.0	33.5	4.5	1.8	100.0	983	
全体		36.8	29.7	27.2	4.3	2.0	100.0	860

f. その他の費用

これまでの項目以外の費用としては、「2,000円未満」が8割強を占めている。その他の費用の平均額は1,008円であり、前年度(901円)と比較すると107円の増額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市」居住者より「名古屋市外」からの入込客の方が倍額以上、その他の費用を支払っている。

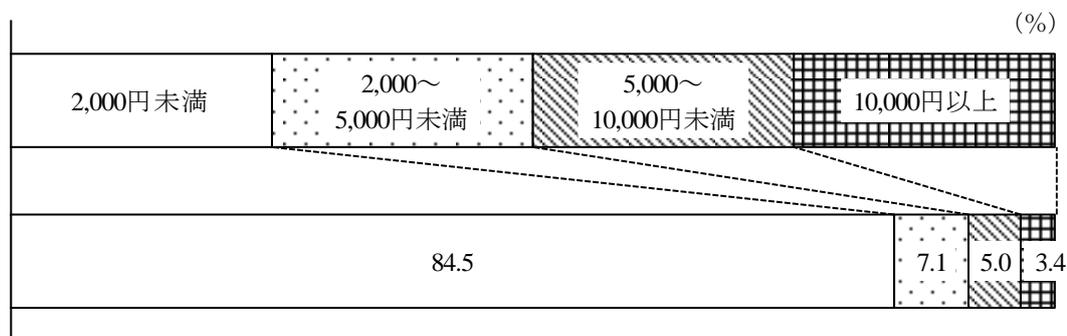


図 2-1-9 入込客のその他の費用

表 2-1-13 入込客のその他の費用 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

地点・地域×宿泊		その他の費用				合計	平均額 (円)
		2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上		
観光地点	名古屋城	89.1	5.3	2.8	2.8	100.0	794
	東山動植物園	88.8	7.0	2.6	1.6	100.0	563
	熱田神宮	83.8	5.7	5.6	4.9	100.0	1,334
	名古屋市科学館	84.0	7.0	5.8	3.2	100.0	1,073
	名古屋港水族館	74.3	12.0	9.3	4.4	100.0	1,422
	ノリタケの森	88.0	5.3	3.6	3.1	100.0	857
地域×宿泊	名古屋市	92.4	4.3	2.3	1.0	100.0	458
	宿泊客	60.0	30.0	10.0	0.0	100.0	1,400
	日帰り客	92.6	4.1	2.3	1.0	100.0	450
	名古屋市外	80.6	8.5	6.3	4.6	100.0	1,293
	宿泊客	75.6	9.1	7.8	7.5	100.0	1,738
	日帰り客	82.8	8.2	5.7	3.3	100.0	1,089
全 体		84.5	7.1	5.0	3.4	100.0	1,008

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外に居住する方（全体の65.8%）の来名回数としては、「10回以上」が51.9%と最も多く、「今回はじめて」訪れた割合は16.5%である。

「10回以上」の割合は、東海居住者では8割を占めている。一方、東海以外からの入込客では、3割以上が「今回はじめて」となっている。

表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域		回数					合計
		はじめて	2回目	3回目	4～9回目	10回以上	
観光地点	名古屋城	31.4	15.1	11.1	9.2	33.2	100.0
	東山動植物園	8.0	4.4	2.4	8.4	76.8	100.0
	熱田神宮	17.0	12.4	11.0	12.9	46.7	100.0
	名古屋市科学館	10.1	5.0	6.7	11.7	66.5	100.0
	名古屋港水族館	13.3	10.2	6.1	16.1	54.3	100.0
	ノリタケの森	14.7	11.6	12.0	15.9	45.8	100.0
地域	東海	2.4	2.9	4.6	9.5	80.6	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	1.0	1.2	3.0	5.2	89.6	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	4.6	5.5	7.0	16.2	66.7	100.0
	東海以外	34.3	19.5	13.7	16.6	15.9	100.0
全体		16.5	10.3	8.6	12.7	51.9	100.0

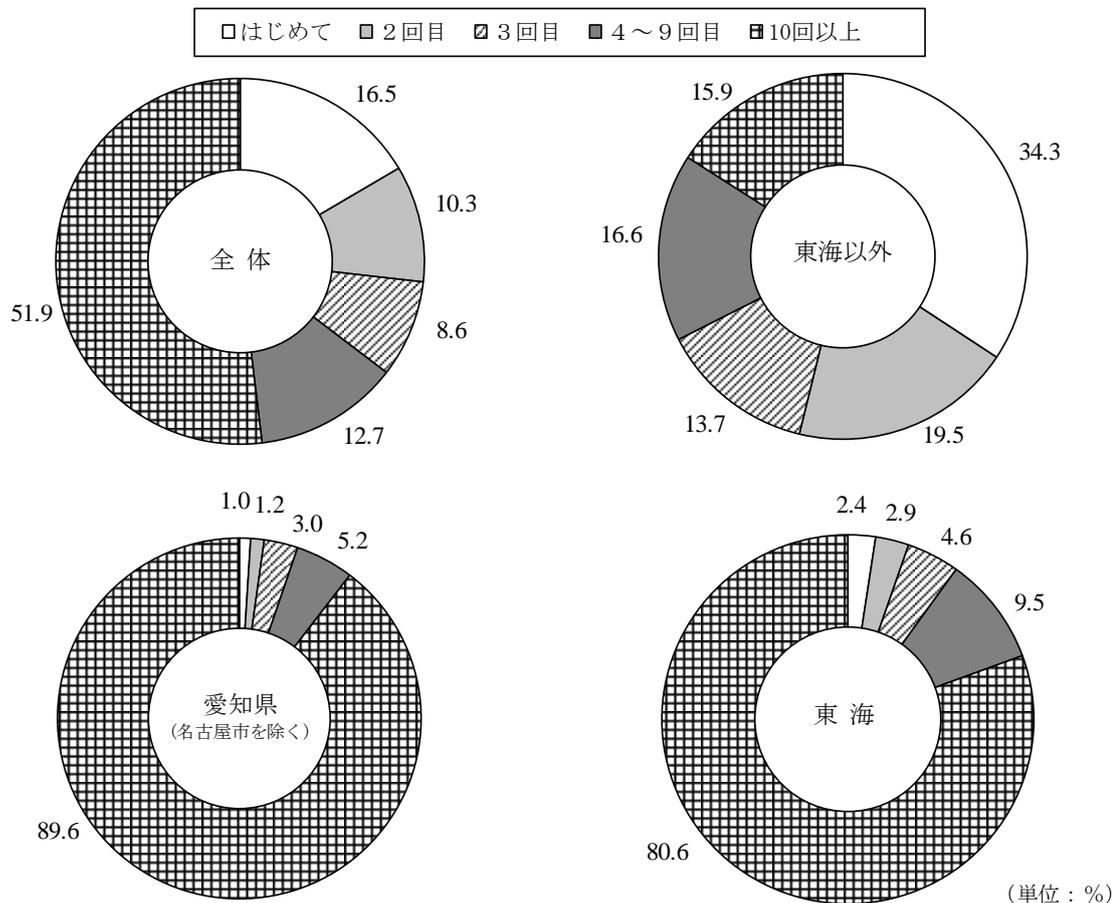


図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）

⑤交通機関

名古屋市外に居住する方の名古屋市内への主な交通手段は、全体では「自家用車」が38.7%で最も多く、次いで「JR」が32.0%となっている。

居住地別にみると、東海の各県では「自家用車」の割合が最も高く、次いで愛知県では「名鉄電車」、岐阜県と静岡県では「JR」、三重県では「近鉄電車」となっている。一方、「東海以外」からの入込客では半数近くが「JR」となっている。

旅行形態別にみると、「ひとり」、「友人・知人」などでは「JR」、「家族連れ」では「自家用車」、「団体旅行」では「観光バス」の割合が最も多い。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関（地点・地域・旅行形態別）

（単位：％）

交通機関		J	名	近	自	航	路	観	そ	合
		R	鉄	鉄	家	空	線	光	の	計
地点・地域・旅行形態			電	電	用	機	バ	バ	他	
			車	車	車		ス	ス		
観 光 地 点	名古屋城	38.2	7.0	4.1	34.9	5.9	2.0	7.2	2.8	102.1
	東山動植物園	24.5	14.5	3.6	48.6	0.4	1.6	2.8	4.0	100.0
	熱田神宮	36.1	13.6	4.1	33.3	4.3	3.1	4.3	3.6	102.4
	名古屋市科学館	30.6	22.0	6.0	34.4	2.2	1.9	1.7	3.6	102.4
	名古屋港水族館	17.0	11.3	6.1	57.5	2.2	2.0	4.6	0.9	101.6
	ノリタケの森	43.6	8.2	3.6	25.8	3.1	3.4	15.7	1.4	104.8
地 域	東 海	19.3	21.6	4.7	48.6	0.0	1.5	4.0	1.9	101.6
	愛知県（名古屋市を除く）	17.1	29.6	1.0	49.0	0.0	1.3	1.2	2.4	101.6
	岐阜県	25.6	19.7	1.0	48.3	0.0	1.0	5.4	1.5	102.5
	三重県	9.0	2.1	36.1	40.3	0.0	3.5	8.3	0.7	100.0
	静岡県	30.9	2.8	0.6	53.9	0.0	1.1	11.8	1.1	102.2
	東海以外	48.0	1.1	4.7	26.2	7.3	3.5	9.1	3.5	103.4
旅 行 形 態	ひとり	45.5	19.6	5.3	14.4	4.7	5.0	1.2	7.6	103.3
	友人・知人	35.8	18.7	7.2	28.8	2.7	3.3	4.0	2.7	103.2
	家 族	16.6	7.4	1.8	72.3	0.3	0.3	0.0	1.5	100.2
	幼児・小学生連れ	16.6	7.4	1.8	72.3	0.3	0.3	0.0	1.5	100.2
	夫婦	33.3	4.8	2.6	50.6	6.4	1.0	2.9	0.3	101.9
	その他	30.6	7.9	3.2	53.4	3.2	1.4	0.9	0.9	101.5
団体旅行	8.2	0.0	4.1	4.1	3.3	0.8	81.1	3.3	104.9	
その他	71.4	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
全 体		32.0	12.5	4.7	38.7	3.2	2.4	6.2	2.6	102.3

（複数回答）

⑥名古屋市以外の訪問地

名古屋市外に居住する入込客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」方の割合は全体では18.8%である。その訪問先としては、「明治村・犬山」と「長島温泉・湯の山・鈴鹿」が最も多く、以下、「知多・常滑・セントレア」、「伊勢・志摩」、「豊田・岡崎・足助」、「岐阜・関ヶ原」となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市以外にも訪問する」という割合は、東海以外の地域居住の割合が36～52%と高かった「名古屋城」、「熱田神宮」、「ノリタケの森」の入込客では25～28%と多くなっている。

宿泊客では、「名古屋市以外にも訪問する」という割合が26.8%と高く、訪問先としては「明治村・犬山」と平成28年5月にサミットが行われた「伊勢・志摩」が多くなっている。

表 2-1-16 名古屋市外からの入込客の訪問地（地点・宿泊別）

（単位：％）

訪問地		観光地点・宿泊															訪問地合計
		名古屋市内のみ	明治村・犬山	長島温泉・湯の山・鈴鹿	知多・常滑・セントレア	伊勢・志摩	豊田・岡崎・足助	岐阜・関ヶ原	長久手・モリコロパーク	下呂・高山	蒲郡・西浦・三谷	豊橋・伊良湖	瀬戸・小原	豊川・鳳来寺	多治見・恵那・中津川	その他	
観光地点	名古屋城	72.1	4.6	4.4	4.1	3.9	3.3	3.3	0.9	1.1	1.3	0.9	0.2	0.0	0.9	4.1	33.0
	東山動植物園	91.6	2.4	2.0	0.0	0.0	0.4	1.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	1.2	8.4
	熱田神宮	75.4	5.0	2.4	2.9	5.5	4.1	3.8	1.9	2.6	0.5	0.5	0.2	1.7	0.2	4.3	35.6
	名古屋市科学館	92.3	1.0	0.2	2.6	0.7	0.0	0.2	1.0	0.2	0.5	0.2	1.0	0.2	0.0	1.4	9.2
	名古屋港水族館	85.2	0.7	3.5	2.4	2.4	2.8	1.1	1.3	1.1	1.1	0.9	0.4	0.2	0.4	0.4	18.7
	ノリタケの森	75.2	5.1	5.5	4.1	2.9	1.0	1.7	2.4	2.7	0.2	0.0	0.5	0.0	0.7	4.6	31.4
宿泊	宿泊客	73.2	5.3	3.4	4.2	4.9	2.9	3.9	1.3	1.6	1.2	0.5	0.7	0.3	0.1	3.2	33.5
	日帰り客	84.9	2.2	3.0	2.3	1.8	1.7	1.1	1.4	1.3	0.4	0.4	0.3	0.5	0.5	2.6	19.5
全体		81.2	3.1	3.1	2.9	2.8	2.1	2.0	1.4	1.4	0.7	0.5	0.4	0.4	0.4	2.8	24.0

（複数回答）

⑦旅行日程

名古屋市外からの入込客の旅行日程としては、「日帰り」が61.1%であり、「2日以上」の割合は38.9%となっている。

観光地点別にみると、「2日以上」の割合は、「名古屋城」の入込客では61.1%と高く、「熱田神宮」、「ノリタケの森」の入込客でも半数程となっている。

居住地別にみると、「東海」居住者では9割以上が「日帰り」である。一方、「甲信越」からの入込客では8割、「関東」からの入込客では9割、「その他」からの入込客では大半が「2日以上」となっている。

表 2-1-17 名古屋市外からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域		日 程					合 計
		日帰り	2日	3日	4日	5日以上	
観 光 地 点	名古屋城	38.9	47.0	10.0	1.3	2.8	100.0
	東山動植物園	80.7	12.9	4.4	0.4	1.6	100.0
	熱田神宮	51.2	32.7	10.8	2.4	2.9	100.0
	名古屋市科学館	76.8	14.1	5.5	2.4	1.2	100.0
	名古屋港水族館	77.1	17.6	3.7	0.9	0.7	100.0
	ノリタケの森	50.3	33.7	11.6	2.7	1.7	100.0
地 域	東 海	93.5	5.6	0.9	0.0	0.0	100.0
	関 東	10.7	61.9	21.9	2.1	3.4	100.0
	近 畿	41.6	49.3	5.6	1.6	1.9	100.0
	北 陸	29.5	51.3	14.1	3.8	1.3	100.0
	甲信越	17.7	63.3	15.2	2.5	1.3	100.0
	その他	3.8	48.8	25.1	11.4	10.9	100.0
全 体		61.1	27.5	7.9	1.7	1.8	100.0

⑧市内での宿泊数

名古屋市外からの入込客の中で「日帰り」を除いた方（全体の25.6%）のうち、名古屋市内に宿泊する割合は79.0%である。その泊数としては、「1泊」する割合が58.0%と最も高い。

宿泊するすべての階層で「1泊」の割合が最も高い。

居住地別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は、「近畿」、「北陸」からの入込客で25%と比較的多い。一方、「その他」からの入込客では15%と少なく、「2泊以上」する割合が36%と比較的多い。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内における宿泊数（地点・地域別）

（単位：％）

市内宿泊数		市内宿泊数					合 計
		宿泊しない	1泊	2泊	3泊	4泊以上	
観光地点・地域							
観 光 地 点	名古屋城	20.0	64.6	14.3	1.1	0.0	100.0
	東山動植物園	16.6	58.3	16.7	2.1	6.3	100.0
	熱田神宮	20.1	59.8	17.6	1.0	1.5	100.0
	名古屋市科学館	12.4	47.4	26.8	9.3	4.1	100.0
	名古屋港水族館	25.7	56.2	15.2	2.9	0.0	100.0
	ノリタケの森	26.2	52.9	16.5	2.9	1.5	100.0
地 域	東 海	21.6	67.0	11.4	0.0	0.0	100.0
	関 東	21.6	59.7	17.5	0.6	0.6	100.0
	近 畿	25.1	64.7	7.5	1.1	1.6	100.0
	北 陸	25.4	47.3	20.0	7.3	0.0	100.0
	甲信越	21.5	53.9	20.0	3.1	1.5	100.0
	その他	14.8	49.3	25.6	6.9	3.4	100.0
全 体		21.0	58.0	17.0	2.6	1.4	100.0

⑨名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が44.9%と最も多く、「大変満足」が38.4%で合わせた83.3%が満足と評価している。「普通」が15.8%であり、「やや不満」はごく僅かで、「不満」は皆無である。

観光地点別にみると、満足と評価している割合は、「名古屋城」の入込客で9割以上、「東山動植物園」、「名古屋市科学館」の入込客で9割弱と特に高い。

居住地別、性別、年齢別にみても、ほとんどの階層で満足と評価している割合は8割を超えており、市外からの入込客では名古屋の印象は良好である。

表 2-1-19 名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計
観光地点	名古屋城	47.6	43.0	8.7	0.7	0.0	100.0
	東山動植物園	43.4	42.6	12.0	2.0	0.0	100.0
	熱田神宮	36.8	35.9	26.8	0.5	0.0	100.0
	名古屋市科学館	40.0	45.9	13.4	0.7	0.0	100.0
	名古屋港水族館	36.4	45.1	18.1	0.4	0.0	100.0
	ノリタケの森	27.7	56.2	14.7	1.4	0.0	100.0
地域	東海	37.8	43.4	18.1	0.7	0.0	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	35.3	45.6	18.1	1.0	0.0	100.0
	岐阜県	43.4	36.9	19.7	0.0	0.0	100.0
	三重県	49.3	31.3	19.4	0.0	0.0	100.0
	静岡県	33.1	50.6	15.2	1.1	0.0	100.0
	関東	38.6	48.1	12.8	0.5	0.0	100.0
	近畿	37.5	47.5	14.1	0.9	0.0	100.0
	北陸	44.9	46.1	9.0	0.0	0.0	100.0
	甲信越	31.6	51.9	12.7	3.8	0.0	100.0
その他	44.1	41.7	12.8	1.4	0.0	100.0	
性別	男性	34.6	47.0	17.8	0.6	0.0	100.0
	女性	41.2	43.4	14.3	1.1	0.0	100.0
年齢	10～19歳	62.3	30.0	7.7	0.0	0.0	100.0
	20～29歳	43.4	43.2	13.0	0.4	0.0	100.0
	30～39歳	34.6	44.7	18.8	1.9	0.0	100.0
	40～49歳	36.0	47.2	16.8	0.0	0.0	100.0
	50～59歳	32.7	49.3	16.6	1.4	0.0	100.0
	60～69歳	27.3	53.3	18.2	1.2	0.0	100.0
	70歳以上	42.3	38.7	18.4	0.6	0.0	100.0
全体		38.4	44.9	15.8	0.9	0.0	100.0

b. 満足した名古屋の観光資源

名古屋市以外からの入込客が今回の名古屋訪問で満足した名古屋の観光資源としては、前頁で各観光地点の入込客とも満足度がかなり高かったこともあって、各施設が含まれる観光資源については84～90%と高く、選択項目に含まれない「名古屋市科学館」の入込客では「その他」が7割を超えている。

上記以外の観光資源としては、「ノリタケの森」の入込客で「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」が27.2%、「名古屋城」、「熱田神宮」、「名古屋市水族館」、「ノリタケの森」の入込客で「グルメ・なごやめし」などが1割以上となっている。

訪れた観光地点に影響されない観光資源について属性別にみると、「グルメ・なごやめし」は「関東」からの入込客をはじめ、幾つかの階層で1割を超えている。「都心部でのショッピングや街歩き」は29歳以下の若い方で1割程みられる。また、「コンサートや観劇などの鑑賞」が「北陸」、「その他」からの入込客で1割以上となっている。秋期調査時に人気アイドルグループのコンサートが名古屋ドームで行われたことが影響しているようである。

表 2-1-20 名古屋市外からの入込客の満足した名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢）

（単位：％）

地点・地域・性別・年齢	満足した観光資源											合計
	歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	観劇鑑賞	コンサート	観戦	スポーツ	その他	
観光地点	名古屋城	89.7	4.1	3.7	7.6	13.5	3.3	6.6	1.3	1.3	3.9	135.0
	東山動植物園	6.0	1.2	90.4	3.2	2.0	0.4	2.0	0.8	1.6	4.4	112.0
	熱田神宮	90.2	2.4	2.4	6.7	10.0	1.2	4.8	1.4	1.0	5.0	125.1
	名古屋市科学館	7.9	3.8	8.4	6.2	6.5	1.2	1.4	0.0	71.3	7.2	113.9
	名古屋港水族館	11.3	3.1	85.8	9.6	10.2	2.4	3.7	1.1	0.7	3.7	131.6
	ノリタケの森	27.2	83.9	3.4	6.3	10.6	0.7	3.9	0.5	0.5	3.6	140.6
地域	東海	28.8	12.8	37.1	6.5	5.4	2.4	0.9	0.4	17.6	5.2	117.1
	愛知県	28.6	10.7	37.5	6.0	5.8	2.8	0.7	0.5	18.3	5.0	115.9
	岐阜県	18.2	14.8	38.9	6.4	3.9	2.5	0.5	0.0	20.7	7.9	113.8
	三重県	31.3	13.2	30.6	8.3	1.4	2.1	0.7	0.0	23.6	4.9	116.1
	静岡県	39.3	19.7	38.2	7.9	8.4	0.6	2.2	0.6	6.2	3.4	126.5
	関東	64.8	22.7	10.7	8.1	18.3	0.5	7.8	1.6	5.2	3.7	143.4
	近畿	44.1	24.4	25.6	6.6	14.7	0.6	2.8	0.9	8.8	4.4	132.9
	北陸	51.3	14.1	24.4	6.4	5.1	1.3	12.8	1.3	14.1	2.6	133.4
	甲信越	62.0	20.3	22.8	6.3	5.1	0.0	8.9	0.0	6.3	3.8	135.5
	その他	64.5	21.8	17.1	8.1	13.7	1.4	12.3	2.8	7.6	4.3	153.6
性別	男性	43.2	15.5	29.2	6.4	8.8	1.8	1.2	1.4	12.4	5.3	125.2
	女性	40.1	18.1	28.4	7.3	9.9	1.6	5.9	0.5	13.6	4.1	129.5
年齢	10～19歳	29.5	6.4	36.4	11.4	7.7	1.4	4.5	0.0	19.1	5.5	121.9
	20～29歳	35.7	9.3	40.7	9.7	13.0	1.7	4.8	0.8	13.8	4.1	133.6
	30～39歳	39.7	10.6	36.1	7.3	9.9	1.7	3.9	1.1	11.2	5.2	126.7
	40～49歳	44.0	12.9	24.7	6.0	11.8	2.7	3.6	2.2	17.6	2.7	128.2
	50～59歳	46.0	31.0	16.1	4.4	8.6	0.8	6.4	0.8	11.1	4.4	129.6
	60～69歳	48.2	30.0	19.1	5.2	4.8	1.8	0.6	0.3	10.6	4.8	125.4
	70歳以上	50.9	25.2	16.6	1.8	4.3	0.6	1.8	0.0	8.0	8.0	117.2
全体	41.4	17.0	28.8	6.9	9.4	1.7	3.9	0.9	13.1	4.6	127.7	

（複数回答）

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が今回の名古屋訪問で不満を感じた名古屋の観光資源については、全体では「特になし」が95.7%と大半を占めている。個別の観光資源としては、最も割合が高い「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」でも1.1%とごく僅かである。

観光地点別にみても、3%に達する観光資源はなく、「特になし」の割合が大半を占めている。

居住地別、性別、年齢にみても、すべての階層で4%に達する観光資源はなく、「特になし」の割合が9割以上を占めている。

表 2-1-21 名古屋市外からの入込客の不満を感じた名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

(単位：%)

不満を感じた観光資源		施設	歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	観劇鑑賞	コンサート	観戦	スポーツ	その他	特になし	合計
地点・地域・性別・年齢															
観光地点	名古屋城	2.4	0.4	0.2	1.3	0.7	0.2	0.0	0.2	0.4	94.5	100.3			
	東山動植物園	0.0	0.0	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.0	100.0			
	熱田神宮	2.2	1.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.5	0.5	95.0	100.4			
	名古屋市科学館	1.2	0.2	0.2	1.0	0.5	0.2	0.0	0.0	1.9	95.0	100.2			
	名古屋港水族館	0.0	0.0	2.2	0.4	0.7	0.0	0.0	0.4	0.0	96.3	100.0			
	ノリタケの森	0.2	0.7	0.0	0.7	1.2	0.0	0.0	0.2	0.7	96.3	100.0			
地域	東海	0.9	0.3	0.7	0.4	0.7	0.0	0.0	0.1	0.7	96.3	100.1			
	愛知県	0.9	0.1	0.4	0.6	0.7	0.0	0.0	0.1	0.6	96.7	100.1			
	岐阜県	1.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	1.5	96.0	100.0			
	三重県	0.0	0.0	2.1	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	96.5	100.0			
	静岡県	1.1	1.1	1.7	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	95.5	100.0			
	関東	1.8	1.0	0.0	1.3	1.0	0.3	0.0	0.8	1.0	93.0	100.2			
	近畿	0.6	0.3	0.3	0.6	0.6	0.0	0.0	0.3	0.0	97.3	100.0			
	北陸	2.6	0.0	3.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	91.0	100.0			
	甲信越	1.3	0.0	0.0	0.0	3.8	1.3	0.0	1.3	0.0	93.7	101.4			
その他	0.9	0.5	0.5	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	95.7	100.5				
性別	男性	1.4	0.4	0.5	0.8	0.3	0.1	0.0	0.3	0.3	96.2	100.3			
	女性	0.9	0.4	0.6	0.7	1.1	0.1	0.0	0.2	0.9	95.3	100.2			
年齢	10～19歳	0.9	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	98.2	100.0			
	20～29歳	0.2	0.2	1.6	1.2	0.6	0.4	0.0	0.4	0.2	95.5	100.3			
	30～39歳	1.1	0.9	0.6	0.9	1.1	0.0	0.0	0.6	0.6	94.6	100.4			
	40～49歳	1.4	0.8	0.3	1.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	95.9	100.3			
	50～59歳	1.4	0.6	0.0	0.8	0.6	0.0	0.0	0.3	1.1	95.2	100.0			
	60～69歳	1.8	0.0	0.3	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.9	95.8	100.0			
	70歳以上	1.2	0.0	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	1.2	95.8	100.0			
全体	1.1	0.4	0.6	0.7	0.7	0.1	0.0	0.2	0.6	95.7	100.1				

(複数回答)

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」と回答した割合は80.8%であり、「歴史的な施設」の割合が33.2%と最も多く、「レジャー施設（動植物園・水族館等）」と「グルメ・なごやめし」の割合がそれぞれ2割、「ショッピングや街歩き」、「産業観光・ものづくり施設（ノリタケの森等）」、「お祭り・イベント」の割合が12～15%となっている。

属性別にみても、ほとんどの階層で「歴史的な施設」が最も高くなっている。

観光地点別にみると、訪れた施設が含まれる観光資源の割合は全般に比較的高く、特に「東山動植物園」の入込客では「レジャー施設」が同率1位となるなど、再訪したいと考える入込客も多いと言える。また、「名古屋城」、「熱田神宮」、「名古屋市科学館」の入込客では「レジャー施設」、「名古屋港水族館」、「ノリタケの森」の入込客では「グルメ・なごやめし」の割合がそれぞれ第2位となっている。

居住地別にみると、「北陸」からの入込客では「レジャー施設」の割合が最も高い。また、「愛知」、「岐阜」、「三重」などからの入込客では「レジャー施設」、「静岡」、「関東」、「近畿」、「甲信越」などからの入込客では「グルメ・なごやめし」がそれぞれ第2位となっている。

性別、年齢別にみると、70歳以上を除き「レジャー施設」と「グルメ・なごやめし」の割合は、総じて拮抗し、第2位、3位となっている。

表 2-1-22 名古屋市外からの入込客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

訪れてみたい観光資源		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	コンサートや観劇鑑賞	スポーツ観戦	その他	特になし	合計
地点・地域・性別・年齢												
観光地点	名古屋城	39.3	14.6	18.6	10.7	17.2	11.6	7.4	7.2	0.9	18.3	145.8
	東山動植物園	24.5	6.0	24.5	12.4	13.3	10.4	5.6	2.8	1.2	32.5	133.2
	熱田神宮	37.1	13.2	19.9	17.2	15.8	10.3	5.0	5.7	1.4	16.7	142.3
	名古屋市科学館	28.0	12.0	26.6	14.8	17.0	11.7	10.0	6.7	7.2	23.2	157.2
	名古屋港水族館	30.7	9.4	21.6	19.0	26.1	15.9	12.0	10.0	1.7	16.6	163.0
	ノリタケの森	35.9	17.8	15.7	14.9	28.2	10.8	9.9	4.3	1.2	13.5	152.2
地域	東海	31.4	10.4	22.4	18.0	19.7	14.2	10.9	6.5	2.5	19.6	155.6
	愛知県	32.5	10.8	23.5	17.3	19.1	15.2	11.1	6.7	2.4	20.6	159.2
	岐阜県	30.0	7.9	25.6	20.7	19.2	14.8	9.4	6.4	3.4	21.2	158.6
	三重県	28.5	11.8	22.9	16.7	16.0	11.8	8.3	5.6	2.1	18.1	141.8
	静岡県	30.3	10.1	12.9	19.1	25.8	10.7	14.0	6.7	1.7	14.6	145.9
	関東	38.1	17.8	17.5	12.0	20.9	9.9	5.2	6.3	1.6	16.7	146.0
	近畿	37.8	12.2	18.4	11.6	24.7	9.7	4.1	5.9	2.5	18.8	145.7
	北陸	25.6	5.1	28.2	9.0	12.8	7.7	10.3	12.8	3.8	21.8	137.1
	甲信越	31.6	15.2	15.2	10.1	20.3	7.6	5.1	1.3	2.5	27.8	136.7
	その他	32.2	19.4	20.4	10.9	17.1	8.1	7.1	6.6	1.9	17.5	141.2
性別	男性	31.1	11.6	20.0	13.0	20.9	10.9	5.9	9.4	2.2	20.7	145.7
	女性	34.8	13.3	21.5	16.5	19.6	12.7	10.5	4.3	2.4	18.1	153.7
年齢	10～19歳	24.1	7.7	21.8	16.4	21.8	17.3	11.4	9.5	2.3	20.5	152.8
	20～29歳	26.0	9.7	23.3	16.9	21.5	15.7	8.3	9.9	1.2	18.8	151.3
	30～39歳	30.0	12.7	22.5	16.4	22.9	14.0	9.9	5.6	1.7	18.1	153.8
	40～49歳	37.4	14.0	22.3	15.9	22.8	10.7	6.9	6.0	4.1	14.8	154.9
	50～59歳	39.9	15.5	19.4	16.3	18.8	8.3	10.5	5.5	1.1	16.6	151.9
	60～69歳	37.3	13.9	16.7	10.3	16.1	9.4	7.3	3.6	3.3	27.6	145.5
	70歳以上	45.4	15.3	16.0	8.0	10.4	3.1	3.7	2.5	4.3	20.2	128.9
全体	33.2	12.6	20.9	15.0	20.1	12.0	8.6	6.5	2.3	19.2	150.4	

（複数回答）

2-2 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 27 年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

②調査対象・方法

平成 26 年度調査により把握した市内宿泊施設から廃止した施設を除き、平成 27 年度新規開業した施設と宿泊施設リストを見直し漏れていた施設を加え、163 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

③調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成 27 年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

④調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成 28 年 6 月～8 月
- 回答状況：調査対象数 166 施設
有効回答数 163 施設
(全問回答 64 施設、準全問回答 46 施設、部分回答 53 施設)
廃休業数 3 施設
新規開業数 2 施設

(2) 宿泊施設の現状

①回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした166（平成27年度新規開業した2施設を含む）施設のうち、調査で廃休業などが判明した3施設を除く163施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは64施設（対有効回答数比39.3%）、準全問回答（宿泊者数の回答有り）が得られたのは46施設（対有効回答数比28.2%）、部分回答が得られたのは53施設（対有効回答数比32.5%）であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数（規模）をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：200室以上、100室以上200室未満、50室以上100室未満、50室未満の4区分

表 2-2-1 回答状況（タイプ、規模別）

施設規模	回答状況	有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		15	8	5	2	0	(0)	15
ホテル (登録 ホテル を除く)	200室以上	35	14	14	7	0	(0)	35
	100室以上200室未満	42	15	13	14	0	(2)	42
	50室以上100室未満	28	11	9	8	0	(0)	28
	50室未満	13	4	2	7	1	(0)	14
計		118	44	38	36	1	(2)	119
旅館		30	12	3	15	2	(0)	32
全体		163	64	46	53	3	(2)	166
回収率：(%)		98.2	-	-	-	1.8	-	100.0
回答状況：(%)		100.0	39.3	28.2	32.5	-	(1.2)	-

注：新規開業は内数値のため、() となっている。

②施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが15施設、登録ホテルを除くホテルは118施設、旅館は30施設となっている。また、室数の合計は22,700室、収容人数の合計は32,252人で、前年度調査時点より合計施設数では3施設、部屋数では925室、収容人数では1,559人の増加となった。

表 2-2-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模	室・人員	回答数 (施設)	和室		洋室		合計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		15	17	55	4,691	7,409	4,708	7,464
ホテル (登録ホテルを除く)	200室以上	35	13	51	8,958	11,515	8,971	11,566
	100室以上 200室未満	42	9	27	5,937	8,160	5,946	8,187
	50室以上 100室未満	28	41	114	2,086	2,886	2,127	3,000
	50室未満	13	44	121	373	483	417	604
	計	118	107	313	17,354	23,044	17,461	23,357
旅館		30	448	1,301	83	130	531	1,431
全体		163	572	1,669	22,128	30,583	22,700	32,252

表 2-2-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	室数	収容人数								
登録ホテル	4,902	7,615	4,896	7,769	4,898	7,689	4,706	7,476	4,708	7,464
ホテル	16,037	20,833	16,020	20,959	16,020	21,030	16,492	21,611	17,461	23,357
旅館	711	1,997	710	2,001	631	1,741	577	1,606	531	1,431
全体	21,650	30,445	21,626	30,729	21,549	30,460	21,775	30,693	22,700	32,252
施設数	170		169		166		160		163	

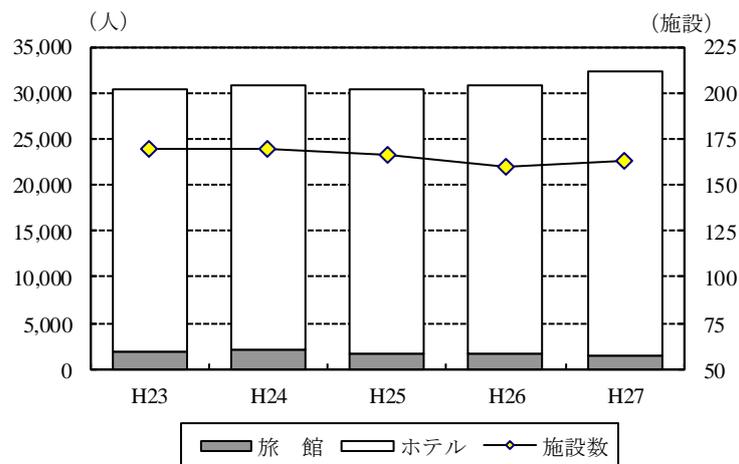


図 2-2-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移

(3) 宿泊客数

①年間宿泊者数

a. 宿泊者数

平成 27 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 845 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 197 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 634 万人泊、旅館が約 15 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 653 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 136 万人泊、実人数は約 102 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 15.6%が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、宿泊者一人あたりの宿泊数は、旅館が 2.7 泊、登録ホテルが 1.5 泊、ホテル（登録ホテルを除く）が 1.3 泊となっている。

表 2-2-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数	全施設の 年間総実人数	うち全施設の 年間外国人 総実人数
		(人泊)	(人泊)	(人)	(人)
登録ホテル		1,966,044	442,360	1,502,058	299,920
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	3,387,183	589,370	2,587,808	468,549
	100 室以上 200 室未満	2,083,351	256,252	1,662,514	203,208
	50 室以上 100 室未満	761,800	60,182	616,296	43,572
	50 室未満	109,852	5,493	85,794	3,016
計		6,342,186	911,297	4,952,412	718,345
旅館		145,479	2,037	74,631	746
全 体		8,453,709	1,355,694	6,529,101	1,019,011

b. 宿泊者数の推移

宿泊者数の過去 5 年間の推移をみると、年間総実人数、年間総延べ宿泊者数ともに平成 23 年度以降増加傾向がみられ、前年度と比べ、年間総実人数は約 67 万人、年間総延べ宿泊者数は約 93 万人それぞれ増加している。

年間定員稼働率についても、平成 23 年度以降増加傾向となっており、前年度より 4.3 ポイント増加している。

外国人宿泊者数についても、平成 23 年度以降増加傾向がみられ、前年度と比べ、総実人数は約 46 万人、総延べ宿泊者数は約 51 万人それぞれ増加している。

表 2-2-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

区 分		年 度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
年間総実人数（人）		5,192,149	5,796,736	5,979,400	5,855,719	6,529,101
	うち外国人	271,884	482,571	570,030	556,595	1,019,011
年間総延べ宿泊者数（人泊）		6,674,019	6,950,791	7,509,115	7,523,002	8,453,709
	うち外国人	441,255	606,148	839,550	849,079	1,355,694
年間定員稼働率（％）		62.1	63.2	67.8	68.6	72.9

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。
 年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数（表 2-2-6 参照）

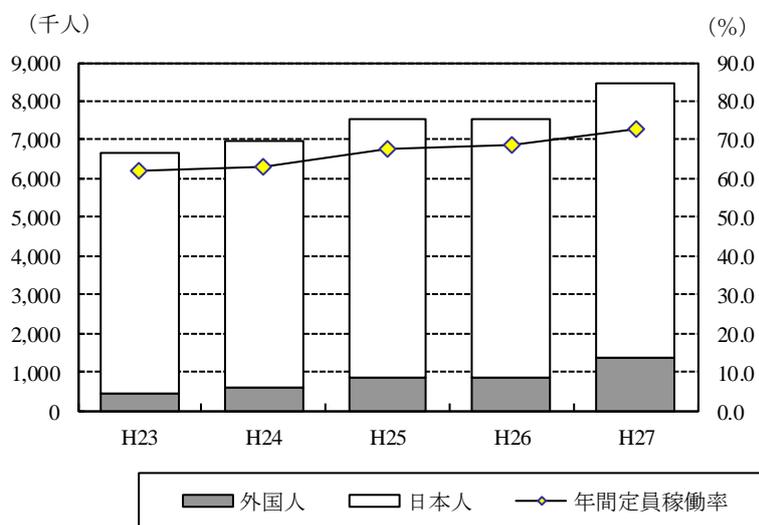


図 2-2-2 市内延べ宿泊者数の推移

推計方法

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成 27 年度の営業日数（通年営業施設は 366 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a. 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として 72.9% の値を得た。区分別にみると、200 室以上のホテルが最も高く、旅館が最も低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-2-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	① 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり施設 の 1 日収容可 能人数 (人)	③ 回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	④ 年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		13	1,317,521	5,003	1,831,098	72.0
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	28	2,699,981	9,219	3,374,154	80.0
	100 室以上 200 室未満	28	1,382,562	5,432	1,988,112	69.5
	50 室以上 100 室未満	21	604,334	2,388	859,208	70.3
	50 室未満	6	50,188	276	101,016	49.7
計		83	4,737,065	17,315	6,322,490	74.9
旅館		15	68,965	679	248,514	27.8
全 体		111	6,123,551	22,997	8,402,102	72.9

注：③＝②×366 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝①÷③

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（2,330,158人泊）を算出した。

表 2-2-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答なし施設 の1日収容 可能人数 (人)	② 回答なし施設 の年間収容 可能人数 (人)	③ 回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	④ 回答なし施設 の年間延べ 宿泊者数 の推計値 (人泊)
登録ホテル		2	2,461	900,726	72.0	648,523
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	7	2,347	859,002	80.0	687,202
	100室以上 200室未満	14	2,755	1,008,330	69.5	700,789
	50室以上 100室未満	7	612	223,992	70.3	157,466
	50室未満	7	328	120,048	49.7	59,664
	計	35	6,042	2,211,372		1,605,121
旅館		15	752	275,232	27.8	76,514
全 体		52	9,255	3,387,330		2,330,158

注：②＝①×366日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝②×③

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（8,453,709人泊）。

表 2-2-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		①回答あり施設		②回答なし施設		③全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間総延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		13	1,317,521	2	648,523	15	1,966,044
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	28	2,699,981	7	687,202	35	3,387,183
	100室以上 200室未満	28	1,382,562	14	700,789	42	2,083,351
	50室以上 100室未満	21	604,334	7	157,466	28	761,800
	50室未満	6	50,188	7	59,664	13	109,852
	計	83	4,737,065	35	1,605,121	118	6,342,186
旅館		15	68,965	15	76,514	30	145,479
全 体		111	6,123,551	52	2,330,158	163	8,453,709

注：③＝①＋②

b. 全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-2-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（6,529,101 人）。

表 2-2-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 実人数 (人)	② 回答あり 施設の年間 延べ宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 実人数比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の年 間総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		8	602,946	789,604	76.4	1,966,044	1,502,058
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	14	1,040,417	1,361,029	76.4	3,387,183	2,587,808
	100 室以上 200 室未満	15	548,356	686,764	79.8	2,083,351	1,662,514
	50 室以上 100 室未満	11	260,975	322,469	80.9	761,800	616,296
	50 室未満	4	30,845	39,495	78.1	109,852	85,794
計		44	1,880,593	2,409,757		6,342,186	4,952,412
旅館		12	27,090	52,795	51.3	145,479	74,631
全 体		64	2,510,629	3,252,156		8,453,709	6,529,101

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

c. 全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-2-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-2-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数※ (人泊)	② 回答あり 施設の年間延べ 宿泊者数※ (人泊)	③ 回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率※ (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)
登録ホテル		13	295,997	1,317,521	22.5	1,966,044	442,360
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	27	454,481	2,605,770	17.4	3,387,183	589,370
	100室以上 200室未満	22	134,834	1,100,545	12.3	2,083,351	256,252
	50室以上 100室未満	19	43,847	552,069	7.9	761,800	60,182
	50室未満	5	2,029	40,985	5.0	109,852	5,493
計		73	635,191	4,299,369		6,342,186	911,297
旅館		12	844	58,528	1.4	145,479	2,037
全 体		98	932,032	5,675,418		8,453,709	1,355,694

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

※：「年間外国人総延べ宿泊者数」について回答があった施設の数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の外国人延べ宿泊者数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、外国人延べ宿泊者数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比とし、その数値をアの項で算出した全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値（表 2-2-10）に乗じて算出した。

表 2-2-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 外国人 実人数※ (人)	② 回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数※ (人泊)	③ 回答あり 施設の 外国人 実人数比※ (%)	④ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者 数推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		8	121,081	178,594	67.8	442,360	299,920
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	12	128,687	161,837	79.5	589,370	468,549
	100室以上 200室未満	11	53,782	67,849	79.3	256,252	203,208
	50室以上 100室未満	9	15,465	21,357	72.4	60,182	43,572
	50室未満	5	1,106	2,014	54.9	5,493	3,016
計		37	199,040	253,057		911,297	718,345
旅館		12	309	844	36.6	2,037	746
全 体		57	320,430	432,495		1,355,694	1,019,011

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

※：「年間外国人総延べ宿泊者数」及び「年間外国人総実人数」について回答があった施設の数値

②国別外国人宿泊数

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 91 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 86 施設であり、その割合は 94.5%であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館 5 施設であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、中国が全体の 44.0% (313,701 人) と最も多く、次いで台湾 17.4% (123,835 人)、香港 11.0% (78,519 人) で、合わせて 72.4%を占めている。以下、タイ 7.9% (56,080 人)、韓国 6.3% (44,454 人)、米国 3.7% (26,020 人) の順となっており、その他の国の割合は 2%未満である。

施設分類別にみても、すべての施設タイプで中国が最も多くなっている。

表 2-2-12 国別、外国人宿泊者数

	ホテル登録	ホテル（登録ホテルを除く）					旅館	全 体	
		200室以上	100室以上 200室未満	50室以上 100室未満	50室未満	計		人数 (人)	割合 (%)
回答数（施設）	11	24	23	16	5	68	12	91	
中国	75,252	157,772	64,778	15,186	498	238,234	215	313,701	44.0
台湾	33,785	64,066	21,031	4,794	133	90,024	26	123,835	17.4
香港	13,336	46,652	12,690	5,747	56	65,145	38	78,519	11.0
タイ	29,710	20,972	3,410	1,918	29	26,329	41	56,080	7.9
韓国	13,230	20,038	7,347	3,557	181	31,123	101	44,454	6.3
米国	13,935	5,519	5,373	1,133	49	12,074	11	26,020	3.7
シンガポール	6,007	4,101	2,078	555	28	6,762	7	12,776	1.8
ベトナム	5,018	5,967	576	138	41	6,722	14	11,754	1.6
マレーシア	2,828	3,958	1,030	634	10	5,632	7	8,467	1.2
オーストラリア	1,971	3,085	1,471	478	19	5,053	12	7,036	1.0
ドイツ	3,230	1,318	1,541	460	19	3,338	5	6,573	0.9
インドネシア	3,594	1,843	589	305	48	2,785	8	6,387	0.9
英国	2,112	2,341	794	292	11	3,438	6	5,556	0.8
フランス	1,980	1,376	945	379	14	2,714	44	4,738	0.7
フィリピン	276	836	506	106	0	1,448	12	1,736	0.2
インド	217	1,039	118	72	41	1,270	2	1,489	0.2
カナダ	26	878	181	113	0	1,172	0	1,198	0.2
イタリア	0	313	577	61	0	951	0	951	0.1
スイス	0	539	32	18	0	589	0	589	0.1
ロシア	0	98	58	43	1	200	0	200	0.0
オランダ	23	135	28	0	1	164	0	187	0.0
スペイン	0	41	80	48	0	169	0	169	0.0
ブラジル	23	3	0	90	0	93	42	158	0.0
スウェーデン	0	0	20	95	0	115	18	133	0.0
メキシコ	39	55	8	18	0	81	0	120	0.0
ベルギー	21	0	7	0	1	8	0	29	0.0
ニュージーランド	0	11	18	0	0	29	0	29	0.0
モンゴル	0	0	19	0	0	19	3	22	0.0
カンボジア	0	1	0	2	0	3	0	3	0.0
チリ	0	0	2	0	1	3	0	3	0.0
フィンランド	0	0	0	2	0	2	0	2	0.0
ハンガリー	0	0	0	0	1	1	0	1	0.0
オーストリア	0	0	1	0	0	1	0	1	0.0
ノルウェー	0	0	0	0	1	1	0	1	0.0
南アフリカ	0	0	0	0	1	1	0	1	0.0
合 計	206,613	342,957	125,308	36,244	1,184	505,693	612	712,918	100.0

③修学旅行団体の受入状況

a. 修学旅行学校数及び宿泊者数

平成 27 年度に修学旅行団体を受け入れた宿泊施設は 12 施設（対有効回答 163 施設比 7.4%）である。学校数は 116 校、宿泊者数は 5,543 人である。前年度（82 校、3,984 人）に比べ、学校数は 34 校、宿泊者数は 1,559 人増加している。

学校分類別では、小学校（19 校増、515 人増）、中学校（11 校増、541 人増）、高校（15 校増、440 人増）とも大幅に増加している。

表 2-2-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	① 学校数 (校)	② 宿泊者数 (人)	③ 1校あたり修学 旅行宿泊者数 (人)
登録ホテル		4	37	2,220	60
ホテル (登録ホテ ルを除く)	200 室以上	2	6	335	56
	100 室以上 200 室未満	1	2	118	59
	50 室以上 100 室未満	0	0	0	0
	50 室未満	1	6	170	28
計		4	14	623	45
旅館		4	65	2,700	42
全 体		12	116	5,543	48

注：③＝②÷①

表 2-2-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	学校数	宿泊者数								
小学校	48	3,002	18	1,073	15	980	18	1,048	37	1,563
中学校	11	1,101	15	984	12	469	17	767	28	1,308
高 校	16	1,204	17	1,526	11	747	12	868	27	1,308
その他	20	1,338	27	1,019	17	591	35	1,301	24	1,364
全 体	95	6,645	77	4,602	55	2,787	82	3,984	116	5,543

b. 地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

全体では116校中35校(30.2%)が近畿地域から、32校(27.6%)が関東・甲信越地域から、26校(22.4%)が東海・北陸地域からの修学旅行団体である。

表 2-2-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	3		1	2	
		関東・甲信越	9		3	3	3
		東海・北陸	14	2	7		5
		近畿	6	4	2		
		中国・四国	4	1	1	2	
		九州・沖縄	0				
		外国・不明	1	1			
ホテル(登録ホテルを含まず)		北海道・東北	1			1	
		関東・甲信越	3	1	1		1
		東海・北陸	4	1		2	1
		近畿	5	2	1	1	1
		中国・四国	1			1	
		九州・沖縄	0				
		外国・不明	0				
旅館		北海道・東北	1			1	
		関東・甲信越	20	3	7	2	8
		東海・北陸	8	3	2	1	2
		近畿	24	19	3		2
		中国・四国	2			1	1
		九州・沖縄	0				
		外国・不明	10			10	
全体		北海道・東北	5	0	1	4	0
		関東・甲信越	32	4	11	5	12
		東海・北陸	26	6	9	3	8
		近畿	35	25	6	1	3
		中国・四国	7	1	1	4	1
		九州・沖縄	0	0	0	0	0
		外国・不明	11	1	0	10	0
		計	116	37	28	27	24

注：各地域に含まれる都道府県は以下の通り

北海道・東北—北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県

関東・甲信越—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県・新潟県・長野県・山梨県

東海・北陸—愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・福井県・石川県・富山県

近畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

中国・四国—鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県

九州・沖縄—福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県・沖縄県

表 2-2-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道					2	206			2	206
青森県										
秋田県			1	90					1	90
岩手県					1	24			1	24
山形県										
宮城県					1	42			1	42
福島県										
東京都			3	125	2	164	2	270	7	559
神奈川県	3	103	5	133	1	22	6	300	15	558
千葉県	1	25	1	40			1	79	3	144
埼玉県			1	25			1	46	2	71
群馬県							1	40	1	40
栃木県					1	41			1	41
茨城県										
新潟県										
長野県			1	65	1	46	1	56	3	167
山梨県										
愛知県			1	95	1	26			2	121
岐阜県	2	15	5	242			2	90	9	347
三重県							1	47	1	47
静岡県	3	64			1	35	4	245	8	344
福井県	1	19	1	70	1	84			3	173
石川県							1	19	1	19
富山県			2	64					2	64
滋賀県										
京都府	21	1,139	4	221	1	92	1	26	27	1,478
大阪府	2	41	2	65			1	43	5	149
奈良県							1	3	1	3
和歌山県										
兵庫県	2	67							2	67
鳥取県					1	80	1	100	2	180
島根県					1	80			1	80
岡山県										
広島県			1	73					1	73
山口県	1	20							1	20
香川県					1	27			1	27
徳島県										
愛媛県										
高知県					1	39			1	39
福岡県										
大分県										
宮崎県										
熊本県										
佐賀県										
長崎県										
鹿児島県										
沖縄県										
外国	1	70							1	70
不明					10	300			10	300
合計	37	1,563	28	1,308	27	1,308	24	1,364	116	5,543

2-3 全国から見た名古屋の観光に関する評価 (名古屋の観光に関する全国インターネット調査結果)

(1) 調査の概要

① 調査目的

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、インターネットを用いてアンケートを実施した。

② 調査対象

東海、関東、近畿、北陸・甲信越、東北・北海道、中国・四国、九州・沖縄に住む18～79歳の男女2,060名とした(名古屋市を除く)。

③ 調査日時等

平成28年2月18日(木)～21日(日)

④ サンプルング方法

国勢調査における都道府県人口割合と性・年齢別人口割合をもとに、各カテゴリーのサンプル数を求めた。(下表参照)。

インターネット調査の対象者

性・年齢 地域	男性								女性								合計
	男性計	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	女性計	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
東海	111	4	16	19	19	17	21	15	104	4	15	17	19	14	19	16	215
関東	352	7	43	55	69	58	67	53	359	8	42	53	67	59	72	58	711
近畿	181	5	25	30	33	30	33	25	165	4	20	30	31	27	26	27	346
北陸・甲信越	69	2	9	10	13	12	13	10	66	3	10	5	14	11	15	8	135
東北・北海道	115	3	13	21	22	17	23	16	126	3	14	19	25	21	24	20	241
中国・四国	87	3	9	14	18	11	18	14	95	3	12	14	19	14	17	16	182
九州・沖縄	112	4	15	19	19	17	20	18	118	4	13	18	18	19	26	20	230
合計	1027	28	130	168	193	162	195	151	1033	29	126	156	193	165	199	165	2,060

注：東 海—愛知県(名古屋市を除く)・岐阜県・三重県・静岡県
 関 東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県
 近 畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
 北 陸—福井県・石川県・富山県
 甲信越—新潟県・長野県・山梨県
 東 北—青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県
 中 国—鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 四 国—香川県・徳島県・愛媛県・高知県
 九 州—福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県

(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等

①名古屋への訪問状況

a. 過去5年間の名古屋への訪問回数

過去5年以内に名古屋を訪れたことがある割合は41.2%である。訪問回数としては、「1回」が16.2%と多く、以下「2回」、「3～5回」、「11回以上」の順となっている。

性別にみると、男性では訪れた割合は46.4%と半数近くを占め、女性より10.5ポイント高い。年齢別にみると、訪れた割合は29歳以下（47.4%）の若い世代で高くなっている。

地域別にみると、「東海」（84.2%）では8割以上が訪れており、うち「11回以上」が4割を占めている。次いで訪れた割合が高いのは「近畿」（48.0%）で、ほぼ半数となっている。

訪問回数としては、「東海」地域を除き、「1回」の割合が最も高くなっている。

図 2-3-1 過去5年間の名古屋への訪問回数



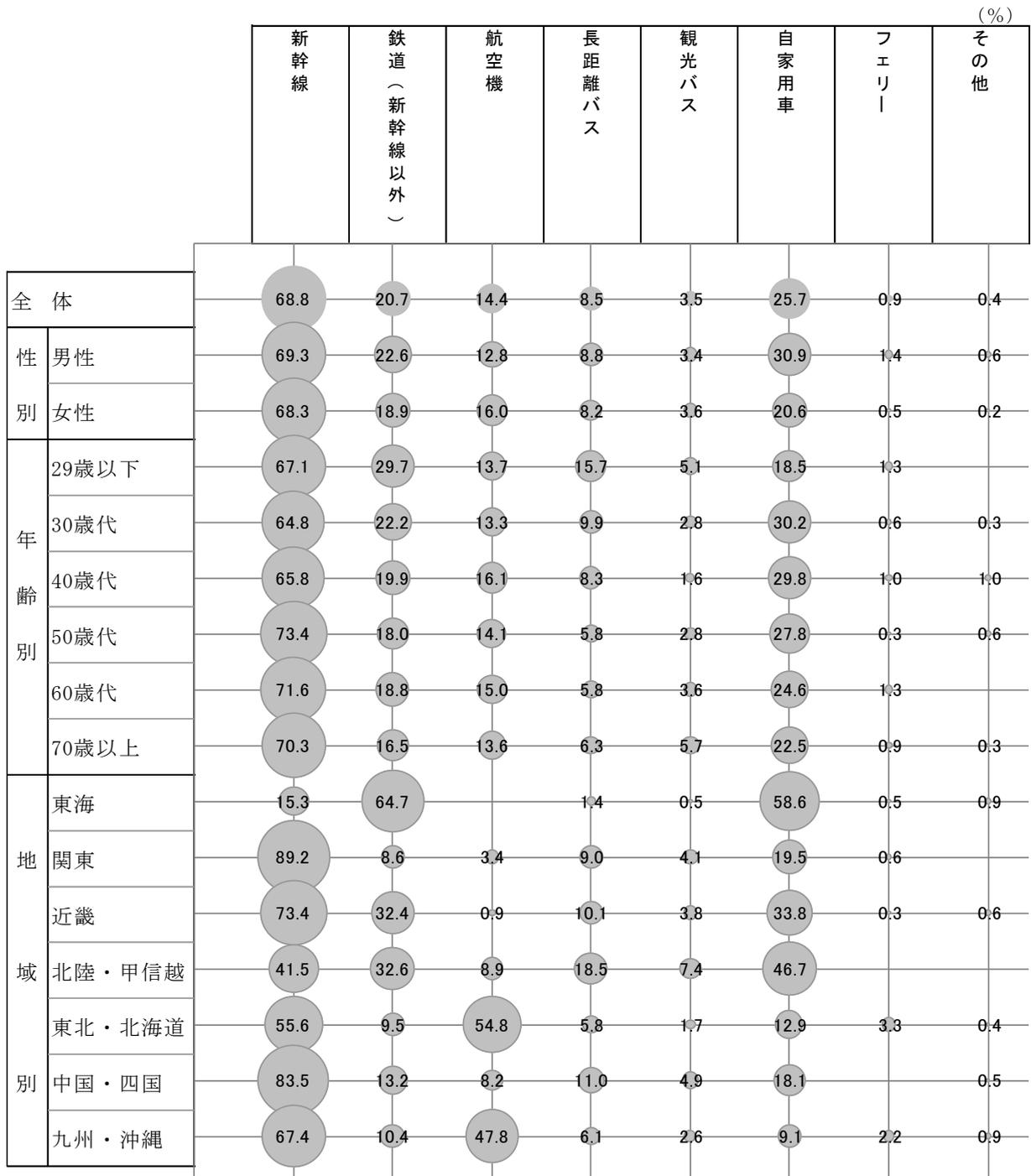
b. 名古屋への交通機関

名古屋を訪れる場合の交通機関としては、「新幹線」が68.8%と最も多く、次いで「自家用車」、「鉄道（新幹線以外）」、「航空機」と続いている。

性別にみても、順位は全く同じである。年齢別にみると、29歳以下では「鉄道」の割合が第2位となっており、在来線等を利用して来名する若者も多くみられる。

地域別にみると、「東海」では「鉄道」と「自家用車」の割合が高い。「北陸・甲信越」では「自家用車」、そのほかの地域では「新幹線」が最も高い。また、「東北・北海道」と「九州・沖縄」では「航空機」の割合も半数前後と高くなっている。

図 2-3-2 名古屋への交通機関（複数回答）



c. 名古屋への訪問目的

過去5年以内に名古屋を訪れた方（848人）の訪問目的としては、「観光施設の見学」（44.1%）が最も多く、次いで「友人・親戚への訪問」、「仕事」、「ショッピング」と続いている。

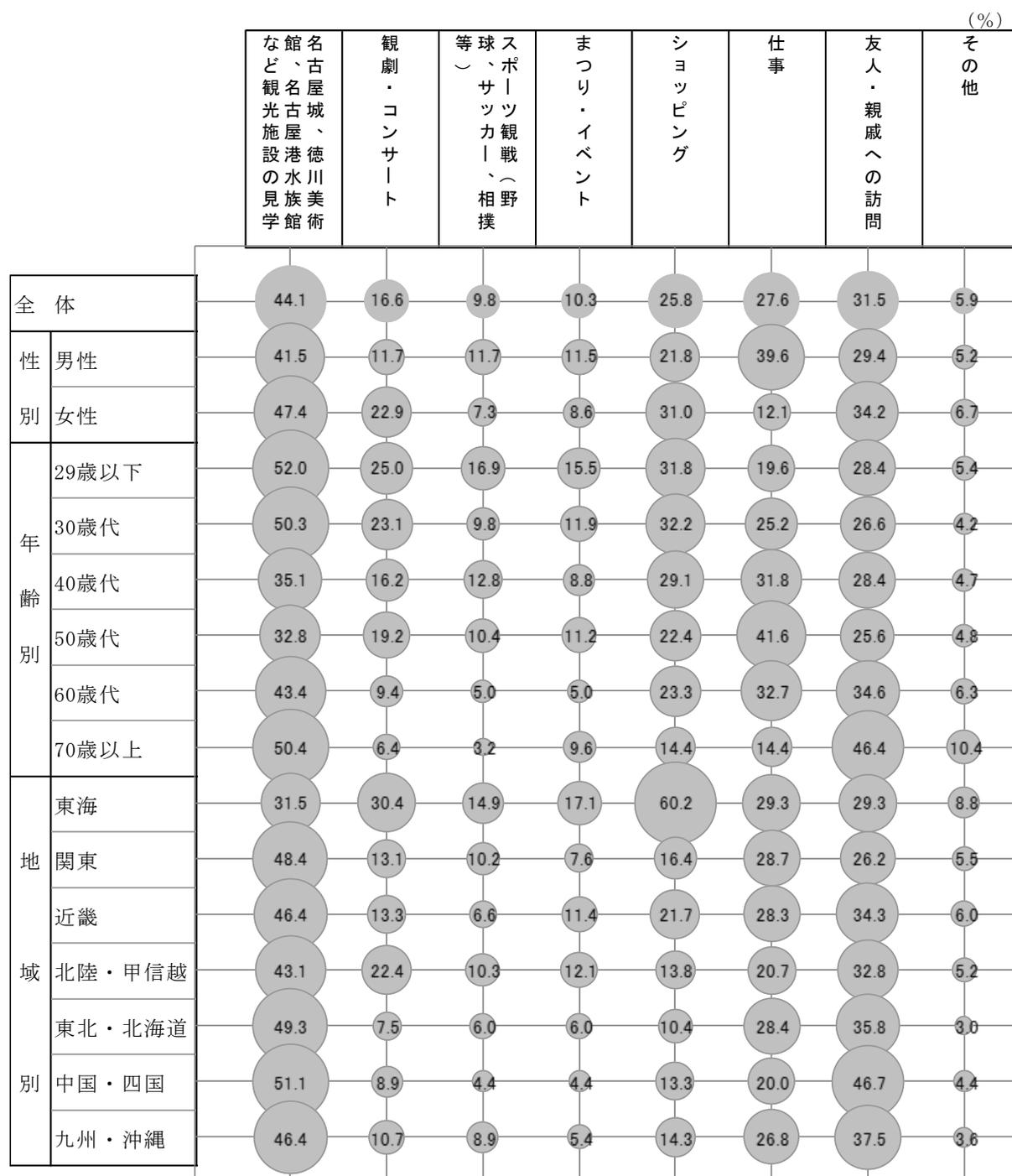
属性別にみても、「観光施設の見学」の割合は、総じて高い。

性別にみると、男性では「仕事」の割合も4割と高い。

年齢別にみると、「仕事」の割合は、50歳代をピークとしており、50歳代では最も高くなっている。また70歳以上では「友人・親戚への訪問」の割合も半数弱と高い。

地域別にみると、「東海」では「ショッピング」が60.2%と特に高い。

図 2-3-3 名古屋への訪問目的（複数回答）



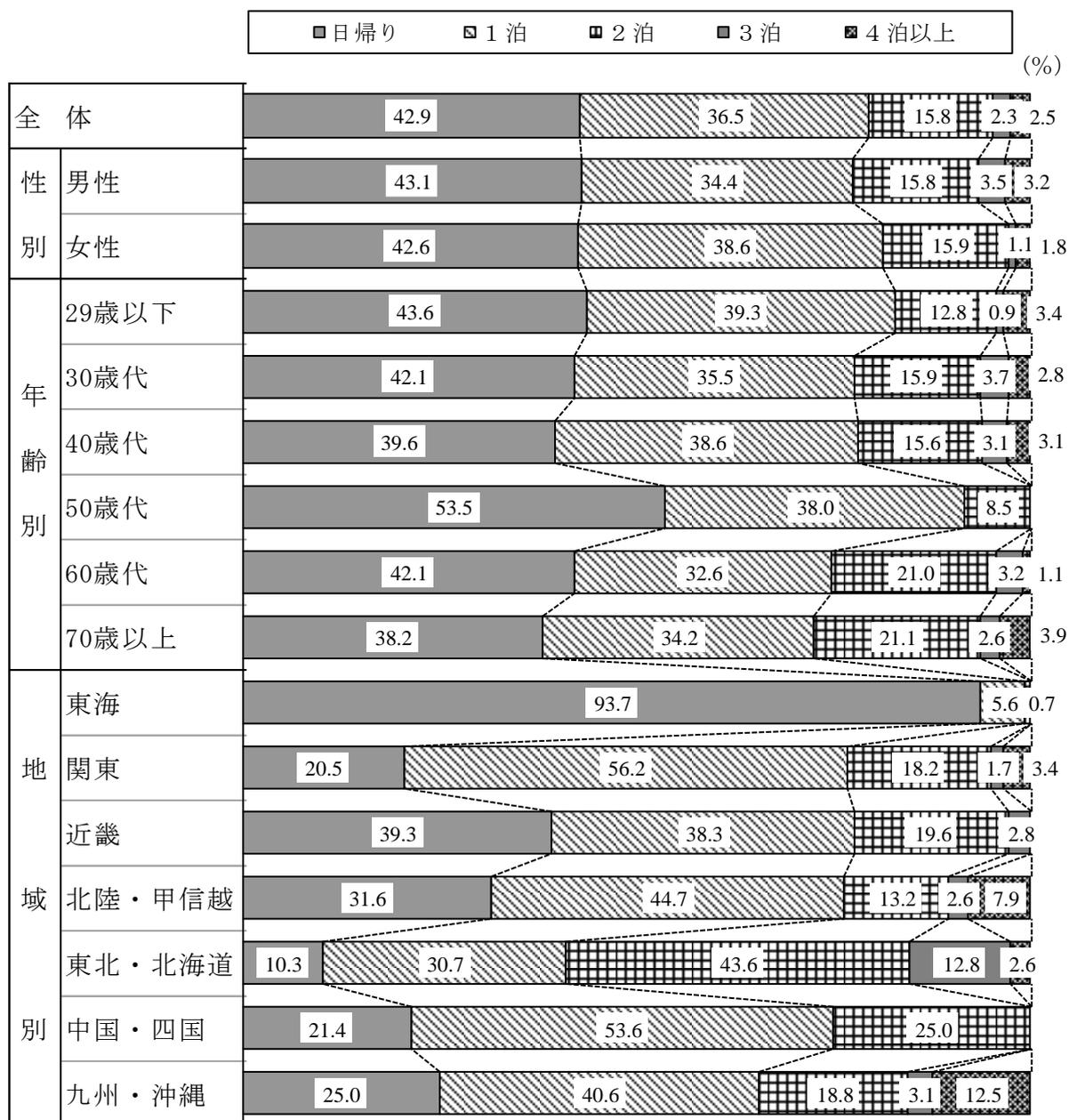
d. 名古屋への訪問日程

観光等が目的で名古屋を訪れた方（前ページ 図 2-3-3 で「観光施設の見学」「観劇・コンサート」「スポーツ観戦」「まつり・イベント」「ショッピング」と回答した方 562 人）の直近の訪問日程としては、「日帰り」の割合は 42.9%で、「1泊」が 36.5%、「2泊」が 15.8%など宿泊した割合が 57.1%となっている。

「日帰り」の割合は、50 歳代では過半数となっている。

地域別にみると、「東海」では大半が「日帰り」である。一方、「東北・北海道」では 9 割が宿泊している。

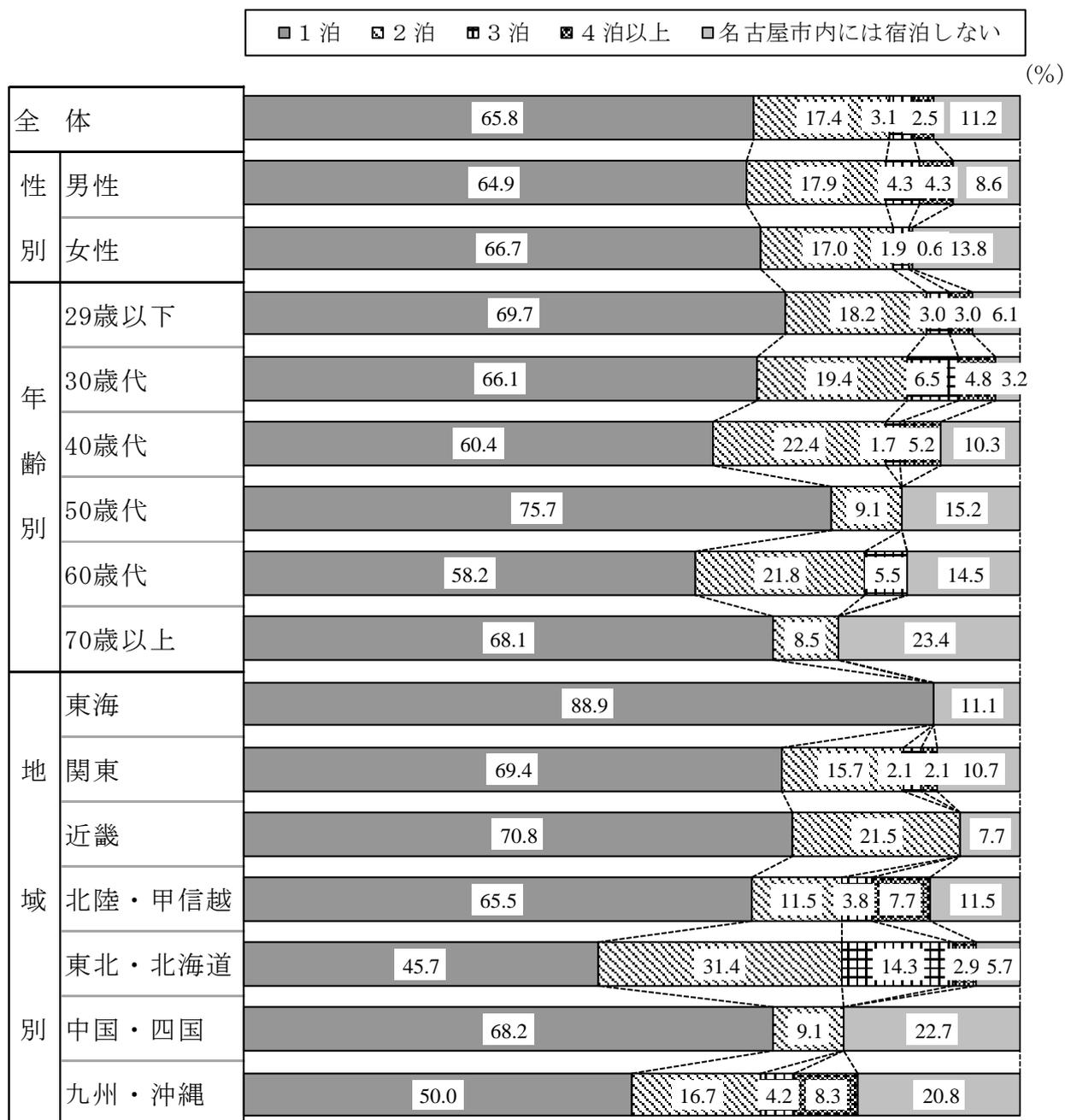
図 2-3-4 名古屋への訪問日程



e. 名古屋市内在の宿泊数

観光等が目的で名古屋を訪れた方（562 人）のうち、1泊以上の日程で名古屋を訪れた方（321 人）の名古屋市内在の宿泊数は、「1泊」が65.8%と最も多い。また、「名古屋市内には宿泊しない」は11.2%となっている。

図 2-3-5 名古屋市内在の宿泊数

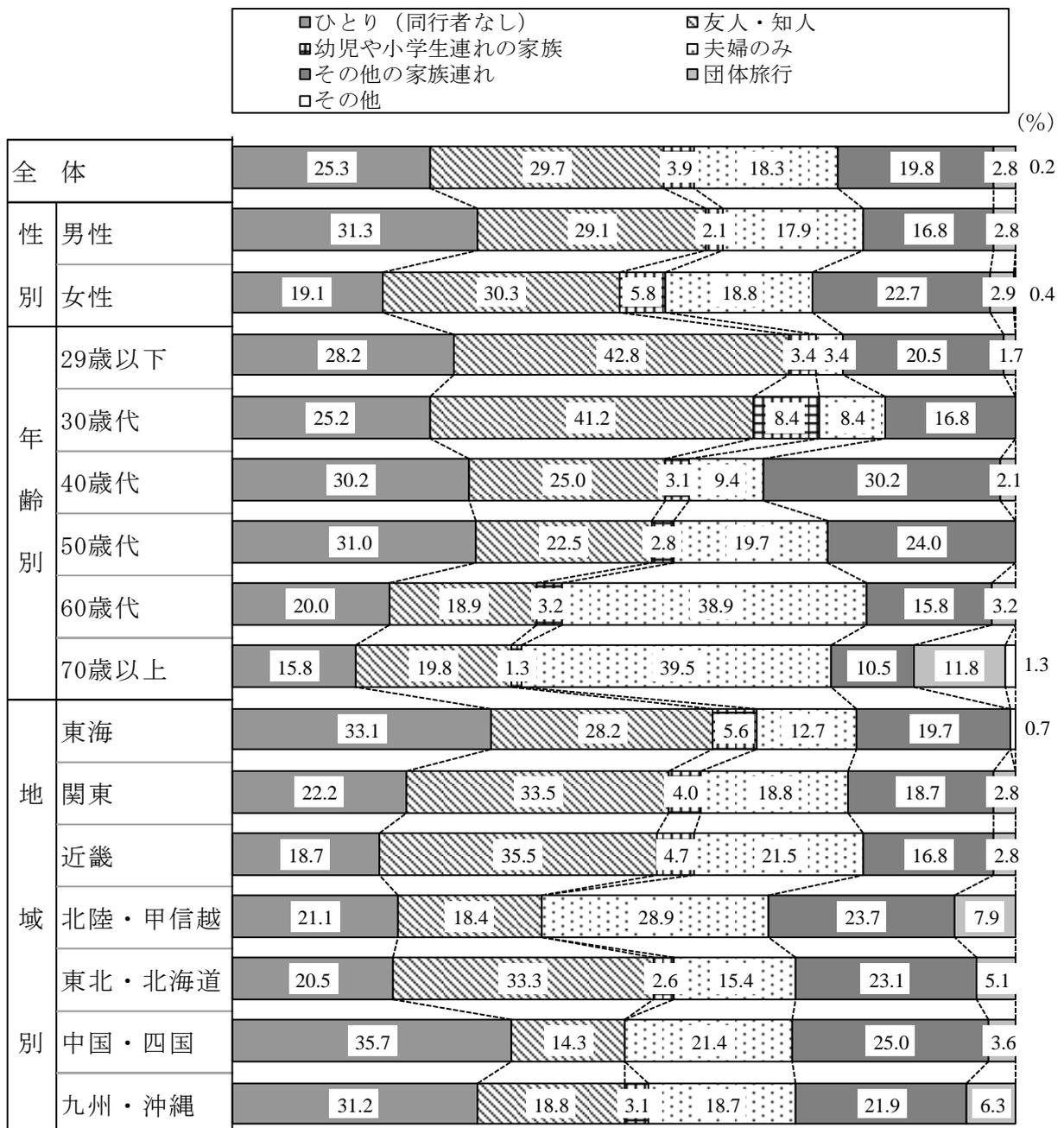


f. 名古屋への旅行形態

観光等が目的で名古屋を訪れた方（562人）の直近の訪問は、「友人・知人」（29.7%）の割合が最も高く、以下「ひとり（同行者なし）」、「その他の家族連れ」、「夫婦のみ」の順となっている。また、「幼児や小学生連れの家族」、「夫婦のみ」、「その他の家族連れ」を合わせた家族連れの割合は42.0%である。

性別にみると、男性では「ひとり（同行者なし）」、女性では「友人・知人」の割合が最も高い。年齢別にみると、「友人・知人」の割合は30歳代以下の若い世代で、「夫婦のみ」の割合は60歳代以上の高年齢層で、それぞれ4割程と高くなっている。

図 2-3-6 名古屋への旅行形態



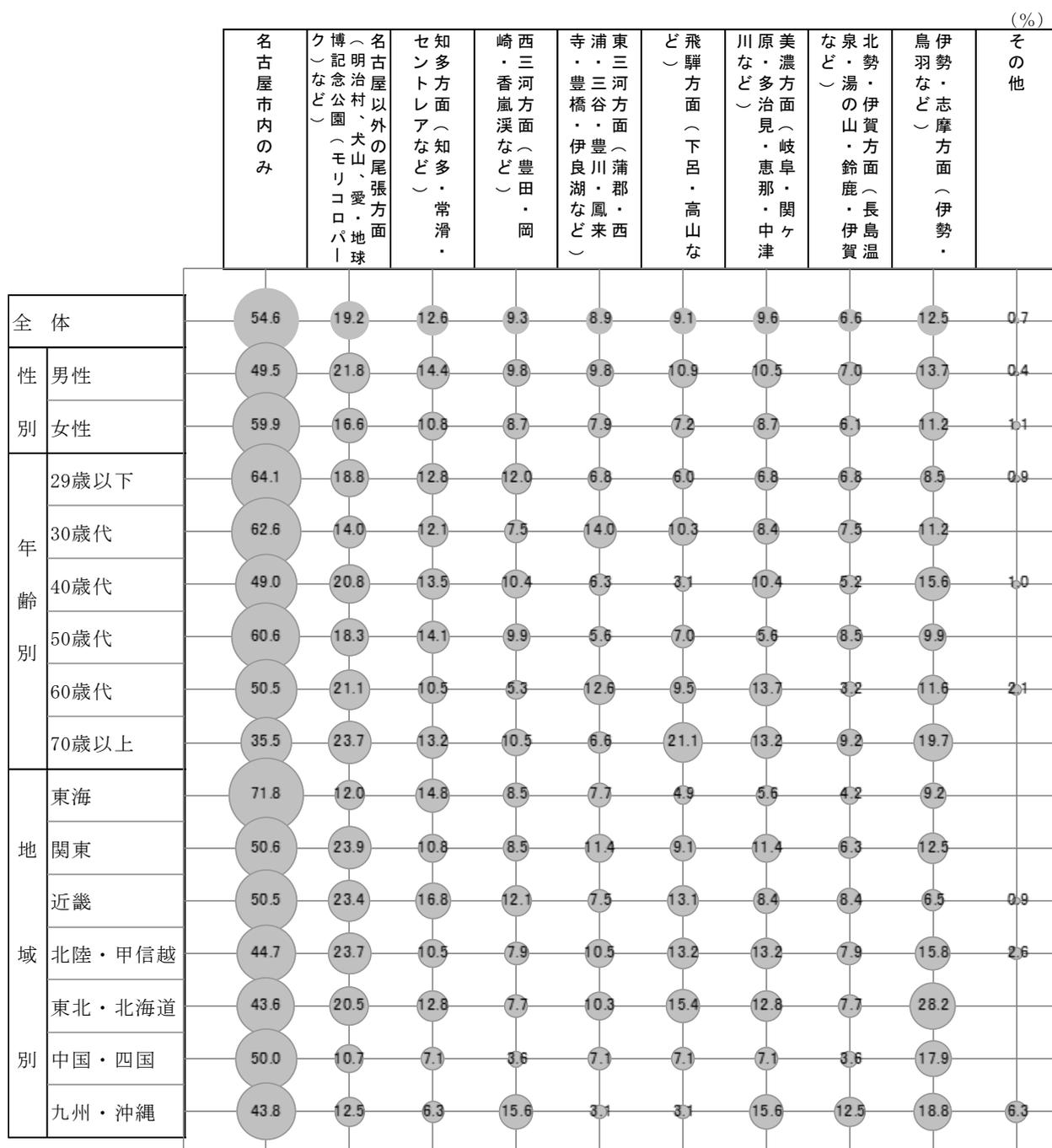
g. 名古屋市以外の訪問地

観光等が目的で名古屋に訪れた方（562人）が、名古屋市以外にも訪問した割合は45.4%であった。訪問地としては、「名古屋以外の尾張方面」が最も多く、以下、「知多方面」、「伊勢・志摩方面」と続いている。

名古屋市以外にも訪問した割合は、男性や40歳代、60歳代で半数程、70歳以上では6割以上と高い。一方、30歳代以下と50歳代では「名古屋市内のみ」が6割以上を占めている。

地域別にみると、「九州・沖縄」、「東北・北海道」と遠方からの訪問者と、自家用車利用の割合が高かった「北陸・甲信越」では、名古屋市以外にも訪問した割合が半数を超えている。

図 2-3-7 名古屋市以外の訪問地（複数回答）

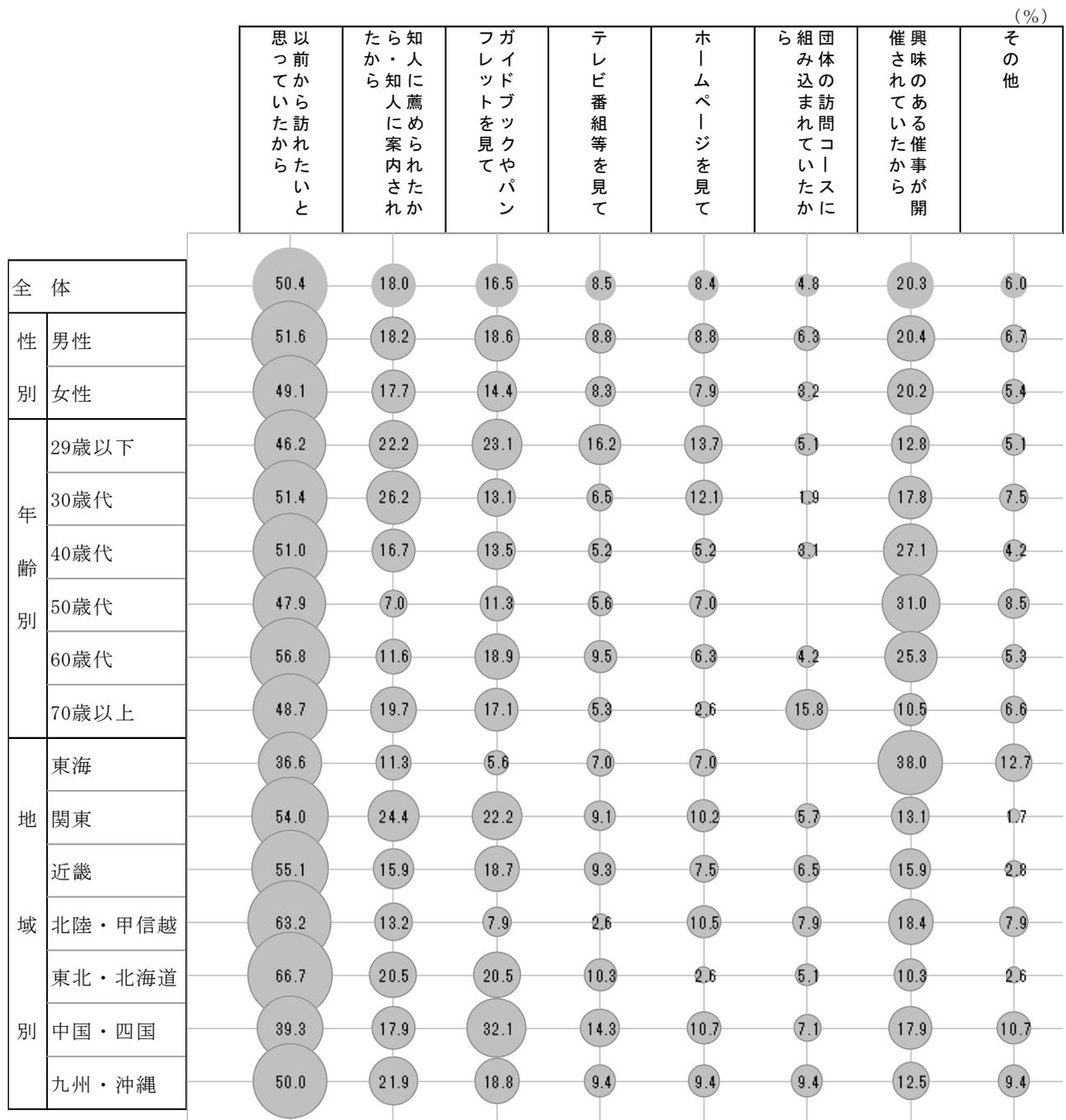


h. 名古屋への訪問のきっかけ

観光等が目的で名古屋を訪れた方（562人）のきっかけは、「以前から訪れたいと思っていたから」が50.4%で最も多く、半数があげている。「興味のある催事が開催されていたから」（20.3%）、「知人に薦められたから・知人に案内されたから」（18.0%）、「ガイドブックやパンフレットを見て」（16.5%）は、それぞれ2割程度となっている。

「東海」地域では「興味のある催事が開催されていたから」が最大のきっかけとなっている。

図 2-3-8 名古屋への訪問のきっかけ（複数回答）



②名古屋の観光資源の認知度と訪問・体験状況

a. 名古屋の観光資源の認知度

名古屋の観光資源の中で知っているものとしては、「名古屋城」(87.5%)が最も高く、9割程が知っている。以下「なごやめし」(57.0%)、「熱田神宮」(50.8%)、「東山動植物園」(42.8%)、「栄」(37.1%)と続いている。

「名古屋城」はすべての階層とも最も高くなっている。

男性や60歳代以上では「熱田神宮」が第2位となっている。

地域別にみると、「東海」では全般に高い認知度となっている。また、東海以外の地域では、上位の順位はほとんど同じとなっている。

表 2-3-1 名古屋の観光資源の認知度（複数回答）

		名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋市科学館（プラネタリウムなど）	名古屋市美術館	名古屋博物館	名古屋港（名古屋港水族館、シートレイ ンランド、ポートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オ アシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松・鳴海校舎館など）	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、 きしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	にっぽんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	知っているものはない
全体		87.5	15.6	24.3	50.8	18.9	21.3	14.8	14.2	11.9	9.5	23.9	42.8	37.1	20.4	2.2	7.1	57.0	10.0	7.1	10.0	0.6	8.6
性別	男性	89.5	16.9	26.4	56.2	24.0	26.4	14.6	14.9	11.5	10.0	27.4	44.8	42.6	24.1	2.0	6.9	55.4	10.2	7.7	10.4	0.7	8.3
	女性	85.5	14.3	22.3	45.4	13.9	16.2	15.0	13.5	12.4	9.0	20.4	40.9	31.8	16.8	2.3	7.3	58.7	9.8	6.6	9.5	0.5	8.9
年齢別	29歳以下	73.2	11.8	14.4	23.3	20.4	14.4	8.0	14.7	10.9	8.6	19.8	23.0	28.8	13.7	2.6	3.8	42.2	8.0	9.3	8.6	0.6	20.4
	30歳代	84.0	12.7	17.0	34.0	22.5	17.6	12.7	14.8	11.7	9.0	24.4	31.8	38.3	18.5	4.0	7.1	54.0	8.3	6.8	11.4	0.6	11.7
	40歳代	88.9	14.8	19.7	46.6	23.6	21.5	14.8	17.9	10.9	10.4	25.1	39.1	39.6	20.7	2.1	6.0	61.7	10.4	6.7	11.9	0.3	7.5
	50歳代	88.7	12.5	22.0	51.7	19.0	25.4	17.7	12.8	10.4	8.0	24.5	46.8	38.5	22.0	1.2	6.7	62.4	9.5	7.0	10.4	0.6	6.4
	60歳代	93.4	19.3	34.5	66.5	17.3	26.6	17.8	15.0	15.0	11.2	25.4	54.1	39.6	23.6	2.0	10.9	65.2	15.0	7.6	11.7	0.8	4.1
	70歳以上	94.9	22.2	37.0	79.7	10.1	20.6	17.1	8.9	12.3	9.5	23.4	60.1	36.7	23.1	1.3	7.3	53.5	7.6	5.4	4.7	0.6	2.8
地域別	東海	95.3	43.7	54.4	83.3	49.3	42.8	48.8	63.3	43.3	39.5	74.4	83.3	80.5	75.3	4.7	32.6	74.4	46.0	43.7	46.5	0.9	3.7
	関東	88.5	13.9	23.8	51.9	14.8	19.8	12.0	9.0	9.4	7.2	18.6	42.3	32.6	17.2	2.7	4.9	56.8	6.5	4.1	6.0	0.8	8.6
	近畿	85.5	11.3	17.9	50.0	23.7	18.5	14.5	12.1	9.2	4.9	22.3	37.9	40.5	19.1	0.6	5.2	59.2	6.1	2.0	4.0	0.6	8.1
	北陸・甲信越	90.4	16.3	25.9	51.1	19.3	26.7	11.9	11.9	8.9	8.9	25.9	48.9	40.0	22.2	4.4	3.7	57.8	9.6	4.4	8.1	0.0	6.7
	東北・北海道	85.9	11.6	17.8	36.5	10.0	18.3	7.9	5.8	6.2	5.0	14.1	25.7	24.5	5.8	1.2	2.1	51.9	2.5	2.1	7.1	0.8	10.4
	中国・四国	83.5	12.1	21.4	41.8	11.0	13.2	8.8	6.0	8.8	5.5	12.1	35.2	24.7	5.5	1.1	3.3	48.9	6.0	1.1	5.5	0.0	10.4
	九州・沖縄	83.0	7.8	15.7	40.0	11.7	16.1	6.1	3.9	4.8	3.9	13.9	34.3	27.0	7.4	1.3	3.0	49.6	4.3	1.7	4.3	0.0	11.7

b. 名古屋の観光資源の訪問・体験状況

過去5年以内に名古屋を訪れた方（848人）が訪問した場所又は経験したものとしては、「名古屋城」（46.6%）が最も高く、次いで「なごやめし」（40.4%）であり、以下、「栄」（29.8%）、「熱田神宮」（22.2%）と続いている。一方、「訪問した場所又は経験したものはなし」の割合は21.3%となっている。

性別にみても、上位6位までの順位は同じである。

年齢別にみると、40歳代～50歳代では「なごやめし」が最も高くなっている。また、40歳代～50歳代では「栄」、70歳以上では「熱田神宮」の割合も、それぞれ4割弱と比較的高い。

地域別にみると、「ショッピング」目的の割合が高かった「東海」では「栄」が最も高く、次いで「大須」となっている。また、「近畿」、「北陸・甲信越」では「なごやめし」が最も高くなっている。

表 2-3-2 名古屋の観光資源の訪問・体験状況（複数回答）

		名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋市科学館（プラネタリウムなど）	名古屋市美術館	名古屋博物館	名古屋港（名古屋港水族館、シートレイランド、ポートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松・鳴海絞会館など）	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	にっぽんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	訪問した場所又は経験したものはなし
全体		46.6	9.6	10.0	22.1	8.4	8.5	6.0	7.1	5.4	3.3	12.5	11.4	29.8	14.9	1.4	1.5	40.4	3.3	2.2	2.7	0.7	21.3
性別	男性	45.1	9.2	11.5	22.6	10.5	10.5	4.8	7.3	5.0	3.4	12.4	11.3	31.0	16.4	0.8	1.7	39.4	3.4	2.1	2.3	0.8	22.4
	女性	48.5	10.0	8.1	21.3	5.7	5.9	7.5	6.7	5.9	3.2	12.7	11.6	28.3	12.9	2.2	1.3	41.8	3.2	2.4	3.2	0.5	19.9
年齢別	29歳以下	52.7	9.5	8.8	14.9	12.2	6.1	5.4	9.5	5.4	3.4	12.2	10.1	25.7	11.5	1.4	2.0	29.1	4.1	2.7	2.7	0.7	25.0
	30歳代	46.9	8.4	8.4	16.1	6.3	6.3	3.5	4.9	3.5	3.5	17.5	16.1	28.0	14.7	3.5	3.5	40.6	1.4	2.1	4.2	0.7	14.0
	40歳代	39.9	8.8	4.1	16.2	7.4	9.5	4.7	8.8	5.4	4.7	12.2	11.5	35.1	17.6	0.0	0.0	41.2	5.4	2.0	4.1	0.0	27.0
	50歳代	36.0	4.8	4.0	20.0	4.8	8.8	4.8	7.2	7.2	1.6	9.6	7.2	35.2	12.8	1.6	0.0	44.8	3.2	4.0	1.6	1.6	21.6
	60歳代	49.1	11.3	16.4	29.6	9.4	10.1	10.1	8.2	6.9	3.8	10.7	10.7	30.2	12.6	1.3	0.0	47.8	3.1	1.9	3.1	0.6	19.5
	70歳以上	54.4	14.4	18.4	36.8	9.6	10.4	7.2	3.2	4.0	2.4	12.8	12.8	24.8	20.8	0.8	4.0	39.2	2.4	0.8	0.0	0.8	20.8
地域別	東海	33.7	10.5	8.3	28.2	11.6	10.5	9.4	17.1	10.5	7.2	29.3	24.3	51.4	39.2	1.1	1.1	36.5	6.6	5.5	2.2	1.1	17.7
	関東	56.7	11.3	12.0	21.8	7.6	8.4	6.2	4.7	4.0	2.9	5.5	7.6	22.2	7.3	1.8	2.2	43.6	2.5	1.8	3.3	0.7	18.2
	近畿	39.8	6.6	7.8	18.1	9.0	9.0	6.0	4.8	4.2	1.2	10.8	7.8	26.5	9.0	0.6	1.2	43.4	1.2	0.6	1.8	0.6	24.1
	北陸・甲信越	44.8	12.1	5.2	20.7	13.8	15.5	5.2	12.1	5.2	1.7	12.1	6.9	32.8	15.5	3.4	1.7	48.3	6.9	5.2	5.2	0.0	20.7
	東北・北海道	58.2	10.4	11.9	20.9	1.5	1.5	0.0	1.5	3.0	1.5	9.0	7.5	13.4	4.5	0.0	0.0	28.4	3.0	0.0	3.0	1.5	28.4
	中国・四国	44.4	8.9	15.6	20.0	8.9	4.4	2.2	0.0	4.4	2.2	4.4	13.3	28.9	8.9	0.0	4.4	33.3	0.0	0.0	2.2	0.0	26.7
九州・沖縄	48.2	3.6	10.7	19.6	1.8	5.4	5.4	0.0	3.6	3.6	8.9	7.1	25.0	7.1	3.6	0.0	41.1	1.8	0.0	1.8	0.0	28.6	

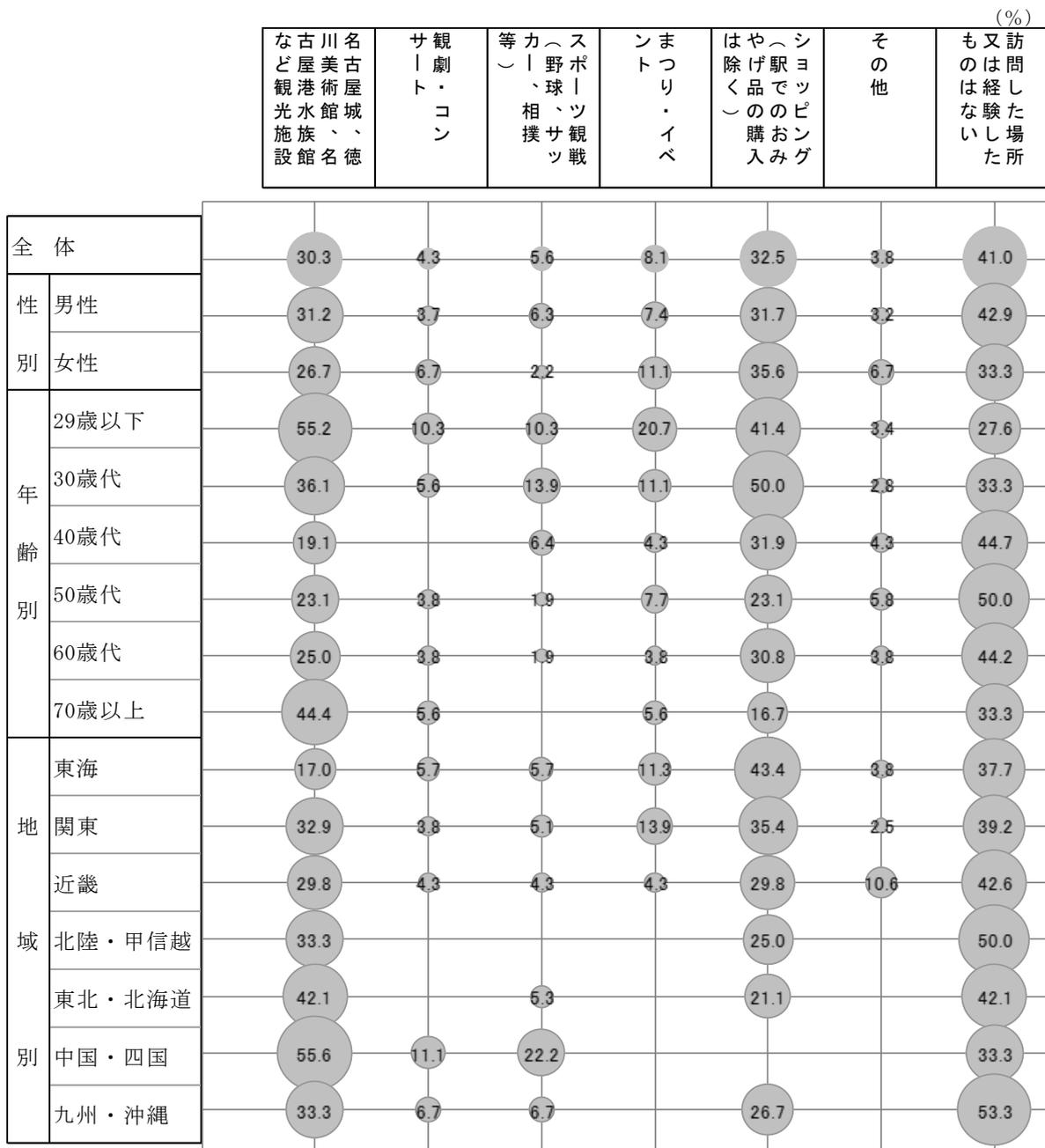
c. 仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況

過去5年間以内に仕事目的で名古屋を訪れた方（234人）の直近の訪問で、そのときあわせて訪問した場所又は経験したものがあがる割合は59.0%と6割を占めている。訪問した場所又は経験したものとしては、「ショッピング（駅でのおみやげ品の購入は除く）」（32.5%）と「観光施設」（30.3%）が多くなっている。

「訪問した場所又は経験したものはなし」割合は、年代では仕事目的の割合が高かった50歳代をピークとしている。

訪問した場所又は経験したものでは、29歳以下と70歳以上、「東北・北海道」、「中国・四国」などでは「観光施設」が最も高くなっている。一方、30歳代や「東海」では「ショッピング」の割合が特に高くなっている。

図 2-3-9 仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況（複数回答）



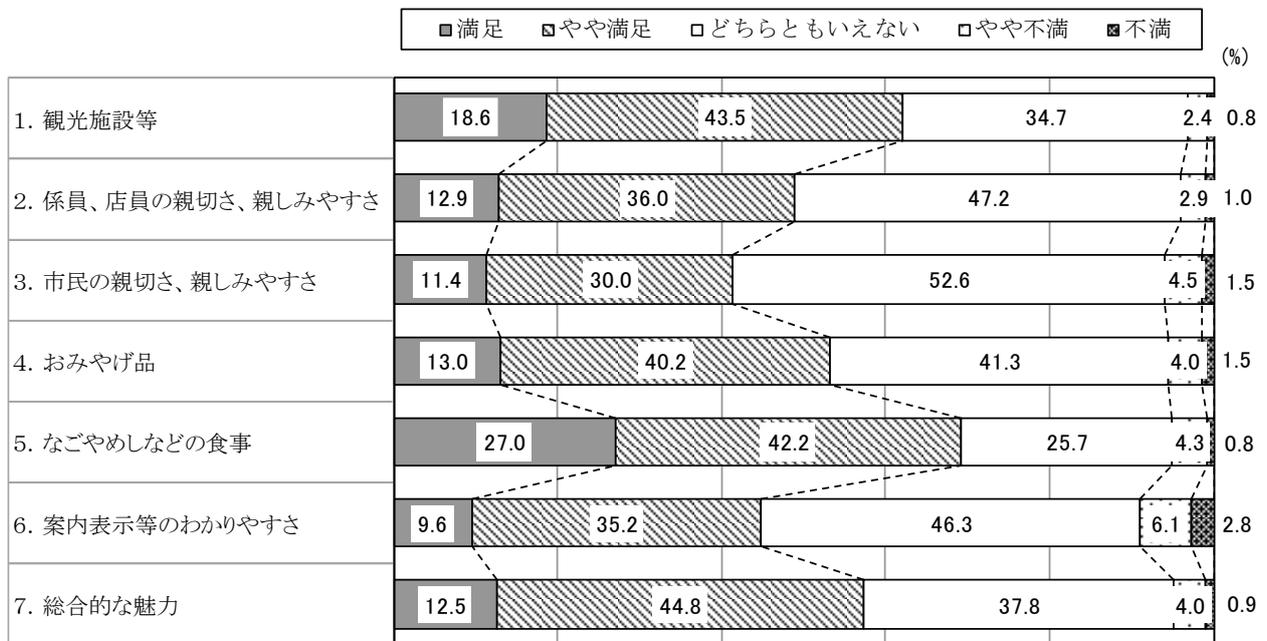
(3) 名古屋に対する評価

① 名古屋訪問時の印象

過去5年以内に名古屋を訪れた方(848人)では、「なごやめしなどの食事」については、「満足」(27.0%)と「やや満足」(42.2%)を合わせて69.2%と7割が満足と感じており、下記の7項目のうち最も評価が高い。満足と感じる割合は、「観光施設等」(62.1%)と「総合的な魅力」(57.3%)については6割前後で、「おみやげ品」(53.2%)と「係員、店員の親切さ、親しみやすさ」(48.9%)については半数前後である。「案内表示等のわかりやすさ」(44.8%)と「市民の親切さ、親しみやすさ」(41.4%)については、満足と感じている割合は4割強で「どちらともいえない」の割合が、それぞれ半数前後と最も高くなっている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満と感じる割合は、全般に低く1割に達する項目はみられない。

図 2-3-10 名古屋訪問時の印象

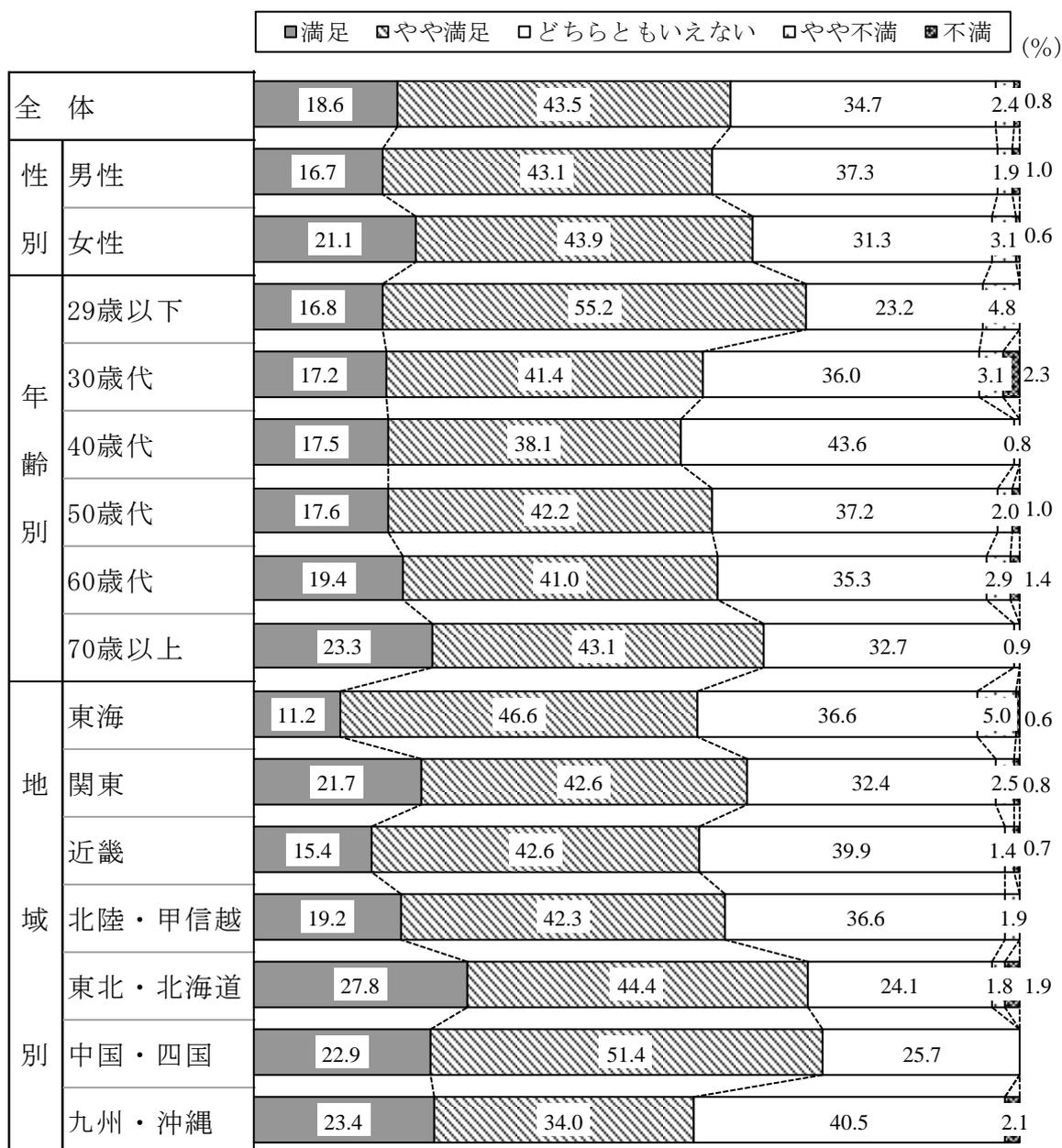


a. 観光施設等の評価

観光施設等については、「満足」(18.6%)と「やや満足」(43.5%)を合わせて62.1%と6割以上が満足と感じており、「やや不満」(2.4%)と「不満」(0.8%)を合わせた不満と感じる割合は3.2%と僅かである。

満足と感じる割合は、すべての階層で過半数を占め、特に、女性(65.0%)や29歳以下(72.0%)、70歳以上(66.4%)、「東北・北海道」(72.2%)、「中国・四国」(74.3%)で、高くなっている。一方、不満と感じる割合は、すべての階層で数%以下と低く、総じて高い評価を得ている。

図 2-3-11 観光施設等の評価



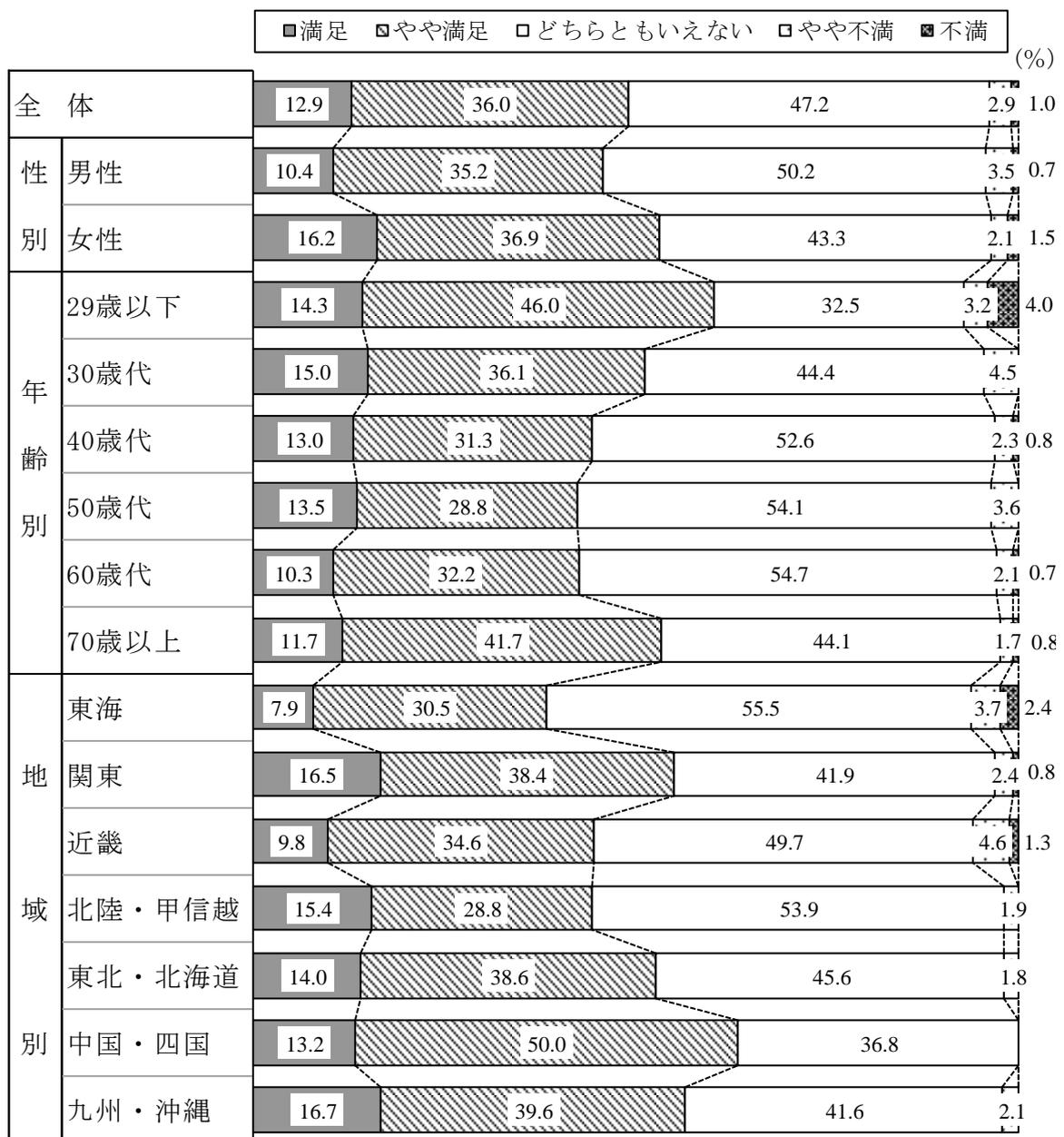
b. 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価

係員、店員の親切さ、親しみやすさについては、「満足」(12.9%)と「やや満足」(36.0%)を合わせ48.9%が満足と感じている。「どちらともいえない」(47.2%)が半数程で、「やや不満」(2.9%)と「不満」(1.0%)を合わせた不満と感じている割合は3.9%と低い。

満足と感じる割合は、女性や30歳代以下と70歳以上、「関東」「東北・北海道」「中国・四国」「九州・沖縄」では過半数を占めており、そのほかの階層では「どちらともいえない」の割合が最も高くなっている。

一方、不満と感じる割合が、1割に達する階層はみられず、総じて良好な評価となっている。

図 2-3-12 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価



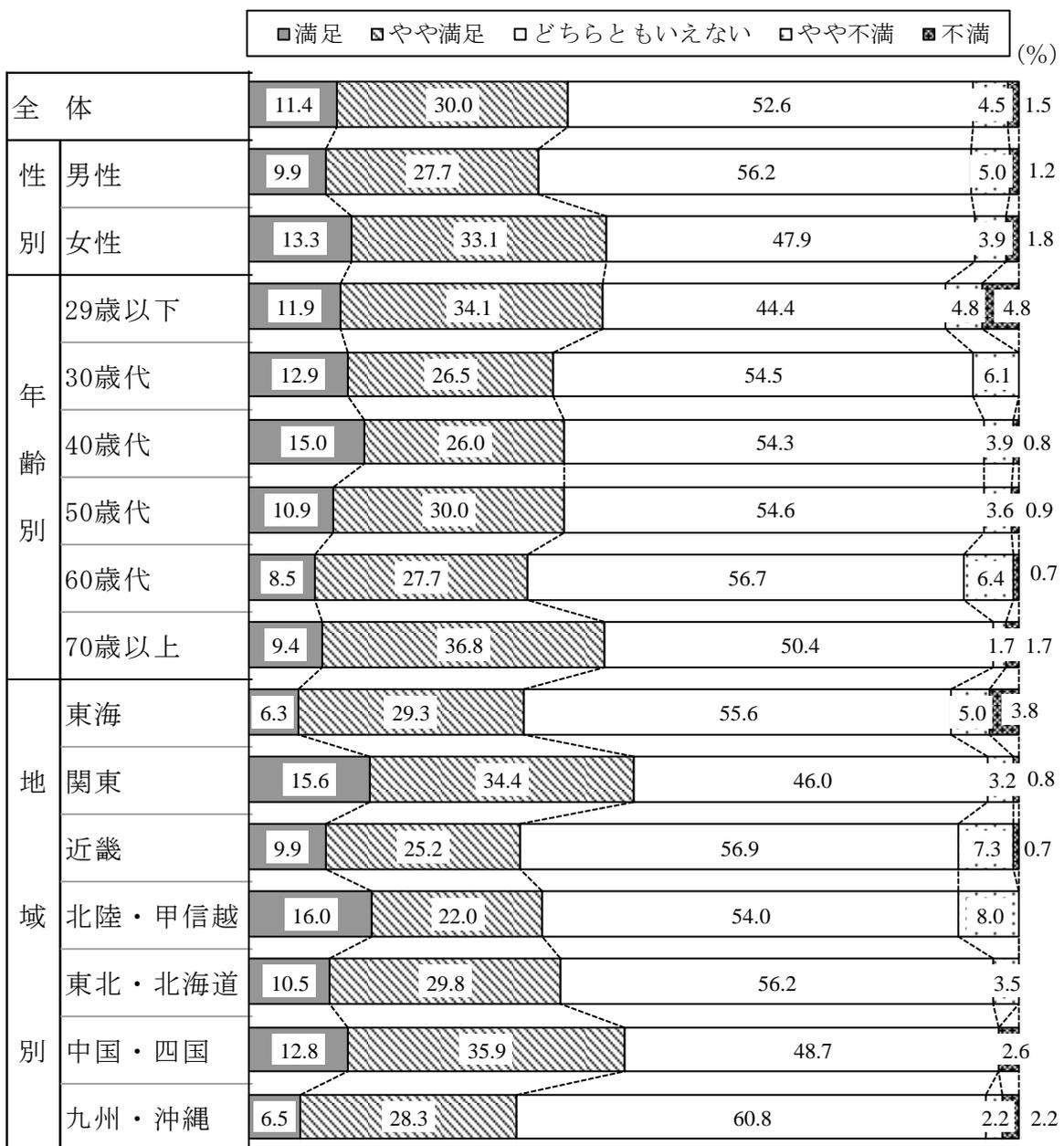
c. 市民の親切さ、親しみやすさの評価

市民の親切さ、親しみやすさについては、「満足」(11.4%)と「やや満足」(30.0%)を合わせ41.4%が満足と感じている。「どちらともいえない」が52.6%と過半数を占めており、「やや不満」(4.5%)と「不満」(1.5%)を合わせ6.0%が不満と感じている。

満足と感じる割合は、女性や29歳以下と70歳以上、「関東」「中国・四国」では半数程度みられ、比較的良好な評価となっている。そのほかの階層では「どちらともいえない」の割合が過半数を占めている。

一方、不満を感じる割合は、最も高い29歳以下では1割みられる。

図2-3-13 市民の親切さ、親しみやすさの評価

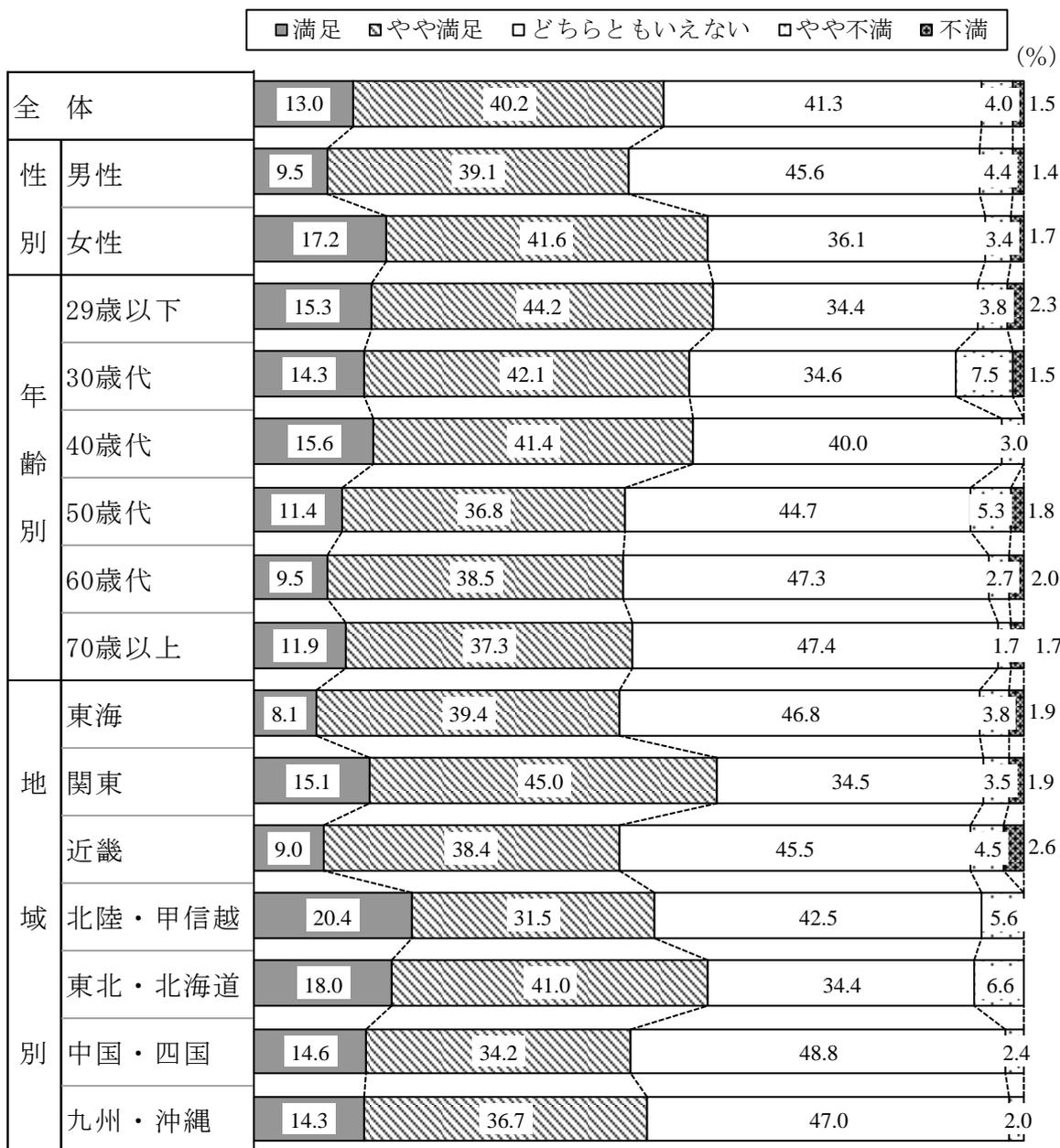


d. おみやげ品の評価

おみやげ品については、「満足」(13.0%)と「やや満足」(40.2%)を合わせ53.2%と半数以上が満足と感じている。不満と感じている割合は、「やや不満」(4.0%)、「不満」(1.5%)を合わせた5.5%であり、「どちらともいえない」は41.3%となっている。

満足と感じる割合は、女性や40歳代以下、「関東」「東北・北海道」では6割程度と高くなっている。また、すべての階層とも、「どちらともいえない」の割合は半数未満、不満と感じる割合は1割未満となっており、総じて良好な評価となっている。

図 2-3-14 おみやげ品の評価

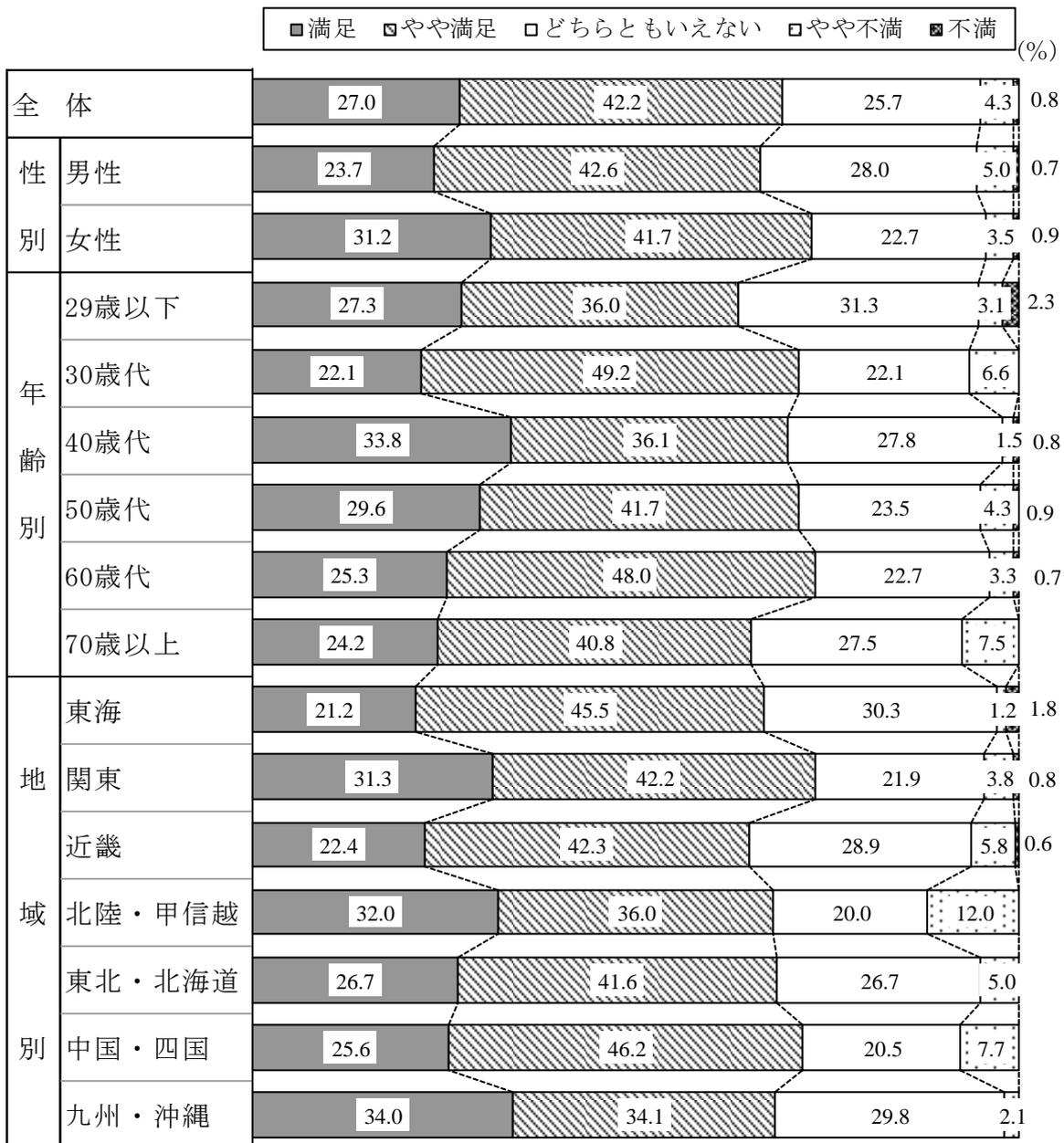


e. なごやめしなどの食事の評価

なごやめしなどの食事については、「満足」(27.0%)と「やや満足」(42.2%)を合わせて69.2%が満足と感じている。一方、「やや不満」(4.3%)と「不満」(0.8%)を合わせた5.1%が不満と感じている。

属性別にみても、すべての階層とも、「満足」の割合は2割台から3割台前半、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は7割前後と、総じて満足度は高くなっている。

図 2-3-15 なごやめしなどの食事の評価

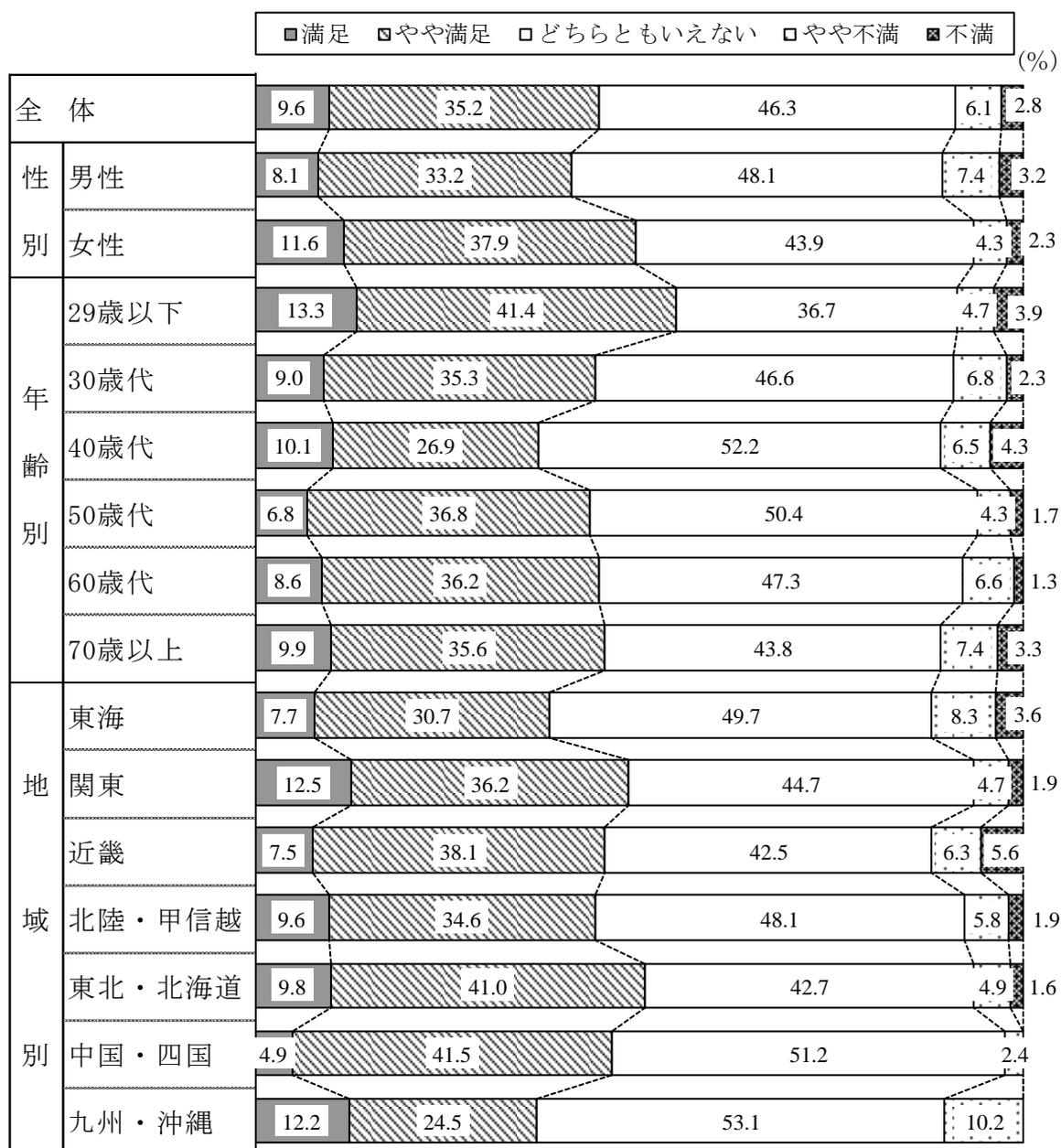


f. 案内表示等のわかりやすさの評価

案内表示等のわかりやすさについては、「満足」(9.6%)と「やや満足」(35.2%)を合わせ44.8%が満足と感じている。「どちらともいえない」が46.3%と半数弱で、「やや不満」(6.1%)と「不満」(2.8%)を合わせ8.9%が不満と感じている。

満足と感じる割合は、自家用車利用の割合が低かった女性や29歳以下、「関東」「東北・北海道」では半数程と高くなっている。一方、40歳代~50歳代や「中国・四国」「九州・沖縄」では「どちらともいえない」の割合が過半数を占めている。

図 2-3-16 案内表示等のわかりやすさの評価



g. 総合的な魅力

総合的な魅力としては、「満足」(12.5%)と「やや満足」(44.8%)を合わせて57.3%と6割近くが満足と感じている。一方、「やや不満」(4.0%)と「不満」(0.9%)を合わせ4.9%が不満と感じている。

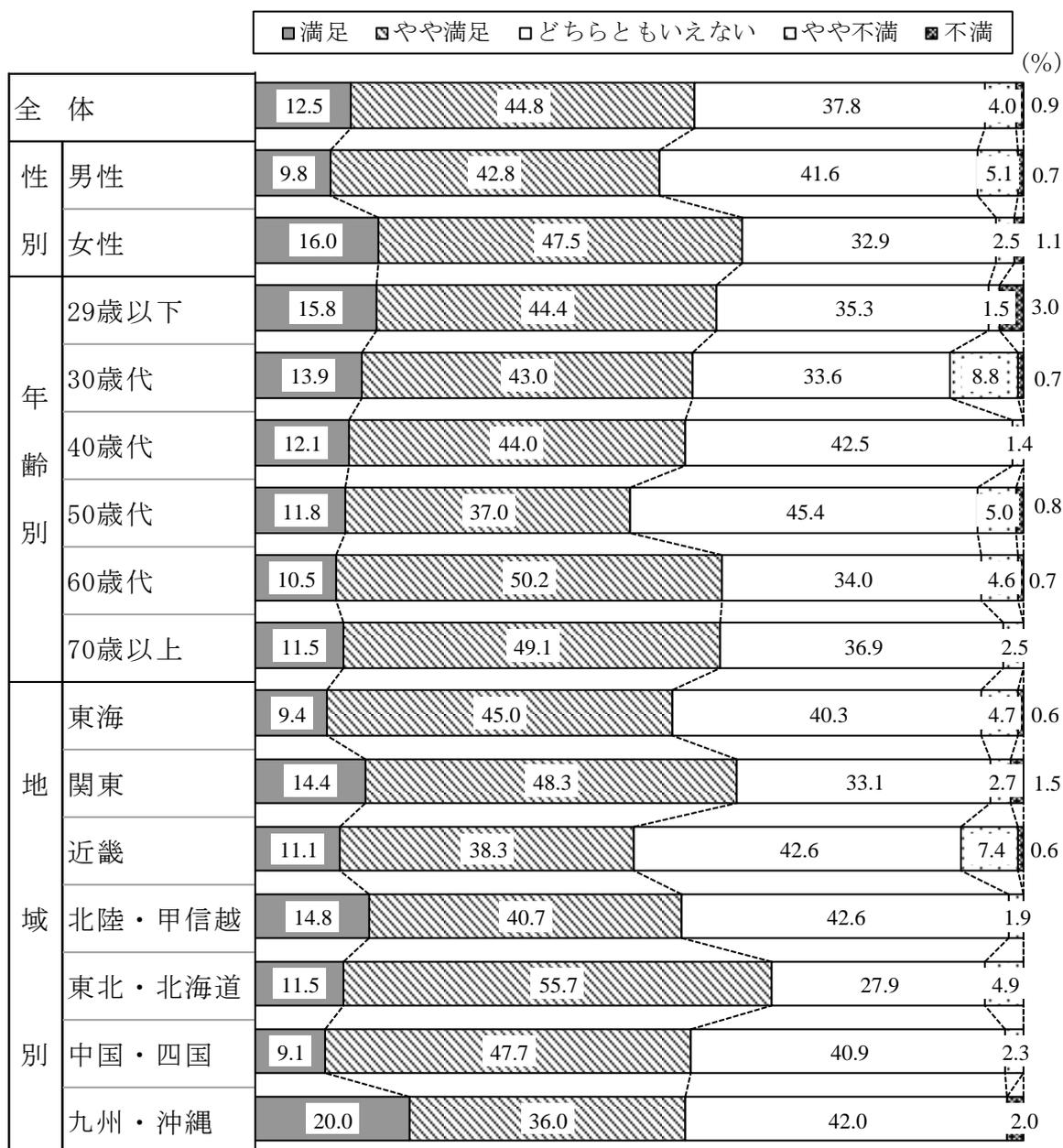
性別にみると、満足と感じる割合は、女性(63.5%)で男性(52.6%)より11ポイント高い。

年齢別にみると、満足と感じる割合は、29歳以下や60歳代以上では6割を占めているものの、50歳代では5割弱と相対的にやや低くなっている。

地域別にみると、満足と感じる割合は、「東北・北海道」と「関東」で6割台と高い。

一方、不満を感じる割合が1割に達する階層はみられず、総じて良好な評価となっている。

図 2-3-17 総合的な魅力



② 名古屋への訪問意向と観光地としての魅力について

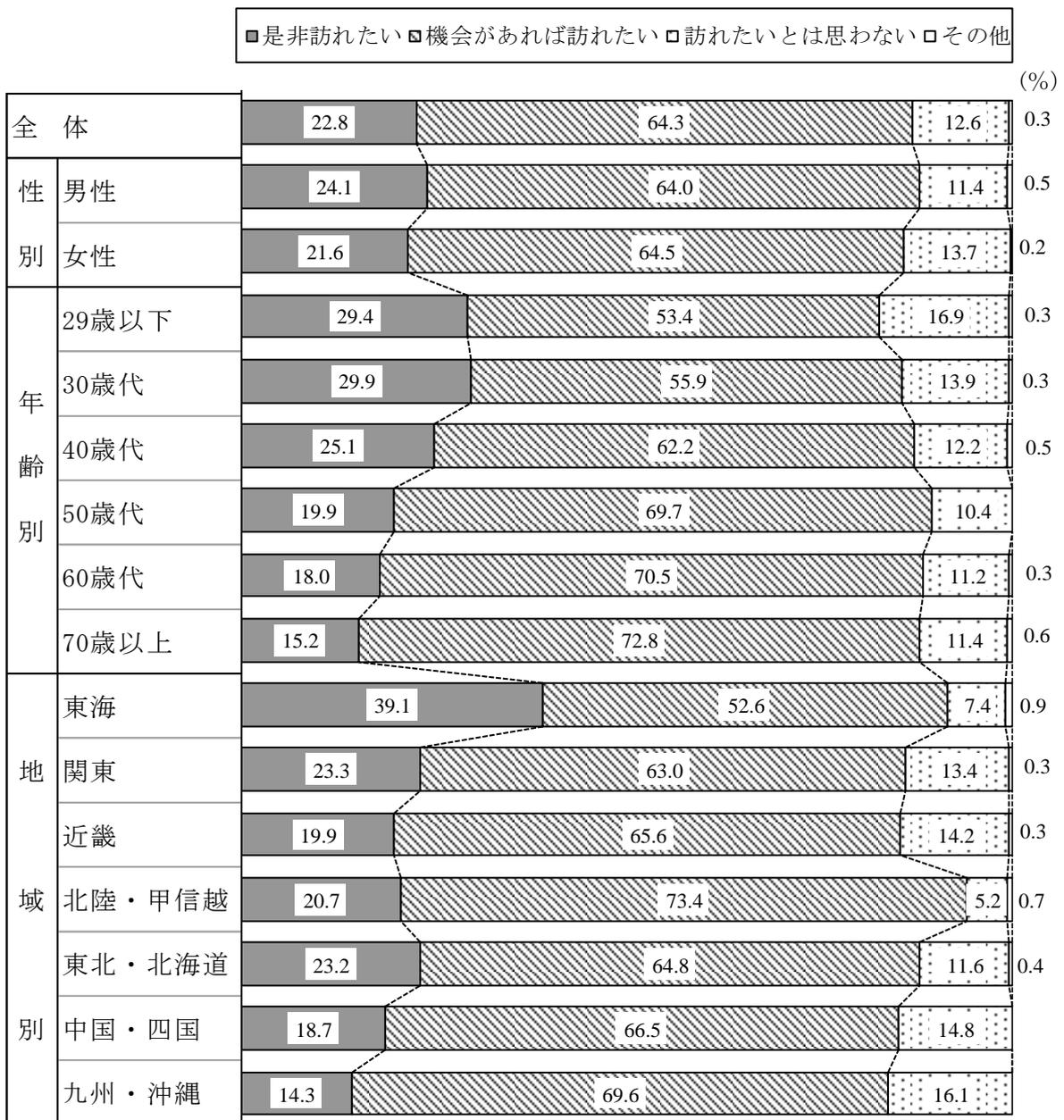
a. 名古屋への今後の訪問意向

今後、名古屋への訪問意向としては、「是非訪れたい」が22.8%で、「機会があれば訪れたい」が64.3%、合わせて87.1%と9割近くが訪れたいと考えている。

属性別にみても、全ての階層とも8割以上が訪問意向を持っている。

「是非訪れたい」という強い訪問意向の割合は、30歳代以下ではそれぞれ3割と、年齢が若いほど高い傾向がみられる。また、「東海」では4割と特に高い。

図 2-3-18 名古屋への訪問意向



b. 訪れたい名古屋の観光資源

今後、名古屋へ訪れたいと思う方（1794人）が訪問したい場所又は経験したいものとしては、「なごやめし」（47.5%）と「名古屋城」（46.4%）が半数弱と多い。以下、「熱田神宮」（27.6%）、「徳川美術館」（24.8%）、「リニア・鉄道館」（24.1%）、「東山動植物園」（23.7%）が2割台、「徳川園」（19.3%）、「トヨタ産業技術記念館」（18.2%）、「名古屋港」（18.1%）、「栄」（17.3%）、「ノリタケの森」（15.9%）が15～20%と続いている。

属性別にみても、すべての階層とも「名古屋城」と「なごやめし」が上位2位を占めており、男性では「名古屋城」、女性では「なごやめし」が最も高くなっている。

年齢別にみると「なごやめし」の割合は、40歳代（54.0%）をピークとしている。一方、29歳以下と70歳以上では「名古屋城」が最も高い。また、「徳川美術館」や「熱田神宮」などは年齢が上がるほど高い傾向を呈している。一方、29歳以下では、上位2項目以外に2割に達するものはみられない。

地域別にみると、「東海」では最も高い「名古屋城」で33.5%と、2～3割の項目が多く、訪れたい場所は分散している。

表 2-3-3 訪れたい名古屋の観光資源（複数回答）

	名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋科学館（プラネタリウムなど）	名古屋美術館	名古屋博物館	名古屋港（名古屋港水族館、シートレイランド、ポートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松・鳴海絞会館など）	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	にっぽんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	訪問してみたい場所又は経験してみたいものはない	
全体	46.4	19.3	24.8	27.6	24.1	18.2	15.9	13.4	13.6	11.1	18.1	23.7	17.3	11.9	8.0	11.1	47.5	9.9	5.9	6.4	0.5	7.4	
性別	男性	48.1	17.0	23.4	29.0	32.0	25.1	12.9	13.4	12.3	16.8	20.4	18.2	11.4	5.9	8.3	44.2	8.2	5.1	4.8	0.4	6.7	
	女性	44.8	21.7	26.2	26.2	16.0	11.1	19.1	13.9	13.8	10.0	19.5	27.1	16.3	12.4	10.2	13.9	50.8	11.7	6.6	8.1	0.6	8.0
年齢別	29歳以下	44.4	14.3	13.5	17.0	18.1	14.3	8.9	14.7	8.1	6.2	14.7	16.2	18.9	9.7	3.5	9.3	39.4	12.7	6.9	8.5	0.4	11.6
	30歳代	48.9	13.3	16.5	20.9	24.8	14.4	10.8	17.6	12.9	11.5	21.6	22.3	11.5	9.0	11.5	50.4	11.5	9.0	7.9	0.4	10.4	
	40歳代	52.5	15.1	18.1	28.8	27.9	16.3	12.2	12.5	9.5	9.2	22.6	19.3	19.6	11.3	5.9	10.1	54.0	8.9	5.0	5.6	0.3	7.7
	50歳代	43.0	20.5	23.9	27.6	28.0	18.8	18.4	13.3	11.6	9.9	16.0	28.7	16.7	10.2	9.2	8.9	51.5	8.2	4.8	4.8	0.3	7.5
	60歳代	45.0	23.5	35.8	33.2	24.4	21.8	20.1	10.9	17.2	12.6	17.2	27.8	12.9	14.6	10.9	12.6	47.6	6.9	4.3	5.4	1.1	3.7
	70歳以上	43.9	28.8	38.8	35.6	19.8	22.7	24.5	12.6	21.9	17.3	15.8	27.3	14.0	13.3	9.0	14.0	39.9	12.6	5.8	6.8	0.4	4.3
地域別	東海	33.5	19.8	24.9	21.8	29.4	14.2	16.2	28.9	15.2	14.2	25.4	28.9	22.8	24.4	7.1	8.6	31.0	8.1	7.6	4.6	0.5	13.7
	関東	48.7	21.7	26.2	33.1	25.9	20.4	16.8	13.5	13.8	12.2	19.1	26.5	18.1	12.5	9.3	13.2	52.1	11.7	6.5	7.7	0.8	5.9
	近畿	40.5	14.2	17.9	22.6	25.3	16.9	16.9	10.8	16.2	10.8	15.9	16.6	13.9	11.8	6.1	10.8	43.9	9.1	6.1	5.7	0.7	8.1
	北陸・甲信越	40.9	17.3	22.0	24.4	23.6	20.5	10.2	13.4	11.0	8.7	16.5	21.3	15.0	11.8	6.3	7.1	52.0	9.4	4.7	6.3	0.0	7.1
	東北・北海道	56.6	18.9	25.9	25.0	14.2	15.1	15.1	9.0	9.9	8.0	16.5	20.3	16.0	5.7	9.4	9.0	54.7	10.8	5.2	7.5	0.0	6.6
別	中国・四国	49.7	21.3	31.0	23.9	25.8	20.6	20.0	9.0	16.1	11.6	17.4	26.5	17.4	7.7	9.7	12.9	43.9	7.1	3.9	5.8	0.0	4.5
	九州・沖縄	51.3	19.7	26.4	31.6	20.7	17.1	13.0	9.8	10.9	9.8	14.5	23.8	17.1	7.3	6.2	10.9	47.2	8.8	4.7	4.7	0.5	7.8

c. 名古屋の観光地としての魅力について

名古屋の観光地として「魅力を感じる」は 50.4%と半数を占め、「魅力を感じない」は 12.0%と 1 割程である。

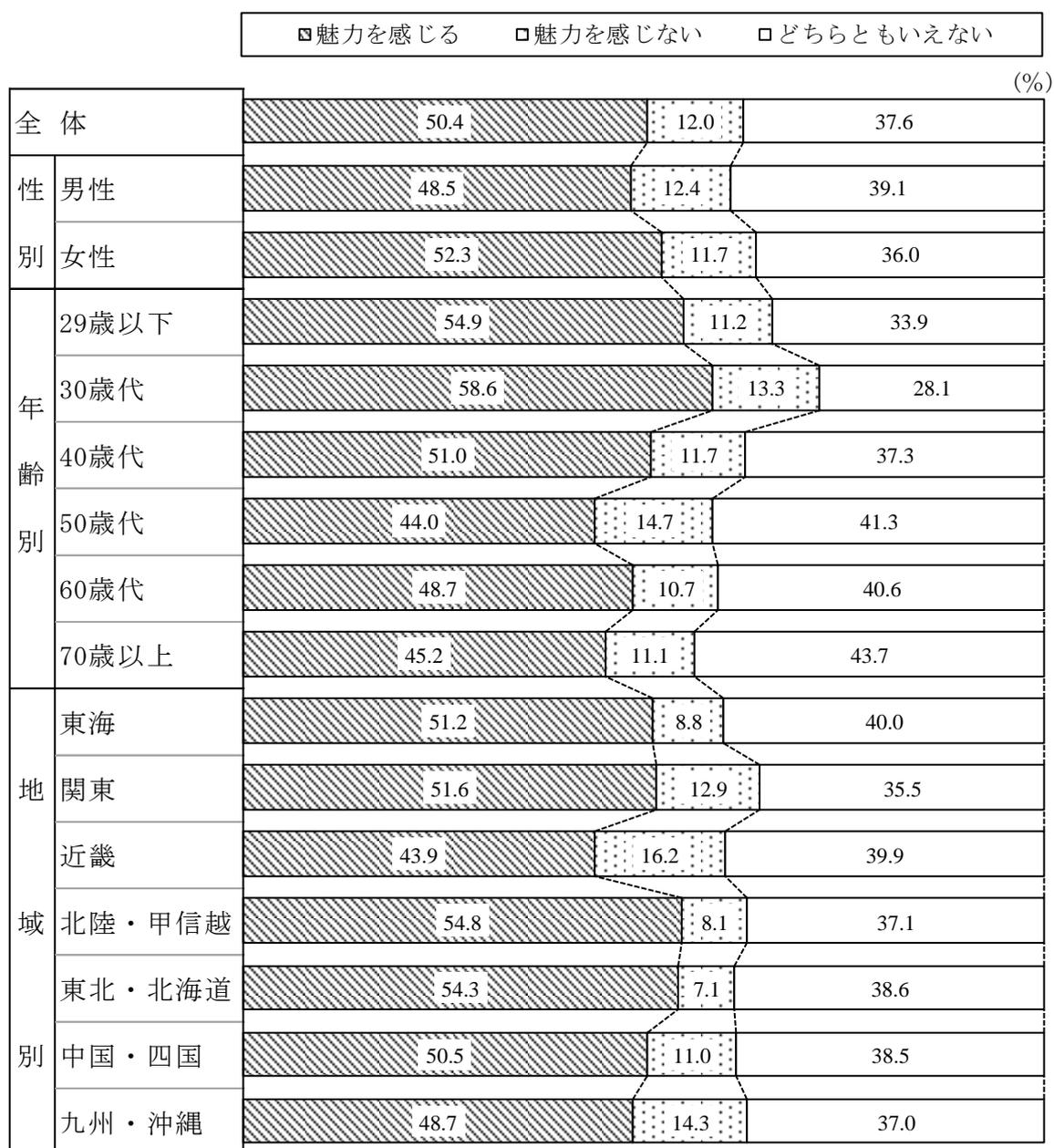
属性別にみても、すべての階層とも、「魅力を感じる」の割合が最も高く、次いで「どちらともいえない」となっている。

性別にみると、「魅力を感じる」の割合は、女性で男性より 4 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「魅力を感じる」の割合は、40 歳代以下では過半数を占め、特に 30 歳代では 58.6%と 6 割近い。

地域別にみると、「魅力を感じる」の割合は、「近畿」では相対的に低く、「魅力を感じない」の割合が 2 割弱みられる。

図 2-3-19 観光地としての魅力

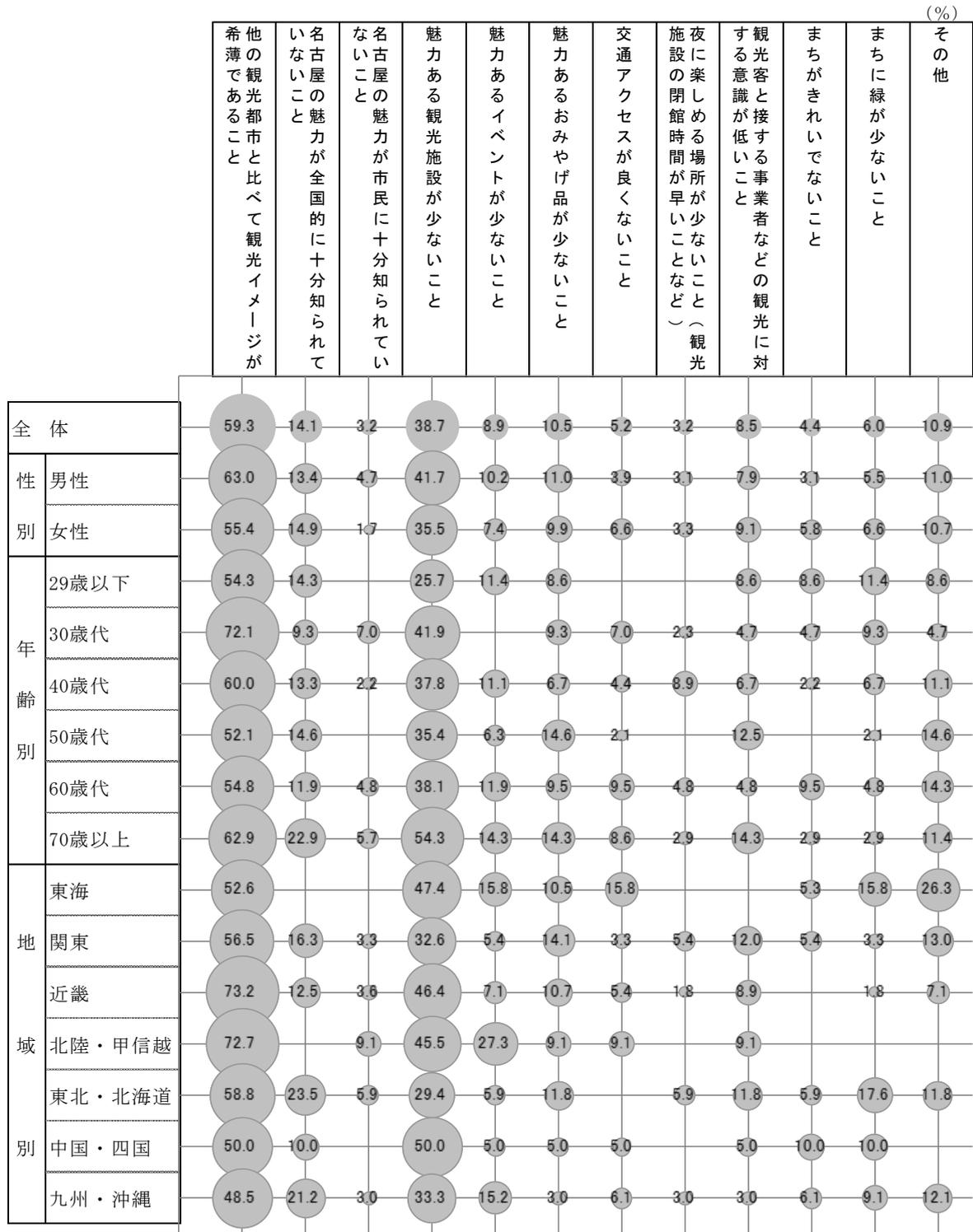


d. 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

名古屋に観光地としての魅力を感じない方（248人）の理由としては、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が59.3%と最も多く、次いで「魅力ある観光施設が少ないこと」が38.7%となっている。

属性別にみても、すべての階層とも、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が最も多い。70歳以上や「中国・四国」では、「魅力ある観光施設が少ないこと」の割合も半数以上みられ、「中国・四国」では同率で最も多くなっている。

図 2-3-20 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由（3つまで回答）



(4) 観光振興について

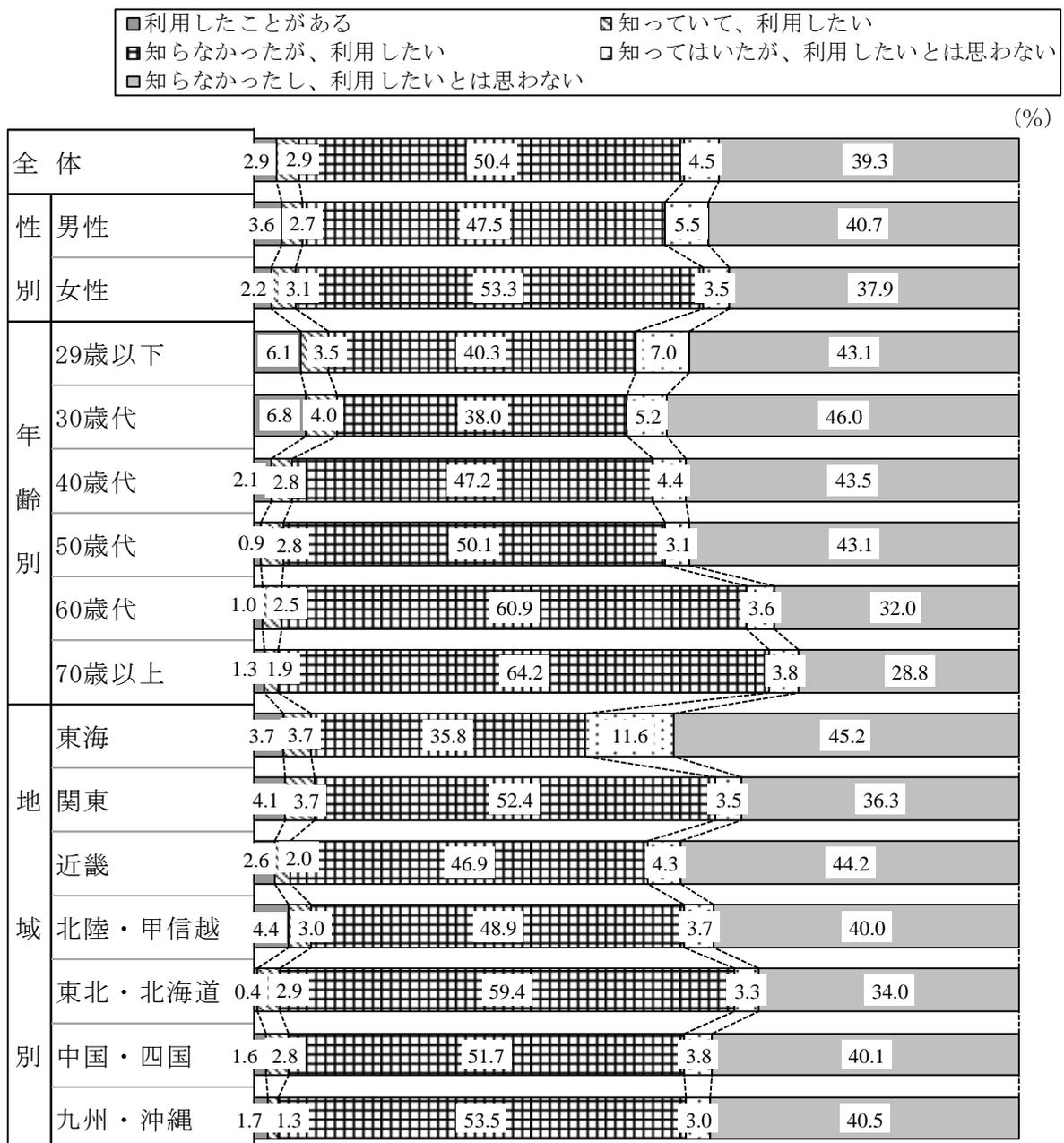
① なごや観光ルートバスについて

a. なごや観光ルートバスの認知度・利用意向

主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を「利用したことがある」割合は 2.9%と僅かである。「知っていて、利用したい」(2.9%)と「知ってはいたが、利用したいとは思わない」(4.5%)を合わせた認知度は10.3%と1割である。また、「知っていて、利用したい」(2.9%)と「知らなかったが、利用したい」(50.4%)を合わせた今後の利用意向は53.3%と過半数を占めている。

利用意向の割合としては、60歳代以上や「東北・北海道」では6割以上と高くなっている。認知度としては、一番高い「東海」でも19.0%と、まだ十分に周知はされていない。

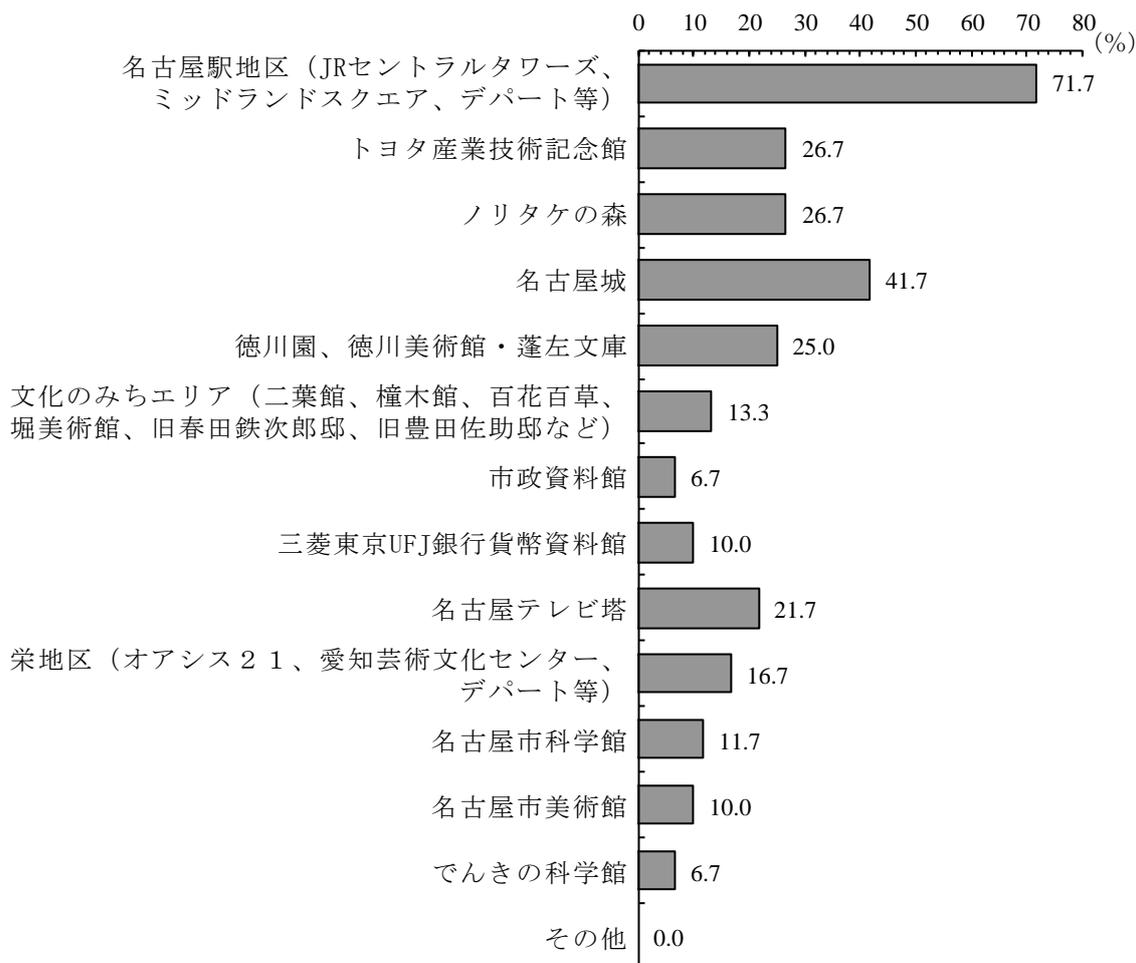
図 2-3-21 なごや観光ルートバスの認知度・利用意向



b. 「メーグル」を利用して訪れた観光施設

観光ルートバス「メーグル」を利用した方（60人）が利用して訪問した観光施設は、「名古屋駅地区」（71.7%）が7割以上と最も多く、次いで「名古屋城」（41.7%）が4割以上で、「トヨタ産業技術記念館」、「ノリタケの森」、「徳川園、徳川美術館・蓬左文庫」は、それぞれ3割弱となっている。

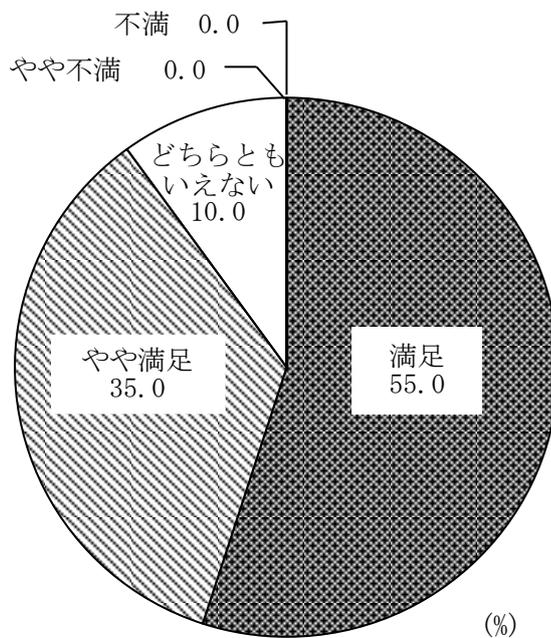
図 2-3-22 「メーグル」を利用して訪れた観光施設（複数回答）



c. 「メール」の利用満足度

観光ルートバス「メール」を利用した方（60人）の印象としては、「満足」（55.0%）が過半数を占め、「やや満足」（35.0%）を合わせると90.0%と、利用者は大半が満足しており、不満を感じた方は皆無と、利用満足度は非常に高くなっている。

図 2-3-23 「メール」の利用満足度



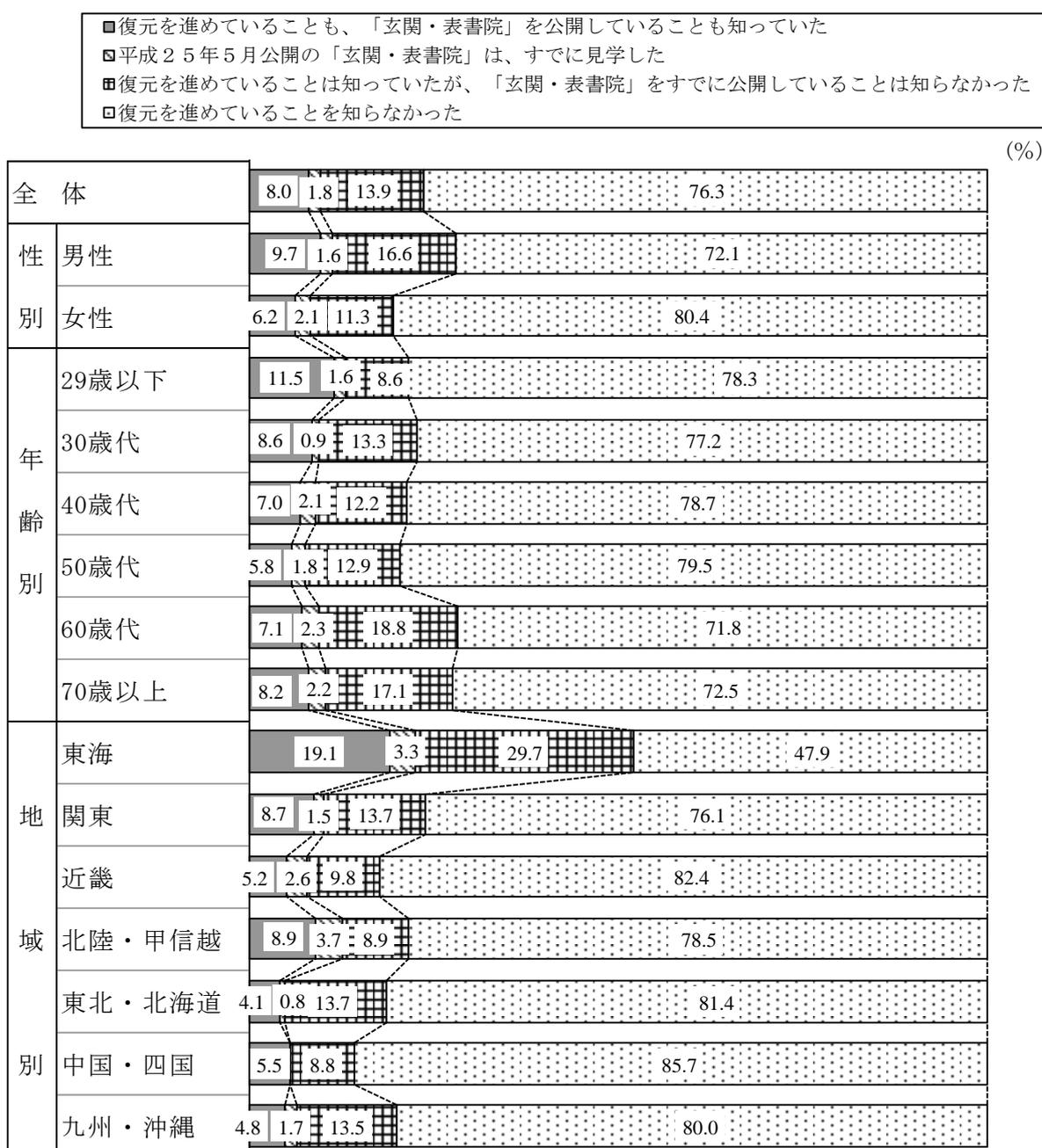
② 名古屋城「本丸御殿」の復元

a. 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度

名古屋城「本丸御殿」の復元の取組みについて、「平成25年5月公開の「玄関・表書院」は、すでに見学した」が1.8%であり、「復元を進めていることも、「玄関・表書院」を公開していることも知っていた」(8.0%)を合わせた9.8%が「玄関・表書院」の公開を知っており、更に「復元を進めていることは知っていたが、「玄関・表書院」をすでに公開していることは知らなかった」(13.9%)を合わせた23.7%が「本丸御殿」の復元を知っている。

地元「東海」でも「玄関・表書院」を見学した割合はまだ僅かであるものの、公開を知っている割合は2割以上、「本丸御殿」復元の取組みについては過半数が知っている。

図 2-3-24 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度

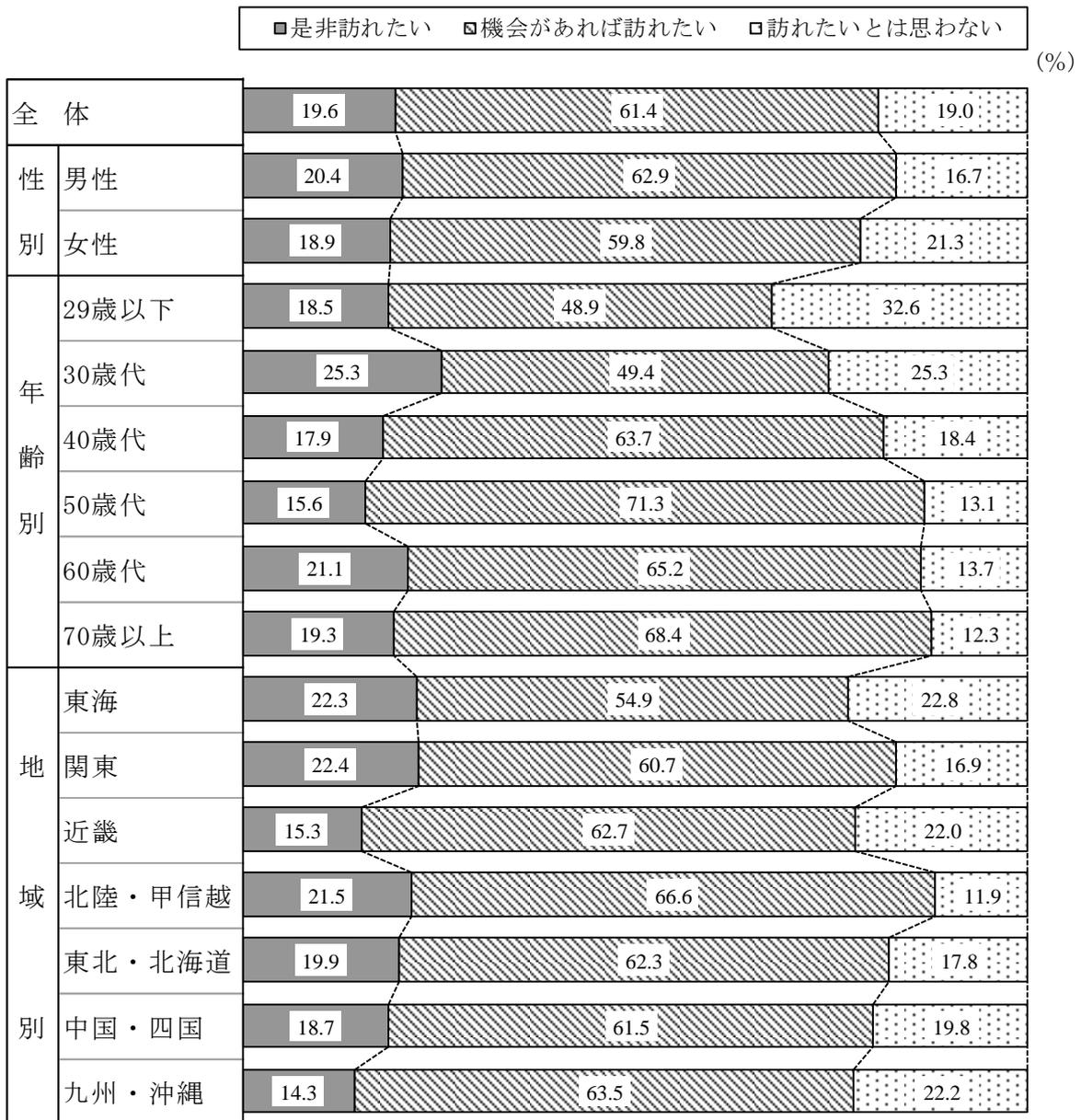


b. 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向

名古屋城「本丸御殿」が復元された場合、「是非訪れたい」は19.6%、「機会があれば訪れたい」(61.4%)を合わせて81.0%と8割以上が訪問意向を持っている。

訪問意向を持つ割合は、前述(3)②a. 名古屋への訪問意向で「是非訪れたい」の割合が比較的lowかった中高年層で高くなっており、50歳代以上では9割弱と大半を占め、この年代にとって「本丸御殿」の復元は、名古屋訪問への強いきっかけとなりうるといえる。

図 2-3-25 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向



3. 資料編

(1) 主要観光施設への入込動向

①名古屋市主要観光施設への観光入込客数の推移

平成 27 年度における名古屋市主要観光施設（30 施設）への入込客数は合計で約 2,398 万人であり、前年度と比較すると、入込客数は約 138 万人（6.1%）増加している。

観光入込客数を施設別にみると、熱田神宮が約 706 万人と最も多く、次いで東山動植物園（約 258 万人）、名古屋港水族館（約 205 万人）、名古屋城（約 174 万人）、名古屋市科学館（約 138 万人）が上位 5 施設となっており、直近 5 年間についても、この 5 施設が上位 5 施設となっている。

施設別に前年度の入込客数と比較すると、主要観光施設 30 施設の中では、平成 26 年 9 月にリニューアル開館した久屋大通庭園フラリエの増加率が最も高くなっており、上位 5 施設の中では、イケメンゴリラの人気や飲食物販施設を新規開業した東山動植物園の増加率が最も高くなっている。

一方、前年度の特別展が好評であった名古屋市美術館については、主要観光施設 30 施設の中で入込客数の減少率が最も高くなっている。

②名古屋市主要観光施設の月別観光入込客数

主要観光施設の月別入込客数は表 3-1-2 のとおりであり、月毎の入込客数の変動が顕著な施設とその理由については、以下のとおりである。

熱田神宮は、初詣客を中心に「1 月」の入込客が圧倒的に多く、熱田まつりが開催される 6 月も入込客は多い。

花見の名所である名古屋城、東谷山フルーツパーク、名古屋市農業センターなどは 3 月～4 月の入込客が多く、紅葉の名所である徳川園、白鳥庭園は 11 月に入込客が多い。また名古屋城は宵まつりが開催される 8 月も入込客は多い。

名古屋市科学館、名古屋港水族館、シートレインランド、リニア・鉄道館、でんきの科学館などは子どもが夏休みの 8 月に入込客が多い。

有松・鳴海絞会館は、絞りまつりが開催される 6 月に入込客が多い。

東山動植物園、農業文化園・戸田川緑地、ブルーボネットなど屋外の施設は全般に 5 月、10 月の行楽シーズンを中心に入込客が多い。

美術館や博物館の入込客数のピークはまちまちで、時期ではなく特別展など展示内容によって入込客数は変動している。

表 3-1-1 入込客数の推移

(単位：人)

施設 \ 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
名古屋城	1,414,769	1,472,305	1,657,370	1,641,787	1,740,178
東山動植物園	2,025,336	2,079,896	2,228,650	2,271,248	2,583,986
東山スカイタワー	273,541	277,652	268,511	268,517	314,000
名古屋テレビ塔	201,868	251,384	242,286	269,852	325,462
熱田神宮	6,716,036	6,773,935	6,852,153	6,760,955	7,063,539
名古屋港	462,104	416,175	388,015	351,458	490,740
名古屋市科学館	1,531,854	1,303,372	1,436,926	1,394,003	1,382,275
徳川美術館	204,215	193,047	182,441	183,263	253,848
名古屋市博物館	400,384	410,718	456,102	426,518	437,550
東谷山フルーツパーク	513,454	538,245	469,843	520,078	483,182
農業文化園・戸田川緑地	1,116,600	1,281,235	1,188,451	1,135,295	1,119,575
でんきの科学館	336,167	301,239	292,131	293,669	313,455
名古屋市美術館	309,872	315,204	386,428	273,428	151,513
名古屋港水族館	1,785,853	1,990,050	2,040,420	1,967,223	2,051,785
トヨタ産業技術記念館	249,740	284,919	320,366	387,873	413,435
白鳥庭園	113,872	117,761	116,828	132,241	150,944
市政資料館	67,622	69,570	75,335	70,917	72,322
名古屋能楽堂	166,925	171,951	173,848	169,457	170,794
愛知県美術館	711,001	795,538	946,258	780,788	787,894
名古屋市農業センター	609,918	629,486	655,219	632,986	681,297
シートレインランド	604,748	619,387	629,048	598,734	634,647
有松・鳴海絞会館	159,824	170,035	168,531	177,381	177,335
久屋大通庭園フラリエ (旧 ランの館)	129,967	134,638	124,485	353,531	621,847
名古屋ボストン美術館	101,878	319,008	165,634	183,281	142,590
ノリタケの森	341,939	356,529	336,994	352,890	357,730
ブルーボネット	65,831	70,780	64,089	51,019	53,211
徳川園	251,721	248,542	233,203	285,957	320,341
文化のみち二葉館	32,191	34,749	33,485	35,942	37,555
スカイプロムナード	107,124	103,014	102,863	96,359	99,395
リニア・鉄道館	1,057,424	679,272	592,191	530,982	546,491
合 計	22,063,778	22,409,636	22,828,104	22,597,632	23,978,916

注 1：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。

注 2：ランの館は平成 26 年 3 月に閉館し、久屋大通庭園フラリエとして平成 26 年 9 月に開館した。

表 3-1-2 施設別・月別入込客数

(単位：人)

施設	年月	平成 27 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
名古屋城		161,141	167,151	98,349	104,617	205,084	150,857	154,694	155,105
東山動植物園		249,136	341,449	138,044	81,806	202,435	231,406	310,973	270,346
東山スカイタワー		29,463	36,981	14,753	11,992	28,618	28,287	35,028	30,827
名古屋テレビ塔		18,203	27,742	17,593	22,902	43,044	39,438	24,417	27,033
熱田神宮		185,467	247,621	474,873	184,082	181,699	199,329	246,107	278,320
名古屋港		38,623	52,855	31,918	41,884	73,237	46,193	42,705	41,678
名古屋市科学館		102,062	125,564	71,888	114,822	219,799	76,804	75,103	155,536
徳川美術館		17,118	26,235	12,269	13,280	24,461	20,640	20,304	44,474
名古屋市博物館		20,206	58,801	22,590	30,978	64,076	43,632	25,170	62,804
東谷山フルーツパーク		118,151	57,281	21,134	18,299	20,523	38,599	62,239	30,971
農業文化園・戸田川緑地		113,497	201,546	67,341	66,267	72,975	106,869	113,156	91,835
でんきの科学館		21,890	29,913	17,112	31,936	55,302	26,268	21,549	23,869
名古屋市美術館		2,585	8,534	1,708	6,594	14,830	10,521	24,760	26,891
名古屋港水族館		145,789	231,594	120,892	200,263	394,394	193,295	137,102	125,141
トヨタ産業技術記念館		33,792	35,699	28,770	35,853	52,167	39,121	37,757	40,718
白鳥庭園		10,535	13,132	8,019	4,183	4,904	10,788	15,003	43,638
市政資料館		6,117	5,696	5,773	4,971	4,217	5,654	6,523	7,816
名古屋能楽堂		11,756	12,463	13,005	15,536	10,820	15,075	13,208	21,024
愛知県美術館		58,436	53,376	50,224	87,430	50,296	46,316	43,733	36,079
名古屋市農業センター		38,333	58,343	26,810	25,117	22,239	31,498	39,998	87,524
シートレインランド		49,378	64,179	36,494	54,427	99,420	56,300	47,804	44,019
有松・鳴海絞会館		6,848	11,275	96,135	7,463	7,228	6,727	10,298	10,054
久屋大通庭園フラリエ		42,569	145,697	52,717	44,833	38,102	37,305	48,933	49,100
名古屋ポストン美術館		16,581	12,515	10,421	14,156	19,498	6,159	11,465	11,799
ノリタケの森		27,283	41,884	24,722	27,297	35,149	36,055	36,974	37,850
ブルーボネット		8,153	13,211	4,410	2,844	1,902	4,596	8,535	4,014
徳川園		29,864	31,759	18,756	15,809	19,643	23,868	30,979	54,647
文化のみち二葉館		2,527	3,663	2,729	1,919	2,190	2,891	4,477	3,567
スカイプロムナード		5,588	9,270	6,230	7,683	10,780	10,606	9,211	8,193
リニア・鉄道館		37,942	57,136	36,286	49,866	86,311	51,719	39,624	45,391
全 体		1,609,033	2,182,565	1,531,965	1,329,109	2,065,343	1,596,816	1,697,829	1,870,263

◆調査対象施設の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象施設を選定しており、平成 22 年度には、1 施設（リニア・鉄道館）を加え 30 施設を調査対象とした。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上である市内観光施設を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

(単位：人)

施設	年月	平成 27 年 12 月	平成 28 年 1 月	2 月	3 月	合計	備 考
名古屋城		103,489	108,754	119,542	211,395	1,740,178	
東山動植物園		131,694	165,349	140,680	320,668	2,583,986	
東山スカイタワー		21,207	22,262	16,575	38,007	314,000	
名古屋テレビ塔		36,650	25,174	19,060	24,206	325,462	
熱田神宮		194,746	4,413,675	240,804	216,816	7,063,539	
名古屋港		32,393	27,689	24,351	37,214	490,740	
名古屋市科学館		114,090	100,245	105,884	120,478	1,382,275	
徳川美術館		17,744	11,656	17,933	27,734	253,848	
名古屋市博物館		14,379	33,666	42,135	19,113	437,550	
東谷山フルーツパーク		17,959	20,466	29,998	47,562	483,182	
農業文化園・戸田川緑地		46,785	61,572	60,608	117,124	1,119,575	
でんきの科学館		16,230	20,203	24,045	25,138	313,455	
名古屋市美術館		17,700	10,031	9,464	17,895	151,513	
名古屋港水族館		124,413	113,521	104,183	161,198	2,051,785	
トヨタ産業技術記念館		23,646	24,362	29,375	32,175	413,435	
白鳥庭園		16,006	7,180	6,218	11,338	150,944	
市政資料館		4,983	4,061	5,345	11,166	72,322	
名古屋能楽堂		18,104	13,381	11,995	14,427	170,794	
愛知県美術館		28,772	107,321	134,038	91,873	787,894	
名古屋市農業センター		21,449	21,753	151,437	156,796	681,297	
シートレインランド		53,762	44,552	31,034	53,278	634,647	
有松・鳴海絞会館		3,661	4,436	5,757	7,453	177,335	
久屋大通庭園フラリエ		53,288	35,001	31,925	42,377	621,847	
名古屋ボストン美術館		8,365	11,643	11,549	8,439	142,590	
ノリタケの森		21,928	19,060	21,803	27,725	357,730	
ブルーボネット		717	0	0	4,829	53,211	平成 27 年 12 月 26 日～2 月末日休園
徳川園		22,742	18,213	20,326	33,735	320,341	
文化のみち二葉館		1,907	1,688	4,463	5,534	37,555	
スカイプロムナード		11,652	6,675	5,238	8,269	99,395	
リニア・鉄道館		25,361	34,854	34,239	47,762	546,491	
全 体		1,205,822	5,488,443	1,460,004	1,941,724	23,978,916	

(2) 名古屋のまちの印象 (自由回答より)

観光入込客に名古屋のまちの印象を尋ねたところ、次のような意見があげられた。

良い印象

【観光施設・観光スポット】

- ・ 10年位前と大分変わった。観光施設も多くできて、にぎわいも良くなった。(男性 40代)
- ・ 2日間だけでは見れないところがたくさんあった。(男性 10代)
- ・ アクセスが良い観光地が多くて、友人に紹介しやすくて嬉しいです。(女性 20代)
- ・ いつも名古屋市内にきています。特にノリタケの森はイベントも多くいつも楽しみにしています。(男性 60代)
- ・ 色々行きたい所が多く、観光にはいい所だと思います。(男性 40代)
- ・ 駅から歩いてすぐの場所に施設が整っているので、観光しやすいです。(女性 20代)
- ・ 観光施設がたくさんあり、とても賑やかで楽しい。名古屋グルメも凄く美味しかったです。(女性 10代)
- ・ 観光施設の方が小さな質問をすぐに答えていただいたことが素晴らしいと思った。(女性 50代)
- ・ 観光に力を入れてきているので遠くの親戚を呼びやすくなった。(女性 50代)
- ・ 神宮が広くて落ちついてゆっくりと見られました。とても良い所できしめんも美味しかったです。(男性 30代)
- ・ 水族館のイルカショーが迫力があって、間近で見られてよかった。(女性 40代)
- ・ 名古屋おもてなし武将隊によって、観光客が楽しく過ごせている。名古屋城の雰囲気が好きです。(女性 30代)
- ・ 名古屋城が思っていたより立派でとても良かったです。また来たいです。(女性 10代)

【行・催事、イベント】

- ・ 名古屋はいつ来ても、何かしらイベントをしている。(女性 30代)
- ・ 名古屋はいろいろなイベントやお祭りがたくさんあって、とても楽しいと思います。(女性 20代)
- ・ 名古屋城の菊人形、素晴らしかった。(男性 60代)

【風景、景観】

- ・ 木が多くて、心が和みます。(女性 60代)
- ・ 区画整理されている。町がきれい。便利。(女性 30代)
- ・ 交通便利が良くてきれいな街で楽しみました。(女性 70代)
- ・ ゴミがなくきれいで良い。(男性 10代)
- ・ 神宮がとても広いのでびっくりしました。空気と緑が多くて美しい。(男性 30代)
- ・ 住みやすそう。緑が多くて良い。(男性 40代)
- ・ 道路が広い。町並みがきれい。買い物がしやすい。(男性 70代)
- ・ 都会だと思っていたが緑も多くて良い。(女性 20代)
- ・ 町並みがきれいで町にゆとりがある。道路が広くてびっくりしました。(男性 60代)
- ・ 緑が多いので落ち着く。空気がきれい。町並みが好きです。(男性 20代)
- ・ 名駅がとてもきれいになって楽しく過ごせる所が多くなって楽しい。(男性 30代)

【歴史との融合】

- ・ 都会だけど歴史的なものがいろいろとある。(男性 10代)

- ・ 都会的な町並みに歴史を感じる観光名所があり大変楽しめた。(男性 10代)
- ・ 町並み、古き良き時代も大切にしており楽しく散策しています。(女性 60代)
- ・ 戦争で文化財も燃えてしまって残念。有松は古い町並みが残っている。(男性 60代)
- ・ 四間道など古い町並みなどもあり、観光名所が多く、名古屋は好きです。(女性 30代)

【町の雰囲気、住みやすさ、発展性】

- ・ 思っていたより都会で、人が多いと思いました。整理されていて過ごしやすい街だろうなと感じました。(女性 20代)
- ・ 田舎と都会がちょうどいいバランス。(女性 30代)
- ・ 駅前のきれいさにびっくりしました。住んでみたくなった。(女性 30代)
- ・ 活気があり都会的。(男性 10代)
- ・ 来るたびに町並みが変わっていて楽しい。(女性 30代)
- ・ コンパクトな都市で移動しやすい。(女性 50代)
- ・ 栄に宿泊しているのですが、とても賑やかでお店もたくさんあって(地下街の広さに驚きました)凄く活気がある街だと感じました。食べ物もとても美味しくて、絶対また来たいと思います。(女性 40代)
- ・ 過ごしやすく程よく都会。熱田神宮がある。(女性 20代)
- ・ 都会的な所もあり、駅近なのにノリタケの様な施設があり、楽しめる。(女性 40代)
- ・ 名古屋駅の周りが新しくなったので楽しみ。(女性 50代)
- ・ 駅前が賑わっていて買い物したい。(女性 40代)
- ・ ビルが予想以上に密集してた。(男性 30代)
- ・ 毎月来てますが、空気が澄んでいて落ち着きます。とても良い所です。(男性 30代)
- ・ 名駅周辺がすごくにぎやか。高層ビルが多い。(女性 50代)
- ・ 地味だけど安定感がある。(男性 50代)

【名古屋グルメ】

- ・ 関西にない文化(食)に感動しました。(女性 40代)
- ・ 美味しいお店が多い。(女性 40代)
- ・ 美味しいものが多かった。(女性 30代)
- ・ おいしくて独特な食べ物がある。(男性 30代)
- ・ 公共の施設の中でもおいしい物が食べられる。(女性 60代)
- ・ ご飯がおいしいので、名古屋が好きです。(女性 20代)
- ・ 名古屋の味噌料理が美味しい。(味噌煮込み、味噌カツ他)(男性 40代)
- ・ 名古屋のモーニングが美味しかった。(女性 30代)
- ・ 名古屋めしの種類が多くて、魅力的である。(男性 30代)
- ・ ひつまぶしがとても美味しかった。また食べに来ます。(男性 60代)
- ・ 名物のきしめんが食べられて良かった。(女性 40代)

【名古屋人、気質】

- ・ おもてなし感があって好印象です。(女性 50代)
- ・ 名古屋の人達はとても親切で温かい感じがします。(女性 40代)
- ・ 人が親切でした。(女性 60代)
- ・ 人がやさしい。わからない事を親切に教えてくれる。(男性 60代)

- ・ 最初はとっつきにくいが良い人が多い。(女性 50代)
- ・ 道を聞いても親切に教えてもらい、歓迎されている感じがして良かった。(女性 50代)
- ・ 観光案内が親切でわかりやすかった。(女性 30代)
- ・ 駅員の対応が親切。案内板がしっかり出ていた。(女性 40代)

【道路・道路交通】

- ・ 区画整備されていて道幅が広い。(男性 50代)
- ・ 車線が多く広い。(女性 20代)
- ・ タクシーが多いから便利。(男性 50代)
- ・ 道路が整備されていてきれいです。(女性 60代)
- ・ 道路が広くて走りやすい。(女性 60代)

【公共交通】

- ・ 交通手段が便利なので1日でたくさんの観光地に行けるのでとても楽しめる所だと思いました。(女性 40代)
- ・ 公共交通が便利です。(女性 40代)
- ・ 交通アクセスが良い。(男性 20代)
- ・ 周辺の町と比べて利便性が良い。(男性 50代)
- ・ 小さい頃住んでいたが、交通手段がわかりやすくなった。(男性 50代)
- ・ 地下鉄も移動に便利で使いやすいです。(女性 40代)
- ・ 東京に比べると電車の乗り方がわかりやすい。(女性 30代)
- ・ 土日エコ切符ありがたいです。(女性 30代)

【その他】

- ・ 矢印、看板が多くて分かりやすかった。道も分かりやすかった。金山の前に泊まったが明るくて安全できれいだった。(女性 50代)
- ・ PRも上手になった。(女性 70代)
- ・ 市内の案内表示が分かりやすい。(男性 40代)
- ・ バスにボランティアが乗っていて説明がよかった。(男性 30代)
- ・ 数年前に比べて、エレベーターが増えた気がします。ベビーカー持参で助かります。(女性 30代)
- ・ 地下鉄や入場料など割安になっているのでよいです。(女性 60代)
- ・ トイレがたくさんあるので安心です。(女性 30代)
- ・ 何回来ても楽しい。(女性 70代)

不満な点、要望

【観光施設・観光スポット】

- ・ 駅前が変わってきてまた来てみたい。子どもが遊べる施設をもう少しほしいです。(女性 30代)
- ・ 観光地が散らばっているから、友人が来てはどこに案内していいかわからない。(男性 30代)
- ・ 観光により力を入れる為、魅力的な場所を作ってほしい。(男性 30代)
- ・ 観光名所が少ない。友人が名古屋に来た時に案内する所が少ない。(女性 40代)
- ・ 食べ物が有名でその他の観光があまりない。(女性 20代)
- ・ 東京に比べると子供連れで行く所が少ない。(女性 20代)

- ・名古屋城周辺でもう少し食事等ができる場所があれば良い。(女性 40代)
- ・名古屋城と街までの距離が少し不便と思います。飲食店を増やしてほしいです。(女性 30代)
- ・名古屋城の周りにもっと飲食店やおみやげ屋さんなどがあると便利です。(女性 40代)
- ・バス路線の案内表示がなかった。なかなかバスに乗れず、かなり歩くことになった。月曜日は休館の観光施設が多かった。(女性 60代)
- ・武将都市名古屋をもっとアピールしていけたらいいと思う。各観光施設への行き来がわかりやすく、楽であるといいと思う。(女性 40代)

【公共交通】

- ・足が不自由なのだが名駅周辺は段差が多く、エレベーターまで行くのは遠く、バリアフリーでないのが不便。(男性 50代)
- ・名古屋駅が大きな荷物でエスカレーター等の整備が不十分。車椅子の方も困ると思います。JR・地下鉄・名鉄等の乗換えて、階段だらけで不便。(男性 40代)
- ・バスの乗りつぎが不便。(女性 40代)
- ・メーグルの乗り場が分かりにくい(名駅前)。(男性 60代)
- ・地下鉄、老人やベビーカーをもっと使いやすいうようにしてほしい。名駅もエレベーターが不便。(女性 50代)
- ・地下鉄のトイレの洋式をもっと増やしてほしい。(女性 10代)
- ・メーグルバスに外国語の説明があるといい。運転手さんの説明がわからなくて困っている外国人がいた。(女性 40代)

【道路、道路交通】

- ・車が多く、運転が荒い。(男性 20代)
- ・自動車運転マナーが悪い。(男性 30代)
- ・道路が混んでいて走りにくい。(女性 30代)
- ・路上駐車が多い。スムーズに移動できない。(女性 50代)
- ・歩道と自転車道の整備をもっとして下さい。(男性 40代)

【駐車場】

- ・駐車場が少ない。(男性 30代)
- ・駐車場が狭い。(女性 30代)
- ・駐車場が分かりにくい。(女性 30代)
- ・駐車場の整備を充実させてほしい。(男性 30代)
- ・人が多い。駐車場の待ち時間が長い。(男性 20代)
- ・名古屋駅周辺に駐車場がほしい。(男性 40代)

【案内、表示】

- ・案内表示が古くなっているものがある。見にくい。(男性 60代)
- ・案内表示の文字が小さい。(女性 60代)
- ・案内図が少ないので交差点他に大きく分かりやすくしてほしい。(女性 30代)
- ・英語の表示が少ないので、外国人の方にもっと分かりやすく英語の表示を多くした方が良い。(女性 40代)

- ・ 外国人客が多いのに、地下鉄、バス等、案内が不足していると思います。(女性 40代)
- ・ 地下街がわかりにくい。案内表示をしっかりとしてほしい。(男性 50代)
- ・ 地下鉄や地下街が分かりづらい。(女性 50代)
- ・ 道路の標識が分かりづらいです。(男性 40代)
- ・ 道が広くて迷います。道路標示が少ない気がします。公共交通（JR）は、駅を降りてからの各所へのアクセスが良い。(女性 20代)

【宣伝、告知】

- ・ イベント情報をもっと欲しい。(女性 40代)
- ・ 名古屋市内で行われているイベント（日程と共に）をまとめて分かるように、一つのチラシにして、名駅などでアピールしてほしい。(女性 60代)
- ・ 名古屋は素敵な街なので、もっとPRしているんな人に来ていただきたいです。(女性 40代)
- ・ 三重県が伊勢・志摩エリアでまとまって観光に力を入れているように（まわりゃんせ等）、名古屋市も、他県の人へ楽しんでもらえるよう、企画、PR をぜひしてもらえると良さが伝わると思いません。(女性 30代)

【名古屋グルメ】

- ・ もっとグルメをアピールした方がよいと思う。(男性 40代)
- ・ 食べ物の料金が安い。(女性 10代)
- ・ 名古屋めしの品数をもう少し増やしてください。(女性 20代)
- ・ 名古屋城付近にもっと名古屋グルメが味わえる場所があれば滞在時間も増えると思う。(女性 40代)

【その他】

- ・ 客引き怖かったです。夜、外に出られなかった。(男性 10代)
- ・ エレベーター、エスカレーターが少ない。特にエレベーターが少なくて荷物が運びにくい。(女性 60代)
- ・ ごみ箱の設置がもっとあると良いなと思います。(女性 30代)
- ・ バリアフリーを進めてください。(女性 30代)
- ・ 名駅のコインロッカーが空いてなくて皆さん困っていらした。もっと増やしてほしい。(女性 60代)

(3) 名古屋の観光について（自由回答より）

全国インターネット調査で名古屋の観光に対してや、魅力のある都市となるための取組みを尋ねたところ、次のような意見があげられた。

【観光地としての魅力】

- ・ 観光スポットが豊富、グルメが充実している。(女性 20代)
- ・ 交通網も整っていて、どんな年代の人でも楽しめる場所だと思う。(女性 40代)
- ・ 観光の町として、宿泊施設や外国人に魅力となるような魅力ある施設や催しを開催するなど、日本人だけでなく、海外からの客を取り込めるような街にするのもいいかもしれません。
(男性 20代)
- ・ 観光地と言うより、都会で買い物等が楽しめる場所という感じもします。都会なため、車で行ったら車線が多かったり複雑な道路で怖かった記憶があります。適度に観光場所が固まっていると楽しめるのかもしれません。(女性 40代)
- ・ 具体的なものはないが、札幌や大阪に比べ街の個性が薄い印象がある。(男性 50代)
- ・ 行きたいところが多くとても楽しかった。(男性 30代)
- ・ 今のままでも十分に魅力ある都市だと思う。(女性 60代)
- ・ 仕事で何度かお邪魔しました。(北勢町、飛騨高山、名古屋市内など) また是非、今度は観光でお邪魔したい地域です。(男性 60代)
- ・ 自分にとって、名古屋は父のふるさとしてあり、ビジネスの対象地であったが、観光都市としての魅力が欠けるので、そうしたことをピーアールすれば良いのでは。(男性 70代)
- ・ 東京と大阪の中間点としての魅力がいまいちないので、通過点に過ぎなくなってしまっている。このままでは、リニア新幹線が大阪まで開通したら、さらにその傾向は大きくなってしまいうだろう。途中下車してでも訪れたくなるような魅力的な何かが欲しい。(男性 50代)
- ・ 名古屋はいつ訪問しても訪問者の期待を裏切らない街ですね、名古屋人の合理性や特徴が良く表現されていて、何度訪問しても良いところです。(男性 60代)
- ・ 名古屋は仕事で訪れる場所で、観光地というイメージがない。(男性 50代)

【道路交通・公共交通・アクセス】

- ・ 交通利便性が良く、観光しやすい場所だと思うので、一日乗車券等の交通に関するサービスをさらに充実させて欲しい。(男性 30代)
- ・ 電車やバスの乗り継ぎ地図が簡単に手に入ればと思います。(女性 40代)
- ・ リニアの開通も楽しみです。(女性 70代)
- ・ レンタルサイクル、自転車専用レーンを充実させること。(男性 40代)
- ・ 観光地へアクセスをしやすくする交通網の整備が必要かと思います。(男性 70代)
- ・ 交通機関の案内をもっとわかりやすいといい。(女性 50代)
- ・ 交通機関の終わりが早い。(女性 60代)
- ・ 新幹線から地下鉄への誘導をもう少し効率的（短時間で移動）にできたら良いと考えます。
(男性 60代)
- ・ 5年以上前に仕事で行ったことがある。地下鉄で移動したが、駅の構造が複雑で結構迷った記憶がある。わかりやすく案内がかわっているといいな。(女性 30代)
- ・ 地方からのアクセス（直行便など）と交通費が安ければ行きたい。(男性 40代)
- ・ 電車などの鉄道で名古屋まで行くのに、格安切符の販売や観光に使える割引券などの配布をする。
(女性 30代)

- ・ 道路が大きなイメージがありますので、市内の駐車場の増設や案内をして欲しい。(男性 60代)
- ・ 訪れたい観光地ですので、数日間有効の路線バスや鉄道乗り放題のフリーチケットの発売があると利用しやすい。(男性 60代)
- ・ 名古屋駅と市内各地のアクセス改善。(男性 40代)
- ・ 乗り換えが複雑。案内表示をもっと見やすくしてほしい。(男性 40代)

【案内】

- ・ いろいろなものがありすぎて何がいいのか分からない。シンプルにスマートに名古屋を案内してほしい。(女性 60代)
- ・ わかりにくいので名古屋駅周辺の案内板を充実させてほしい。(男性 40代)
- ・ わかりやすい案内表示や乗り物の一日フリーパスなどの観光にお得になるような制度があるとよい。(女性 60代)
- ・ 駅周辺の観光案内の整備。(男性 50代)
- ・ 外国人向け観光案内などが求められていると思います。(男性 30代)
- ・ 観光ガイドさんをたくさん養成してほしい。(男性 50代)
- ・ 観光ボランティアガイドがいろいろな場所で頼めるといい。(男性 60代)
- ・ 地下街が分かりにくいので、案内図を増やす。(女性 40代)
- ・ 名古屋駅付近でまず方向がよくわからなくなる。マップの整備を。(女性 50代)

【観光施設】

- ・ TDRやUSJのように全国から訪れたいような大きな遊園地があると、それと合わせて名古屋の観光も増えると思います。(女性 40代)
- ・ テーマパークの誘致など、話題性のあるものを作ればよいと思います。(男性 60代)
- ・ 子供(孫)が楽しめる観光施設がほしい。(男性 70代)
- ・ 人が多く、栄えているけどパツとしたイメージはないので、もっと観光スポットがあればいいと思う。(女性 30代)
- ・ 名古屋と聞いて思い浮かぶもの…ひつまぶし、味噌カツ、ういろう…など食べ物。SKE48。観光地はよく知らないが、食べ物は有名なものが多いと思うので、やはり「食」を絡めたものが、他県の人には受け入れやすいのではないのでしょうか。(男性 50代)
- ・ 目玉施設があるといいです。(女性 20代)

【観光ルート・ツアー】

- ・ 1日観光のための、入場券、バスや地下鉄の乗車券をセットにした周遊券的な割引チケットを作ったり、それを利用したガイドブックがあると一日が有意義に過ごせるし是非訪問してみたいと思う。(女性 50代)
- ・ はとバスのようにふらっと、気軽に観光地巡りできるようなバスツアーのようなものがあると思います。(男性 40代)
- ・ 観光場所や名物の食事が多数あるのでお薦めルート等を表示して欲しい。(男性 40代)
- ・ 観光名所を回る定期観光バス路線の充実。(男性 60代)
- ・ 短時間で効率的に回れる観光モデルコースを知りたい。またそのような交通網が整備されたら良いと思う。(男性 60代)
- ・ 徒歩で巡れるルートの整備。(男性 40代)

- ・名古屋市内の観光施設はお互いに距離が近いのが魅力ですが、それだけにひとつひとつをゆっくり見る時間が少なくなってしまうのが残念です。なにかテーマを設けてもらい、それにちなんだ絞った観光施設をゆっくり巡る・・・そんなプランが選択肢があればいいなと思います。(男性 30代)

【グルメ】

- ・「名古屋」と言うと「食文化」の魅力を感じます。「グルメ街」の様な一画を設けて観光者も分かりやすく楽しめるようにして欲しい。(女性 70代)
- ・グルメ食べ歩きが好きだが、関東ではTVでの紹介が殆どないので名店やグルメの紹介番組があったらうれしいし、ぜひ本ではなく画像で見たい。(男性 60代)
- ・ご当地色が強い物が好きなので、なごやめしや名古屋のスーパーなどでご当地食品を買うのが好き。なので、昔からある名古屋独特の物の紹介や、安くておいしいものが食べられる場所、産直などを紹介してほしい。(女性 40代)
- ・もっと積極的ななごやめしの普及と展開。(男性 60代)
- ・一日で回れるグルメ付きの観光コース。(女性 40代)
- ・観光地は正直あまりないようなイメージです。なので、訪れるきっかけはグルメでした。観光地とグルメを合わせてもっとアピールすると、グルメ目的でも周辺の観光地には出向くと思うので、集客しやすいと思います。(女性 30代)
- ・食べる事が好きなので有名店以外も編集されているグルメブックがあると重宝します。(男性 30代)
- ・都市名はわからないがなごやめしには興味ある。(女性 60代)
- ・美味しい食べ物もたくさんあるので、美味しいスイーツなどもあったら紹介して欲しいです。(女性 20代)
- ・名古屋は食文化が独特なので、名古屋限定のB級グルメのお祭りを行うといいと思います。(女性 40代)
- ・名古屋独自で発展したモーニングなどの食文化とともに、これからも魅力的な観光資源の発掘に取り組んでほしいと思います。(女性 40代)

【宿泊施設】

- ・ホテルをとるのがすごく大変だったので、市内のアクセスのいい場所にもう少し部屋数があるといいと思います。(女性 40代)
- ・安価で便利なホテルが欲しい。(男性 60代)
- ・宿泊施設に予約が取りやすいといいと思います。(男性 50代)

【情報発信】

- ・名古屋城を中心に徳川の歴史や栄地下街のショッピングなどをもっとPRしても良いのではないかと。「みそかつ」や「味噌煮込み」「きしめん」など食べる物も沢山ある。(男性 60代)
- ・PRのしかたが下手だと思います。名古屋以外の周辺観光地とのカップリングで観光基地として使えるというスタンスをPRしてみたらいかがかしら。(女性 60代)
- ・自然と歴史的な文化、建物などいろいろとあるので、もっと宣伝をしたら良いと思う。(男性 60代)
- ・アピールが必要です。なぜだか名古屋らしい観光地が思い浮かびにくい。(女性 40代)
- ・いろいろな旅行雑誌やインターネットでのアピールを活発に行う。(男性 40代)

- ・せっかく新幹線が止まるのになんとなく目玉の見どころを知らない気がする。もっと色々な施設をアピールした方がいいと思う。名古屋駅から行ける施設がわかりにくい。(女性 40代)
- ・テレビなどで名所を積極的にPRしてほしい。(女性 30代)
- ・メインとなる観光地の紹介をTVCMで紹介して欲しい。(女性 60代)
- ・もっと全国的にPRした方がいいと思う。関東に住んでいて名古屋の情報を聞くことがないので。(女性 30代)
- ・より詳しく名古屋の観光名所をアピールできるよう首都圏の電車内にも広告で掲示するなど進めればいい。(男性 20代)
- ・観光しようにも、そもそも何があるのか知らないなので、観光対象の周知や広報が必要だと思う。(男性 60代)
- ・観光資源は豊富にあると思うが、むしろそれが名古屋のイメージを曖昧にしているような気がする。地域としてのアピールポイントを決めて、それに沿った資源を集中的に宣伝すべきではないか。(男性 50代)
- ・今回のアンケートで、知らなかったところがいくつもありました。機会があれば行ってみたいところがあります。なごやめしなどは有名になっていますが、美術館や旧跡など、文化的な場所に関する情報発信を、もっとしてください。(女性 50代)
- ・首都圏だけではなく地方でも積極的に観光案内をしたほうがいい。取り組みなど全く伝わっていない。(男性 40代)
- ・他の都市に比べ観光アピール自体が少ないと思うので、もっと積極的に観光アピールをして名古屋の良さを全国に伝えて欲しい。(男性 30代)
- ・東京に住んでいるが、CMなどで名古屋観光などを全く見ないので、もう少しアピールすればよいと思う。(女性 50代)
- ・物産展などで、おいしいお店の紹介をしつつも、観光地を紹介したり、ガイドブックなどあれば良いなと思います。(女性 30代)
- ・名古屋からJRや近鉄と繋がっている関西の人々にも名古屋の魅力をアピールしていただけたらうれしいです。(男性 40代)
- ・名古屋には観光施設が豊富にあり、機会を捉えて観光したいと思っています。名古屋の観光者を増加させるには、やはり効果的宣伝以外にはないと思います。全国の新聞広告なども大いに活用できたらと思いますが？(男性 70代)
- ・名古屋は東京大阪に比べてなんとなく中途半端な感覚があります。なにか一本に絞った観光の目玉をPRして欲しいです。(男性 70代)
- ・名古屋出身の好感度の高いタレントさんやスポーツ選手に名古屋の文化や魅力を紹介してもらおう。(女性 50代)
- ・なごやめしは良く見聞きするが、観光地についてはもう少しPRすると良いと思う。(女性 60代)

【他との連携】

- ・名古屋だけの取り組みではなく飛騨方面とタイアップした観光ルートが魅力。(男性 60代)
- ・名古屋に泊まり、近隣の観光地(木曾福島、中津川、伊勢神宮)などに行くよう、まず周りの名所をPRして、名古屋にお金が落ちるようにしたらどうか。(男性 60代)
- ・名古屋を中心に近隣たとえば犬山城なども含めてグローバルな視点でかんがえてもいいのではないか。(男性 70代)

- ・名古屋は周りの県、岐阜、三重、静岡などと連携して観光やイベントを企画するとお客様を動員できるのではないのでしょうか。例えば、信長、秀吉、家康は名古屋、岐阜、静岡と連動して初めて関連します。 (男性 70代)
- ・名古屋市のみの観光地として訪ねることはないと思う他の観光地と合わせての観光を考えてゆくべきでは。 (男性 70代)
- ・舞台やミュージカルが好きで、時々観劇で名古屋を訪れますが、東京や大阪に比べ、名古屋で上演してくれるものは本当に少ないです。もっと名古屋で上演してくれるようになったら、観光客ももっと増えると思います。 (女性 50代)

【店舗・商店街】

- ・以前の地下街はとても複雑で分かりにくかったが、これから分かりやすくするようだからもっと観光客が増えると思います。 (女性 70代)
- ・大須商店街と同様に、特徴のある商店街を増やしたい。東京の秋葉原、渋谷、原宿、新宿、浅草のように！ (男性 50代)
- ・お店が早い時間に閉まるので不便。 (女性 50代)
- ・名古屋城や徳川園周辺に利用できる休憩場所やカフェ、レストランがほとんどなかったもので、充実すると良い。 (女性 60代)
- ・夜のシャッターが閉まる時間が早いので、スポット的に観光客が夜でも行ける場所が欲しいです。 (男性 50代)

【独自性】

- ・最近なごやめしのイベント等行われていますが、日本の誇るおもてなしをなごや独自でしっかりと定着させるといいと思います。 (女性 60代)
- ・大阪にいたら名古屋でしかできないことが思いつかないので、そこをもっと探し出す。 (男性 30代)
- ・東京と大阪の間にあり、一般的には通過点と言う感覚が有るが名古屋だからこそ名古屋でしか味わえない、奇抜な事を行った方が良い。 (男性 50代)
- ・日本三大都市のひとつだから「何でもある（何でも集まっている）都市」というイメージが強い。つまり逆に特色がないように思えてしまう。もっと独自の特色があることが分かれば魅力も上がるように思う。 (男性 30代)
- ・名古屋に行かないと、見れない、体験できない、余所にはない、名古屋独自のものを打ち出す必要があると思います。 (男性 60代)
- ・歴史の街でもあり食の街でもあると思うのだが、街の情緒といまいち結びつかないので旅行先に計画しようという発想が今のところあまりない。これは東京・大阪・京都・福岡・札幌などの観光大都市との差異だと思っている。 (女性 30代)

【物産展等イベントの開催】

- ・イベント参加のついでに観光することが多いので、どこそこを拠点に30分・1時間・2時間・3時間・半日・1日で観光できるスポットをまとめたものが欲しい。 (女性 30代)
- ・十分魅力ある所ではあるが場所的に関東と関西の真ん中にあるのでスルーしてしまう。食関連のイベントをしたらどうでしょうか。 (女性 60代)

- ・ 武将隊の話はよくききます。実際に訪れた知人が絶賛していました。観光客への対応も親切で良かったと、印象に残っています。その地域の良さを全面に出したイベントは、観光客には魅力的なので、もっと情報発信し続けて行ってほしいです。(女性 30代)

【マナー、治安】

- ・ 車の運転が荒いと言う印象があるので規制を強くするか、安全教育に力を入れて観光客が安心して訪れられるようにしたほうが良い。(男性 60代)
- ・ 自家用車でも行きたいですが、運転マナーが悪いと聞いたことがあるので、どのような改善を行っているのか知りたい。(男性 40代)
- ・ 子供連れでも安心して観光出来るように、繁華街の治安をよくしてほしい。(女性 30代)

【歴史・文化】

- ・ やはり歴史の町だと思いますいろいろなものを大切に残して欲しいです。(女性 60代)
- ・ 観光用の施設に新たに力を入れるのではなく、地元の人も納得するような史跡の保存などを当たり前前に勧めた上で、その魅力を分かり易く発信していくのが良いと思う。(男性 40代)
- ・ 戦国武将を多く輩出しているので、それらを生かした観光づくりをしてほしい。(男性 40代)
- ・ 伝統・文化・歴史や話題性のある観光施設の相乗効果に取り組み、詳細な特徴と魅力を明るく楽しく親しみやすく紹介したら良いと思いました。(男性 20代)
- ・ 名古屋は近代的な街だが、歴史的な史跡・寺院も多いので、城だけじゃなく其の辺もうまくPRしていった方がいいと思う。(男性 40代)
- ・ 歴史が好きなので徳川美術館などに興味を持っている。歴史関連の良い観光名所があるのにあまりその方面での印象が薄く感じる。そこが少し残念。(女性 60代)
- ・ 歴史や食文化を広く発信してってもらいたいです。(女性 70代)

【その他】

- ・ 自然が残ってるところもあり、都会でもあるので生活していくには良いと思います。(女性 50代)
- ・ Wi-Fi が無料で使えるところを増やして欲しい。(男性 50代)
- ・ 観光地への乗り換え経由地域となりがちだと思います。(女性 50代)
- ・ 住んでいた事があるが、住むには良いが観光となるとちょっと何も思い浮かばない。(女性 30代)
- ・ 東京から中途半端な距離なので通り過ぎる事が多かった。(男性 70代)
- ・ 名古屋駅周辺をビジネス中心から観光を取り入れていくべき。(男性 40代)
- ・ 交通機関の利用を主とした観光案内ではなく徒歩を含めた市内観光の在り方であってほしい。(男性 70代)

平成27年度 名古屋市観光客・宿泊客動向調査 (調査日：平成 年 月 日)

名古屋市 市民経済局 観光推進室

調査場所：

お楽しみのところ恐れ入りますが、
アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

問1 どこからお越しになりましたか (出発地はどちらですか)。1つに○印をつけてください。

- | | | | |
|---------|------------------|-------|-------|
| 1 名古屋市内 | 2 名古屋市を除く愛知県 | 3 岐阜県 | 4 三重県 |
| 5 静岡県 | 6 その他の都道府県 (具体的に |) | |

問2 今回、名古屋を訪れた (今回の名古屋への旅行) 主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1 観光施設の見学 | 2 ショッピング (非日常の買物。ウインドショッピングを含む) |
| 3 観劇・コンサート | 4 イベント (参加・鑑賞) |
| 5 飲食 | 6 その他の娯楽行為 (具体的に |
| 7 商用・公用 | 8 帰省・冠婚葬祭 |
| 9 大会・学会・国際会議への出席・参加 | 10 その他 (具体的に |
| |) |

問3 問2で「1」から「6」を選んだ方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何ですか。該当するものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 雑誌・新聞をみて | 2 旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて |
| 3 テレビやラジオ番組の情報から | 4 インターネットホームページの情報から |
| 5 友人・知人に薦められたから | 6 前に来たことがあり良かったから |
| 7 駅や電車内のポスター・広告 | 8 特になし |
| 9 その他 (|) |

問4 今回の訪問 (今日のお出かけ) で、訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 名古屋城 | 2 トヨタ産業技術記念館 |
| 3 ノリタケの森 | 4 徳川美術館 |
| 5 徳川園 | 6 熱田神宮 |
| 7 白鳥庭園 | 8 東山動植物園 |
| 9 東山スカイタワー | 10 テレビ塔 |
| 11 名古屋市美術館 | 12 愛知県美術館 |
| 13 名古屋ボストン美術館 | 14 名古屋市科学館 |
| 15 でんきの科学館 | 16 名古屋市博物館 |
| 17 久屋大通庭園フラリエ (旧ランの館) | 18 名古屋港水族館 |
| 19 名古屋港 | 20 シートレインランド |
| 21 有松・鳴海絞会館 | 22 ミッドランドスクエアなどの高層建築物 |
| 23 リニア・鉄道館 | 24 その他 (|
| |) |

問5 今回の名古屋訪問（名古屋への旅行）はパッケージ旅行ですか。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金もお答えください。（費用が市内のみか、市外分を含むかを選択）。

- 1 パッケージ旅行 およそ()円くらい (市内分のみ もしくは 市外分含む)
2 パッケージ旅行ではない

問6 今回の名古屋訪問（今回の名古屋への旅行）における1人あたりのご予算をお教えてください。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金以外の費用をお答えください。

①市内での交通費（都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます）。

およそ()円くらい

②市内での宿泊代（市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額）。（日帰りの方、宿泊施設に泊まらない方、名古屋市以外に宿泊の方は、該当するところに を記入してください。）

およそ()円くらい

- 宿泊しない（日帰り） 友人、知人の家に宿泊 名古屋市外に宿泊

③市内でのおみやげ代。

およそ()円くらい

④市内での飲食代（パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額）。

およそ()円くらい

⑤市内での入場料（観光施設等の入場料の合計額）。

およそ()円くらい

⑥市内でのその他費用。

およそ()円くらい

問7から問13については、名古屋市外からお越しの方のみお答えください。

問7 今回の訪問（旅行）での、名古屋の印象・旅行の満足度についてお伺いします。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 大変満足 2 ほぼ満足 3 普通 4 やや不満 5 不満

※裏面に続きます

問8 名古屋市に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 はじめて 2 2回目 3 3回目 4 4～9回目 5 10回目以上

問9 今回の訪問（旅行）において、名古屋までの主な交通手段に○印をつけてください。

- 1 JR 2 名鉄電車 3 近鉄電車 4 自家用車
5 航空機 6 路線バス 7 観光バス 8 その他（ ）

問10 今回の訪問（旅行）で、訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに○印をつけてください。

- 1 名古屋市内のみ 2 長久手・刈コパーク方面 3 明治村・犬山方面
4 瀬戸・小原方面 5 知多・常滑・セントレア方面 6 豊田・岡崎・足助方面
7 蒲郡・西浦・三谷方面 8 豊川・鳳来寺方面 9 豊橋・伊良湖方面
10 岐阜・関ヶ原方面 11 多治見・恵那・中津川方面 12 下呂・高山方面
13 長島温泉・湯の山・鈴鹿方面 14 伊勢・志摩方面
15 その他（ ）

問11 今回の訪問（旅行）での、名古屋の観光資源についてお伺いします。① 今回の訪問で満足されたもの、② 不満を感じたもの、③ 次回訪れてみたいものをそれぞれ教えてください。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）
2 産業観光・ものづくりの施設（産業記念館・ノリタケの森等）
3 レジャー施設（動植物園・水族館等）
4 都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須） 5 グルメ・なごやめし
6 お祭り・イベント 7 コンサートや観劇などの鑑賞
8 スポーツ観戦（野球・サッカー等） 9 その他（具体的に ）

① 今回の訪問で、満足されたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9（具体的に ） 10 特になし

② 今回の訪問で、不満を感じたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9（具体的に ） 10 特になし

③ 次回訪れてみたいものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9（具体的に ） 10 特になし

問12 今回の訪問（旅行）は何日間の予定ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 日帰り 2 2日間 3 3日間 4 4日間 5 5日以上

問13 問12で回答が2日間以上のご旅行の方に伺います。

名古屋市内に宿泊される日数（予定も含む）をお教えてください。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 1泊 2 2泊 3 3泊 4 4泊以上
5 名古屋市内には宿泊しない

あなたご自身（回答者）についてご質問します。

問14 あなたの性別・年齢をお教えてください。（○は一つずつ）

①性別

②年齢

- 1 男
2 女

- 1 10～19歳
4 40～49歳
7 70～79歳

- 2 20～29歳
5 50～59歳
8 80歳以上

- 3 30～39歳
6 60～69歳

問15 本日の名古屋訪問（名古屋への旅行）で同行されている方をお教えてください。（○は一つだけ）

- 1 ひとり（同行者なし） 2 友人・知人
3 幼児や小学生連れの家族 4 夫婦
5 家族（「3」・「4」以外） 6 団体旅行
7 修学旅行 8 その他（ ）

〔自由意見〕 名古屋のまちの印象をお聞かせください。

町並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、街の美観や治安、観光施設、名古屋グルメなど、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力していただき、誠にありがとうございました。
この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（宿泊施設）【対象年次：平成27年度】

○貴施設の名称、所在地、電話番号をご記入ください。また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

貴施設の名称	
貴施設所在地	〒 名古屋市
電話番号	
ご記入者	(ご所属) (ご氏名)

問1 貴施設のタイプについて、次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 ホテル	2 旅館	3 簡易宿所	4 下宿
-------	------	--------	------

問2 貴施設の平成28年3月末時点の室数および収容可能人数をご記入ください。

和室	洋室		合計	
	室数	収容人数	室数	収容人数
室	人	室	人	人

問3 貴施設の平成27年4月から平成28年3月までの宿泊客数（月別・合計）をご記入ください。
※月別で把握できない場合や正確な記録がない場合でも、ご記入頂ける範囲でご回答ください。

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	合計
①実人数	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人

注：連泊客の考え方

- ①実人数は、連泊客が2泊以上宿泊しても「1人」と数えてください。
- ②延人数は、連泊客が同一の方であれば1泊で「1人」、2泊で「2人」と数えてください。

問4 貴施設では、外国からの宿泊客が、年間での国（地域）から何人ありますか。なお、宿泊客数は実人数でご記入下さい。（概数でも結構です）

国名	宿泊客数	国名	宿泊客数	国名	宿泊客数
中国	人	インドネシア	人		人
香港	人	ベトナム	人		人
台湾	人	マレーシア	人		人
韓国	人	英国	人		人
米国	人	ドイツ	人		人
タイ	人	フランス	人		人
シンガポール	人	オーストラリア	人		人

問5 貴施設では、これまでに修学旅行団体（小・中・高校など）を受入れたことがありますか。また今後受入れることはできますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

- 1 平成27年度、受入れた。
- 2 平成27年度受入れなかったが、これまでに受入れたことはある。
- 3 実績はないが受入れ可能。
- 4 受入れられない。

問6 問5で「1 平成27年度、受入れた。」と回答した施設にお聞きします。貴施設が平成27年4月1日から平成28年3月末までに受入れた修学旅行団体の所在地（都道府県名）、学校数、宿泊客数を下記の例にしたがってご記入ください。

〈例〉「京都府の小学校が2校で400人、中学校が1校100人」の場合

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
京都府	2校 400人	1校 100人	校	校
都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
	校	校	校	校
	校	校	校	校
	校	校	校	校
	校	校	校	校

問7 問5で「1」以外を回答した施設にお聞きします。貴施設が平成27年度に修学旅行団体を受入れなかった理由についてご記入ください。

[]

ご多忙中、ご協力いただきましてありがとうございました。

名古屋の観光に関する全国インターネット調査

■調査項目

番号	条件	内容	区分
Q1	必須回答	過去5年以内に名古屋に何回訪れたことがありますか。	SA
1		1回	
2		2回	
3		3～5回	
4		6～10回	
5		11回以上	
6		訪れていない	
Q2	必須回答	名古屋を訪れる場合の主な交通手段をお選びください。名古屋を訪れたことがない方も、名古屋を訪れることを想定してお答えください。	MA
1		新幹線	
2		鉄道(新幹線以外)	
3		航空機	
4		長距離バス	
5		観光バス	
6		自家用車	
7		フェリー	
8		その他	FA付
Q3	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋を訪れた目的は何ですか。	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設の見学	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング	
6		仕事	
7		友人・親戚への訪問	
8		その他	FA付
Q4	必須回答: Q3 = 1～5	観光・娯楽、ショッピングが目的で訪れた直近の名古屋訪問についてQ4～Q8をお聞きます。その訪問(旅行)は合計何泊でしたか。	SA
1		日帰り	
2		1泊	
3		2泊	
4		3泊	
5		4泊以上	
Q5	必須回答: Q4 = 2～5	その名古屋訪問(旅行)では、うち名古屋市内に何泊しましたか。	SA
1		1泊	
2		2泊	
3		3泊	
4		4泊以上	
5		名古屋市内には宿泊しない	
Q6	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)で同行された方を教えてください。	SA
1		ひとり(同行者なし)	
2		友人・知人	
3		幼児や小学生連れの家族	
4		夫婦のみ	
5		家族(「3」「4」以外)	
6		団体旅行	
7		修学旅行	
8		その他	FA付

Q7	必須回答: Q3 = 1~5	その名古屋訪問(旅行)であわせて名古屋以外に訪問したところ(地域)はどこですか。	MA
1		名古屋市内のみ	
2		名古屋以外の尾張方面(明治村・犬山・愛・地球博記念公園(モリコロパーク)など)	
3		知多方面(知多・常滑・セントレアなど)	
4		西三河方面(豊田・岡崎・香嵐渓など)	
5		東三河方面(蒲郡・西浦・三谷・豊川・鳳来寺・豊橋・伊良湖など)	
6		飛騨方面(下呂・高山など)	
7		美濃方面(岐阜・関ヶ原・多治見・恵那・中津川など)	
8		北勢・伊賀方面(長島温泉・湯の山・鈴鹿・伊賀など)	
9		伊勢・志摩方面(伊勢・鳥羽など)	
10		その他	FA付
Q8	必須回答: Q3 = 1~5	その名古屋訪問(旅行)のきっかけは何ですか。	MA
1		以前から訪れたいと思っていたから	
2		知人に薦められたから・知人に案内されたから	
3		ガイドブックやパンフレットを見て	
4		テレビ番組等を見て	
5		ホームページを見て	
6		団体の訪問コースに組み込まれていたから	
7		興味のある催事が開催されていたから	
8		その他	FA付
Q9	必須回答: Q3 = 6	仕事が目的で訪れた直近の名古屋訪問についてお聞きます。その訪問(旅行)のとき、あわせて訪問した場所又は経験したものは何ですか。	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング(駅でのおみやげ品の購入は除く。)	
6		その他	FA付
7		訪問した場所又は経験したものは無い	
Q10	必須回答	名古屋には、以下に示すような観光資源があります。この中で、知っているものをお答えください。	MA
1		名古屋城	
2		徳川園	
3		徳川美術館	
4		熱田神宮	
5		リニア・鉄道館	
6		トヨタ産業技術記念館	
7		ノリタケの森	
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)	
9		名古屋市美術館	
10		名古屋市博物館	
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
12		東山動植物園	
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
14		大須(大須観音・大須商店街)	
15		文化のみち(二葉館など)	
16		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
18		名古屋まつり	
19		にっぽんど真ん中祭り	
20		名古屋おもてなし武将隊	
21		その他	FA付
22		知っているものは無い	

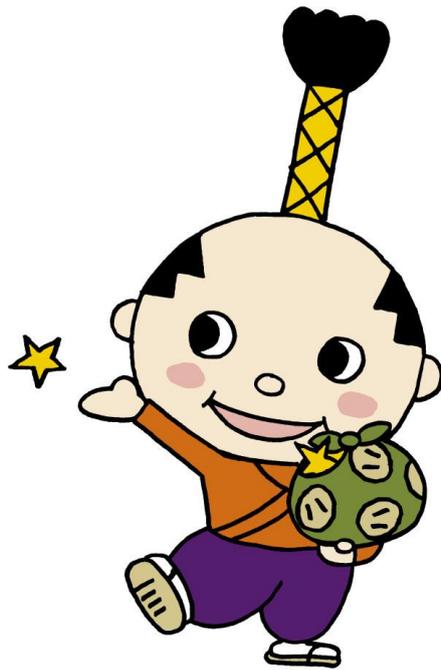
Q11	必須回答:Q1 = 1~5	名古屋の観光資源の中で、過去5年以内に訪問した場所又は経験したものを教えてください。	MA
1		名古屋城	
2		徳川園	
3		徳川美術館	
4		熱田神宮	
5		リニア・鉄道館	
6		トヨタ産業技術記念館	
7		ノリタケの森	
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)	
9		名古屋市美術館	
10		名古屋市博物館	
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
12		東山動植物園	
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
14		大須(大須観音・大須商店街)	
15		文化のみち(二葉館など)	
16		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
18		名古屋まつり	
19		にっぽんど真ん中祭り	
20		名古屋おもてなし武将隊	
21		その他	FA付
22		訪問した場所又は経験したものはない	
Q12	必須回答:Q1 = 1~5	名古屋を訪れたときに、どのように感じましたか。あてはまるものをお選びください。	SAマトリクス
Q12M001		観光施設等	
Q12M002		係員、店員の親切さ、親しみやすさ	
Q12M003		市民の親切さ、親しみやすさ	
Q12M004		おみやげ品	
Q12M005		なごやめしなどの食事	
Q12M006		案内表示等のわかりやすさ	
Q12M007		総合的な魅力	
1		満足	
2		やや満足	
3		どちらともいえない	
4		やや不満	
5		不満	
6		体験していない・分からない	
Q13	必須回答	今後、名古屋を訪れたいと思いますか。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
4		その他	FA付

Q14	必須回答:Q13 = 1,2	名古屋の観光資源の中で、今後、訪問してみたい場所又は経験してみたいものは何ですか。	MA
1		名古屋城	
2		徳川園	
3		徳川美術館	
4		熱田神宮	
5		リニア・鉄道館	
6		トヨタ産業技術記念館	
7		ノリタケの森	
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)	
9		名古屋市美術館	
10		名古屋市博物館	
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
12		東山動植物園	
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
14		大須(大須観音・大須商店街)	
15		文化のみち(二葉館など)	
16		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
18		名古屋まつり	
19		にっぽんど真ん中祭り	
20		名古屋おもてなし武将隊	
21		その他	FA付
22		訪問してみたい場所又は経験してみたいものはない	
Q15	必須回答	名古屋に観光地としての魅力を感じますか。	
1		魅力を感じる	
2		魅力を感じない	
3		どちらともいえない	
Q16	必須回答:Q15 = 2	魅力を感じない理由は何だと思えますか。あてはまるものを3つまでお選びください。	3A
1		他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	
2		名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	
3		名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	
4		魅力ある観光施設が少ないこと	
5		魅力あるイベントが少ないこと	
6		魅力あるおみやげ品が少ないこと	
7		交通アクセスが良くないこと	
8		夜に楽しめる場所が少ないこと(観光施設の閉館時間が早いことなど)	
9		観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	
10		まちがきれいでないこと	
11		まちに緑が少ないこと	
12		その他	FA付
Q17	必須回答	名古屋市では、平成19年7月から、主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を運行しています。このバスをご存知でしたか。また利用したいと思いますか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		利用したことがある	
2		知っていて、利用したい	
3		知らなかったが、利用したい	
4		知ってはいたが、利用したいとは思わない	
5		知らなかったし、利用したいとは思わない	

Q18	必須回答:Q17 = 1	なごや観光ルートバス「メーグル」を利用して訪問した観光施設を、当てはまる記号にすべて○印をつけてください。また、選択肢以外に訪れた施設がある場合には、それらをすべてご記入ください。	MA
1		名古屋駅地区(JRセントラルタワーズ、ミッドランドスクエア、デパート等)	
2		トヨタ産業技術記念館	
3		ノリタケの森	
4		名古屋城	
5		徳川園、徳川美術館・蓬左文庫	
6		文化のみちエリア(二葉館、檀木館、百花百草、堀美術館、旧春田鉄次郎邸、旧豊田佐助邸など)	
7		市政資料館	
8		三菱東京UFJ銀行貨幣資料館	
9		名古屋テレビ塔	
10		栄地区(オアシス21、愛知芸術文化センター、デパート等)	
11		名古屋市科学館	
12		名古屋市美術館	
13		でんきの科学館	
14		その他	FA付
Q19	必須回答:Q17 = 1	なごや観光ルートバス「メーグル」を利用された時、どのように感じましたか。あてはまるものをお選びください。また、その理由をお答えください。	SA
1		満足	
2		やや満足	
3		どちらともいえない	
4		やや不満	
5		不満	
6		その理由	FA付
Q20	必須回答	かつて名古屋城には「本丸御殿」がありました。本丸御殿は、日本建築史・絵画史・工芸史上、近世城郭御殿の最高傑作でしたが、惜しくも焼失しました。名古屋市は、「ものづくりの技、文化、自然の大切さ」を後世に伝える象徴として、名古屋城「本丸御殿」の復元を進めており、平成25年5月から第1期分の「玄関・表書院」を公開しています。この取組みについてご存知でしたか。	SA
1		復元を進めていることも、「玄関・表書院」を公開していることも知っていた	
2		平成25年5月公開の「玄関・表書院」は、すでに見学した	
3		復元を進めていることは知っていたが、「玄関・表書院」をすでに公開していることは知らなかった	
4		復元を進めていることを知らなかった	
Q21	必須回答	名古屋城「本丸御殿」は、現在、平成28年6月1日の第2期分「対面所・下御前所」公開に向けて復元を進めております。公開されれば訪れてみたいと思いますか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
Q22	必須回答	名古屋の観光に対するご意見・ご感想や、名古屋が訪れたいくなるような魅力のある都市となるため、今後取り組んだらよいと思うことがありましたらご自由にお書きください。	FA
F1	必須回答	あなたの性別をお答えください。	SA
1		男性	
2		女性	
F2	必須回答	あなたの年齢をお答えください。	SA
1		20歳未満	
2		20歳代	
3		30歳代	
4		40歳代	
5		50歳代	
6		60歳代	
7		70歳以上	

F3	必須回答	お住まいの地域(都道府県)をお答えください。	SA
1		北海道	
2		青森県	
3		岩手県	
4		宮城県	
5		秋田県	
6		山形県	
7		福島県	
8		茨城県	
9		栃木県	
10		群馬県	
11		埼玉県	
12		千葉県	
13		東京都	
14		神奈川県	
15		山梨県	
16		長野県	
17		新潟県	
18		富山県	
19		石川県	
20		福井県	
21		岐阜県	
22		静岡県	
23		愛知県	
24		三重県	
25		滋賀県	
26		京都府	
27		大阪府	
28		兵庫県	
29		奈良県	
30		和歌山県	
31		鳥取県	
32		島根県	
33		岡山県	
34		広島県	
35		山口県	
36		徳島県	
37		香川県	
38		愛媛県	
39		高知県	
40		福岡県	
41		佐賀県	
42		長崎県	
43		熊本県	
44		大分県	
45		宮崎県	
46		鹿児島県	
47		沖縄県	

※調査票の条件欄について
「Q1 = 1」は、「Q1で選択肢『1』を選択している人が対象」を意味します。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査
(平成27年度)

平成28年11月発行

発行 名古屋市観光文化交流局
業務委託先 株式会社 綜研名古屋

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。